

第七十三回 帝國議會 院

社會事業法案外二件委員會議錄(速記)第二回

付託議案
商會事業法案(政府提出)
簡易生命保險法中改正法律案(政府提出)

府提出)

會議

昭和十三年三月一日(水曜日)午前十時二十

八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 服部 岩吉君

理事片岡 恒一君 理事古田喜三太君

理事野口 喜一君 理事高畠龜太郎君

理事小池 四郎君

土屋清三郎君

最上 政三君

塙本 三君

庄司 一郎君

佐保 畢雄君

太田 理一君

鈴木 文治君

松本治一郎君

椎尾 辨匡君

三月一日委員出井兵吉君辭任ニ付其ノ補闕

トシテ松尾孝之君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

厚生政務次官 工藤 鐵男君

厚生次官 廣瀬 久忠君

厚生參與官 山本 芳治君

厚生省豫防局長 高野 六郎君

厚生省社會局長 山崎 嶽君

厚生書記官 滯尾 弘吉君

保險院長官 進藤 誠一君

保險院簡易保險局長 藤川 靖君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

社會事業法案(政府提出)

商店法案(政府提出)

○服部委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマ

ス、一寸御報告申上ゲマス、大臣ハ本日貴

族院ノ方へ出席サレテ居リマスノデ、午後

ハ出席サレルヤウナ豫定デアリマスガ、ソ

レモマダ確定ハ致シテ居リマセヌカラ、本

日ハ各案ニ對スル政府ノ説明ヲ求メマシテ、

大臣ニ對スル質問ハ大臣出席ノ場合ニ廻ス

コトニ致シマシテ、其他ノ質問ヲ進メテ行

クコトニ致シテ置キマスカラ、左様御承知

ヲ願ヒマス

○工藤政府委員 社會事業法案ノ提案理由

ヲ御説明申上ゲマス、時局ノ重大デアルコ

トハ御承知ノ通リデアリマスガ、今後此事

態ノ發展ニ伴ヒマシテハ、相當各種ノ社會

問題モ起ルデアリマセウシ、隨テ是ガ對策

ノ必要デアルコトヘ、今ヨリ想像スルニ難クナイノデアリマス、仍テ政府ハ事變中乃至事變後ニ於ケル社會施設ノ擴充ヲ圖ル爲ニ、他面又公私社會事業ノ發達ヲ圖ル必要ノ極メテ緊切ナルモノアリト考ヘテ居ルノデアリマス、社會事業ノ施設ハ近來益々增加發達致シマシテ、相當見ルベキモノガアリ、其國民生活ニ及ボス效果モ極メテ重要トナッテ來マシタ、併ナガラ之ヲ事業經營ノ見地ヨリ見マスナラバ、未ダ不完全ナル點モ少ナカラズ、殊ニ最近ノ經濟事情ノ影響ヲ受ケ、事業ノ積極的進展ヲ要スベキ際ニモ拘ラズ、却テ經營難ニ陥ッテ居ルモノモ相當多イノデアリマス、而シテ是ガ助成監督ノ方法ハ、從來救護法、少年救護法、職業紹介法、公益質屋法、其他特別ニ法律ノ定メアルモノヲ除クノ外、未ダ法制的ニ確立ハル、事業、其他目的規模其ノ事由ニ依リ本法ヲ適用スルコトヲ適當トセザルモノニ付テハ、本法ノ適用ナキコトトシ、其旨勅令ニ於テ規定スル積リデアリマス、第二ニ社會事業ノ保護助成ニ關スル點デアリマスガ、政府ハ社會事業ニ對シテ、豫算ノ範圍内ニ於テ相當ノ補助金ヲ交付シ、事業ノ財政の基礎ヲ鞏固ナラシムルト共ニ、社會事業ノ用ニ供スル土地建物ニ付テハ、地方稅リマス、政府ニ於テハ今回是等ノ事情ニ鑑ミ、殊ニ前段申上ゲマシタ時世ノ要求ヲ察シマシテ、今回本法案ヲ提出スルコトニ致成ノ方策トシテ、國庫補助及ビ免稅ニ關シ規定シ、指導監督等ニ付キ若干ノ規定ヲ設ケルト同時ニ、社會事業ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲メ、中央地方ニ於ケル社會事業委員會設置ニ關スル規定ヲ設ケマシタ、今本法案ノ要旨ニ付テ申述ベマスナラバ、先づ第一ニ本法案ノ適用ヲ受ケル社會事業ノ範圍ニ付テデアリマス、本法案ハ原則トシテハ、公私社會事業ノ全部ヲ其對象トシタノデアリマスガ、例外トシテ他ノ法律勅令ニ依リ行ハル、事業、其他目的規模其ノ事由ニ依リ本法ヲ適用スルコトヲ適當トセザルモノニ付テハ、本法ノ適用ナキコトトシ、其旨勅令ニ於テ規定スル積リデアリマス、第二ニ社會事業ノ保護助成ニ關スル點デアリマスガ、政府ハ社會事業ニ對シテ、豫算ノ範圍内ニ於テ相當ノ補助金ヲ交付シ、事業ノ財政の基礎ヲ鞏固ナラシムルト共ニ、社會事業ノ用ニ供スル土地建物ニ付テハ、地方稅

ヲ免除スルヤウニ致シ、以テ經費ノ負擔輕減ヲ期シマシタ、第三ニ社會事業ノ指導監督ニ關シ若干ノ規定ヲ設ケマシタ、即チ社會事業ヲ開始シ又ハ廢止スル際、一定ノ届出ヲ爲サシムルコトトシタルガ如キ、社會事業ニ對シ地方長官ハ監督上必要ナル調査又ハ指示ヲ爲シ得ル旨ヲ明ニシタルガ如キ、地方長官ハ社會事業ノ施設ニ收容セラレタル者ノ處遇上必要ナル時ハ、建物又ハ設備ノ改良ヲ命ジ得ル規定ヲ設ケタルガ如キ、主務大臣ハ社會事業ノ經營者ガ法規ニ違反シ、又ハ著シク不當ノ行爲ノアッタ場合、社會事業ヲ禁止若クハ制限シ得ル旨ヲ規定シタルガ如キ是デアリマス、尙ホ寄附金ノ募集ハ、從來警察令ノ取締ヲ受ケテ居リマシタガ、今回社會事業ニ關スル寄附金ノ募集ハ、本法案ニ於テ統一的ニ取締ヲスルヤウニ致シ、是ガ爲ニ若干ノ規定ヲ設ケタノデアリマス、是等ノ取締ハ固ヨリ社會事業ニ對シ、單ニ嚴重ナル監督制限ヲ加ヘ保持シ、以テ其ノ發達ヲ助長セントスル趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、第四ニ地方ノ社會事業ノ施設ヲ充實シテ事態ニ對シ遺憾ナキヲ期スル爲メ、主務大臣ハ道府縣又ハ特

別ノ市ニ對シ、社會事業ノ經營ヲ命ジ得ル途ヲ開キ、又社會事業ノ機能ヲ一層效果的ナラシムル爲メ、地方長官ハ適當ナル社會事業施設ニ對シ、保護ヲ要スル者ノ收容ヲ委託シ得ル旨ヲ規定ヲ設ケマシタ、尙ホ社會事業委員會ニ付キマシテハ、先ニモ一言致シマシタガ、中央ニ中央社會事業委員會ヲ設ケ、主務大臣ノ諸問機關トシテ、本法ニ依リ其職務ニ屬セシマラレタル事項ノ外、社会事業ノ全般ニ亘リ、調查審議ヲ爲サシムルコトトシ、又道府縣ニ於テモ實情ニ應じ、地方長官ノ諸問機關トシテ、此種ノ委員會ヲ設ケ得ル旨ヲ特ニ規定シ、以テ全國的ニ又地方的ニ社會事業ノ振興發達ヲ圖ルト同時ニ、之ヲ通ジテ社會事業ノ連絡統制ニモ資スルコトト致シマシタ、尙ホ本法所定ノ義務ノ履行ヲ確保スル爲メ、特ニ必要ト認ムル事項ニ關シマシテハ罰則ヲ設ケマシテ、本法ノ趣旨徹底ヲ期シタ次第デアリマス、以上ハ本法案ノ要旨ニ付テ説明申上ゲタノデアリマスガ、最後ニ本法案施行ニ要スル經費トシテ、五十三万八千二百五十圓ヲ來年度豫算案ニ計上シテアリマス、何卒御審議ノ上速ニ協賛ヲ與ヘラレントコトヲ希望致シマス

○山本政府委員 只今議題トナリマシタ商
此程成案ヲ得マシタノデ、本法案ヲ提出致
シマシタ次第デアリマス、本法案ノ内容ニ付テ其概要ヲ申上ゲマスルト次ノ如キモノ
付テアリマス、第一ニ適用範圍ヲ申上ゲマスト、法規ヲ以テ商店ノ營業時間ヲ制限スル必要ノアリマスノハ、主トシテ市街地デアリマスルカラ、本法ハ市ニ付キマシテハ、總テ之ヲ適用スルコトト致シマシタ、町村ニ付キマシテハ、市ト隣接シテ居ル爲ニ是ト不當競争ヲ生ズル虞アルモノニ付テ、主務大臣ガ之ヲ指定スルコトト致シテ居リマス、最近ノ壯丁ノ體格ヲ見マシテモ、商業ニ從事シテ居ル者ガ、有業者中最モ體格リマス、ガ劣ッテ居ルノデアリマス、斯様ナ狀態ニアリマスルノデ、現在ノヤウナ冗長ナ營業時間ヲ適當ニ制限致シマシテ、又商店使用人ニ對シテ毎月少クトモ一回ノ休日ヲ與ヘマリマスルコトト否トヲ區別スペシテ、以テ保健衛生ノ保護ヲ圖ルコトハ、現下ノ情勢ニ鑑ミマシテ極メテ必要デアルト考ヘルノデアリマス、然ルニ從來我國ニ於キマシテハ、勞務者ノ保護ニ關スル法律モ、之ヲ準用スルコトト致シマシタ、併シザル物品販賣又ハ理容ノ事業ヲ爲ス店舗ニキ理由ガアリマセヌノデ、營利ヲ目的トセス、本法ノ適用ノアリマスノハ、物品販賣業及ビ理容業ヲ營ム店舗デアリマス、而シテ右ハ營利ヲ目的トスルト否トヲ區別スペシテ、以テ保健衛生ノ保護ヲ圖ルコトハ、料理店、飲食店等ニ付テハ、業態ノ性質上同様ニ制限スルコトガ困難デアリマスノデ、之ヲ本法ノ適用ノ外ニ置イタノデアリマス、第二ニ閉店時刻ニ付テ申上ゲマスト、本法ハ店舗ノ營業時間ヲ制限シ、以テ間接ニ商店使用人ノ保護ヲ圖ラントスルモノデアリマス、而シテ本法ハ閉店時刻ヲ原則トシテ午後十時トシ、閉店時刻後顧客ニ對スル營業ヲ禁ジタノデアリマス、併シ閉店時刻前ヨリ店舗ニ在ル顧客ニ對スル營業ニ付テハ

災害其他緊急ノ事由ヲ提示セル顧客ニ對シテハ、閉店時刻後ト雖モ、其必要品ノ販賣ニ限り例外ヲ認メテ居リマス、閉店時刻ハ原則トシテ午後十時デアリマスガ、夜間特ニ殷賑ナル地域ニシテ、右ノ原則ニ依ラシメルコトガ著シク困難ナルモノニ付テハ、行政官廳ニ於テ之ヲ午後十一時マデ繰延ブルコトヲ得ルコトト致シテ居リマス、而シテ右ノ繰延ヲ必要トスル地域ニ付テハ、命令ノ定ムル所ニ依リ關係團體ノ意見ヲ聽キ、之ヲ決定スルコトニ致ス豫定デアリマス、尙ホ商店ハ年末、年始、中元、祭日等ニ於テハ、長時間ノ營業ヲ爲ス慣習ガアリマスノデ、其必要ニ應ズル爲メ、年六十日以内ニ於テ閉店時刻ノ繰延ヲ認ムルコトトシ、實際上ノ不便ナキヲ期シテ居リマス、第三ニ休日ニ付テ申上ゲマスト、本法ハ使用人ニ對シ、毎月少クトモ一回ノ休日ヲ與フベキコトヲ定メテ居リマス、休日ハ營業其モノヲ休止スル休業制ニ依ラシメルコトガ望マシイノデアリマスガ、法律ヲ以テ一律ニ休業セシメルコトハ之ヲ避ケタノデアリマス、第四ニ閉店時刻及び休日ノ例外ニ付テ申上ゲマスト、興行場、博覽會場、停車場等ニ於ケル賣店ハ、其營業場所ノ關係上、

閉店時刻ノ制限ヲ緩和スルノ必要ガアリ、而モ他トノ不當競争ノ虞モ少イノデ、閉店時刻ノ例外許可ノ規定ヲ設ケタノデアリマス、第五ニ大商店ノ就業時間及ビ休日ニ付テ申上ゲマスト、大商店ノ營業ハ繁忙緊張ノ程度ガ、到底通常商店ノ比デハアリマセヌノデ、年少者及ビ女子ニ付テハ、工場法ト同様ノ趣旨ニ依リ就業時間及ビ休日ノ規定ヲ設ケタノデアリマス、即チ常時五人繰延ヲ必要トスル地域ニ付テハ、命定ヲ設ケタノデアリマス、卽チ常時五人以上ヲ使用スル大商店ニ於ケル十六歳未滿ノ者及ビ女子ニ付テハ、就業時間ヲ一日十一時間以内トシ、休日ヲ毎月少クトモ二回ト定メタノデアリマス、尙ホ年末、年始、中元、祭日等ニ於テハ、長時間ノ營業ヲ爲ス慣習ガアリマスノデ、其必要ニ應ズル爲メ、年六十日以内ニ於テ閉店時刻ノ繰延ヲ認ムルコトトシ、實際上ノ不便ナキヲ期シテ居リマス、第三ニ休日ニ付テ申上ゲマスト、本法ハ使用人ニ對スル同様ノ趣旨ニ依リ、就業時間及ビ休日ニ付キ例外ヲ認メテ居リマス、第六ニ交通機關内ニ於ケル店舗及ビ露店ニ關スル事項ニ付テ申上ゲマスト、本法ハ汽車、汽船其他ノ交通機關内ニ於ケル店舗

ハ露店ニ付キ終業スペキ時刻ヲ定ムルコトヲ得ル旨ヲ規定シテ居リマス、以上ガ本法案ノ概要デアリマス、何卒慎重審議ノ上御協贊アランコトヲ望ミマス、次ニ簡易生命保険中改正法律案ニ付テ説明ヲ致シマス、茲ニ議題トナリマシタ簡易生命保険法中改正法律案提出ノ理由ヲ簡單ニ述べマスルト、本案ハ簡易生命保険ノ保険金額ノ制限ヲ、現在ノ四百五十圓ヨリ七百圓ニ引上げル爲メ、簡易生命保険法第四條ニ規定スルトモニ、本保険金最高制限額ヲ七百圓ニ改正セントスルモノデアリマス、簡易生命保険事業ハ、保険金最高制限額ヲ七百圓ニ引上げル爲メ、簡易生命保険法第四條ニ規定スルトモニ、本保険金最高制限額ヲ七百圓ニ改正セントスルモノデアリマス、簡易生命保険事業ハ、保険金最高制限額ヲ七百圓ニ引上げル爲メ、簡易生命保険法第四條ニ規定スルトモニ、本保険金最高制限

分ニハ達成シ得ナイ情勢ト相成ツテ參ツタノデアリマス、一面民營死亡保險ノ情勢ヲ見マスルニ、大部分ハ千圓以上ノ契約デアリマシテ、千圓未滿ノ新契約件數ハ、昭和十一年度ニ於テ僅ニ八万九千餘件、其金額ハ四千六百万圓デアリマシテ、新契約ノ全體ニ對比シマスルトキハ、前者ハ六%、後者ハ一・七%ト云フ有様デアリマス、隨テ簡易保險ト民營死亡保險トノ中間ハ、極メテ大巾ノ間隙ヲ爲シテ居ルノデアリマシテ、此ノ缺陷ハ官民何レカノ保險組織ノ改正ニ依ッテ、補整スル必要ガアル次第デアリマスガ、民間ノ保險會社デハ經營費等ノ關係モ此ノ缺陷ハ官民何レカノ保險組織ノ改正ニ依ッテ、補整スル必要ガアル次第デアリマスガ、民間ノ保險會社デハ經營費等ノ關係モアリマシテ、前申シマシタ計數ヨリモ推測セラル、ガ如ク、千圓未滿契約ノ募集ニ對シテハ、概シテ消極的方針ヲ採ツテ居ル狀態デアリマスノデ、此缺陷ノ補充ハ、ドウシテモ簡易保險ノ保險金引上ト云フ方法ニ依ツテ行フ外ハナインデアリマス、又一面ヨリ見マスルニ、是等ノ保險ニ加入スル者ハ、生活上餘裕ノ少イ人々デアリマスカラ、保險料ノ月掛、集金其他手續ノ簡便ナ、簡易保險制度ヲ利用サセル方ガ、妥當デアルト確信セラレルノデアリマス、以上ノ如ク庶民階級ノ生活實情及ビ保險事業ノ現狀ヨリ致シマシテ、簡易生命保險ノ保險金引上ハ老後ノ保險トシテ、本制度ハ其效果ヲ十

緊要ト相成シテ居リマスガ、一面民營生命保
險ニ及スベキ影響ヲ考慮致シマス時ハ、

餘リ急激ナル引上モ行ヒ得マセヌノデ諸種
ノ事情ヲ慎重考慮ノ上、引上限度ハ七百圓
ト定メシタ次第アリマス、而シテ此程
度ノ保険金引上アレバ、民營生命保險ニ
ハサシタル影響ハナイモノト確信致シテ居
リマス、尙ホ本案ヲ實施スル結果ハ、軍
需產業ノ膨脹ニ伴ヒ收入ノ増加ヲ見テ居ル
勤勞生活者ニ對シ、勤儉貯蓄ノ美風ヲ助長
シ得ルト共ニ、他面積立金モ増加致シマス
ルノデ、公債ノ消化、產業資金ノ供給、公
共福利施設ノ擴充等、現下ノ國策遂行上ニ
モ、少カラヌ效果ヲ期待シ得ルト思フノデア
リマシテ、此意味ニ於テモ簡易保險ノ保險
金引上ハ、此際是非實行致シタイト存ズル
次第アリマス、何卒十分御審議ノ上御協
賛アランコトヲ切望致シマス

○清水委員 參考資料ヲ要求シタイト思ヒ
マスカラ、此場合御許ヲ願ヒマス——簡易
生命保險ノ部ニ屬スルノデアリマスガ、保
險解除ニ關スル件デアリマス、所謂簡易保
險並ニ民間保險、此民間保險ハ出來ルナラ
バ會社別ニ願ヒタイノデスガ、途中ニ於テ
解除サレル分ノ事項、即チ一年以内解除
スルモノ、二年以内解除スルモノ、三年

以内解除スルモノ、或ハ三年以降契約満了

アリマセウカ

マデノ間ニ解除スルモノ、是等解除スル者ノ
總契約人員ニ對スル割合ト、總契約ノ金額
ニ對スル割合、及ビ拂戻シタル人員ノ割合、
及ビ金額ノ割合、次イデ各民間保險會社ノ
拂戻一株ノ金額竝ニ今日ノ時價、ソレカラ
民間保險ノ資金ヲ如何ナル方面ニ利用シテ
居ルカ、所謂公債ナリ、地方債ナリ、株式
ナリ、或ヘ被保險者ニ對スル貸付金ナリノ
其大體ノ表、ソレヲ御願致シタイ次第ア
リマス

○服部委員長 一寸申上ゲマス、一昨日ノ
理事會ニ於キマシテ、議案審議ノ順序ハ、
各案每ニ質疑ヲ致シテ行クヤウナコトニ致
シマシタカラ、其點豫メ御諒承ヲ願ッテ置キ
タイト思ヒマス——ソレデハ通告順ニ依リ
マシテ發言ヲ許スコトニ致シマス——土屋
清三郎君

○工藤政府委員 社會事業法案ノ大體ノ方
針ニ付テハ、政務次官ト雖モ御答出來マス、
細カイコトハ事務次官ノ方ガ分リマスケレ
ドモ、大體ノ斯様ナル立法ノ必要デアルコ
トニ付テハ、固ヨリ吾々モ説明ガ出來マス

ニシタ理由、之ヲ承リタイ

○山崎政府委員 便宜私カラ御答申上ゲ
マス、中央社會事業委員會ハ、主務大臣ノ
最高諮詢機關ト致シマシテ、會長ハ主務大
臣ヲ以テ充テル豫定デゴザイマス、其委員
ハ民間ノ學識經驗アル者、中ニハ社會事業
方面ニ權威ヲ持ツテ居ラレマスヤウナ方々、
及ビ各官廳ノ高等官ノ中カラ選任ヲ致ス豫
定デゴザイマス、地方社會事業委員會ノ御
司法ノ保護事業、主トシテ司法省所管デヤッ
テ居ル仕事ガアリマス、免囚保護事業デア
ルトカ、或ハ少年囚ノ保護ノ問題等、ソレ
カラ軍事援護事業、是モ御承知ノ通リ各方
面ニ斯様ナルモノガ澤山出來テ居リマス、
ソレカラ永續的デハナク、臨時ニ短期間ヤ
ルヤウナ、大體期間モ明瞭デアルヤウナ種
類ノモノ、或ハ產業組合、或ハ農家ノ小組
合等ノ設立スル共濟的ノ事業、斯ウ云フヤ
ウナ種類ノ仕事ハ、大體此法律以外ニ於テ
モ保護監督成ノ途ガアリマスルカラ、左
様ナ立法ノ仕方ヲ採ツタ譯デアリマス

○土屋委員 ソレカラ第八條ノ中央社會事
業委員會ノ組織內容、ソレカラ第九條ノ地
方社會事業委員會ノ組織內容、及ビ第八條
ノ中央社會事業委員會ハ必ス置クコトニナ
ルノデアリマスガ、第九條ノハ設立ヲ自由

マシテ、民間ノ學識經驗ヲ持ツテ居ラレマス
ル方々ヲ委員トシテ御願致シマシテ、委員
會ヲ構成スル豫定デアリマス、此地方委員
會ヲ特ニ各府縣ニ一律ニ強制的ニ設置セズ
シテ、任意的ト致シマシタ理由ニ付テノ御
尋デゴザイマスルガ、此點ハ地方ノ社會事
業ノ現在ノ實情ニ鑑ミマシテ、一律ニ法律
ヲ以テ強制スルコトハ如何デアラウカト云
フ點ヲ考慮致シマシテ、斯ノ如キ立前ニ致

シマシタノデアリマス、併ナガラ出来マス
限リ行政ノ運用ニ依リマシテ、各地方トモ
設置スルコトヲ勧奨致シタイト考ヘテ居ル
次第ゴザイマス

○土屋委員 モウ少シ具體的ニ伺ヒタイノ
デスガ、此事業ノ中ニハ「施療所、産院其ノ他
施療、救療又ハ助產保護ヲ爲ス事業」ト云
フノガアリマスカラ、中央ノ委員會ニ醫師、
藥劑師等ヲ加ヘル必要ガアルト思ヒマス
ガ、其點ハ如何デアリマスカ、又地方ノ委
員會ニ於テモ同様ノ必要ガアルト思ヒマス
ガ、此點ハドウ云フ御見込デアリマスカ
○山崎政府委員 只今申上ゲマスルヤウ
ニ、中央地方社會事業委員會ニ於キマシテ
ハ、中央並ニ地方ニ於キマスル社會事業ニ
關シマスル重要ナ事項ヲ審議スルコトニ相
成ル譯デアリマス、其中ニ於テ醫療等ニ關
シマスル問題モ、當然重要ナ部分ト考ヘルノ
デアリマス、其方面ニ於キマシテ、社會事
業委員會ニ委員トシテ御願シマスコトガ適
當デアルヤウナ方ガゴザイマシタ場合ニ
ハ、當然參加ヲ願フコトニナルト思ヒマス
○土屋委員 第六條ノ「地方長官ハ監督上
必要アリト認ムルトキハ社會事業ヲ經營ス
ル者ニ對シ其ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サ
シメ、書類帳簿ノ提出ヲ命ジ」斯ウアリマ

スガ、此書類帳簿ノ中ニハ「施療ノ場合ノ
所謂診療錄ハ含マザルモノト解シテ宜シウ
ゴザイマスカ

○山崎政府委員 第六條ノ規定ハ、社會事

業ノ經營ニ關シマスル監督規定ゴザイマ
ス、診療所等ノ診療錄ヲ、此書類帳簿ノ中
ニ含メルカ否カト云フ法律問題ト致シマシ
ハ、書類帳簿ノ中ニ當然包含シ得ルト考ヘ
マスガ、此規定ノ立前ガ施設ノ監督其他ノ
問題ガアツタ場合ニハ、ソレハ勿論保険醫カラ
ハ、書類帳簿ノ中ニ當然包含シ得ルト考ヘ
マスガ、此規定ノ立前ガ施設ノ監督其他ノ
問題ガアツタ場合ニハ、ソレハ勿論保険醫カラ
ニ當ル所ノ醫師ガ、此政府ノ重大ナル事業
ニアル所ノ保険ノ診療ニ携ツテ不正ヲ行ッタ
者ガアツタ場合ニハ、ソレハ勿論保険醫カラ
除名サレルナリ何ナリノ處分ハ致方ナイト
考ヘマスケレドモ、果シテソレガ不正ニア
ルカ否カト云フコトハ、如何ニ致シマシテ
モ醫師デナケレバ見分ケルコトガ出來ナ
ル、是ハドウシテモ不可能デアリマス、若
シ素人ガソレヲ判断シタト云フナラバ、是
ハ非常ナ過デアルト考ヘマス、一面ニ於テ
醫療ニ關スル祕密ハ、人ノ祕密トシテ最モ
重大デアリマスカラシテ、刑法ニ於テモ、
民事訴訟法ニ於テモ、雙方カラ是ヲ保護シ
テ居ルノデアリマシテ、隨テ先般醫師法改
正ノ當時モ、此事ガ非常ニ重大ナ問題トナッ
定ヲ設ケルヤウニナックノデアリマス、即チ
醫師ノ診療錄ト云フモノハ、醫師タル衛生
官吏ニ限テ之ヲ見ルコトガ出來ル、又官吏
タル職務上、此ノ醫師タル衛生官吏ノ知ッ
タスシ、ソレカラ健康保險法デモ、診療錄
ル書類或ハ帳簿ト云フ文字ヲ使ハレテ居リ
トハッキリハ書イテナイヤウデアリマスガ、
斯ウ考ヘテ居リマス、若シ之ヲ含マレルト
解釋サレマスト、非常ニソコニ色々ナ問題
當デアルヤウナ方ガゴザイマシタ場合ニ
ハ、當然參加ヲ願フコトニナルト思ヒマス
○土屋委員 第六條ノ「地方長官ハ監督上
必要アリト認ムルトキハ社會事業ヲ經營ス
ル者ニ對シ其ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サ
シメ、書類帳簿ノ提出ヲ命ジ」斯ウアリマ

ハレマシテ、サウシテ醫師ニアラザル、衛
リマス、然ルニ此母子保護法ヲ見マシテモ、先
般ノ健康保險法案ヲ見マシテモ、此度ノ社
會事業法案ノ第六條ノ規定ヲ見マシテモ、
私ハ醫師法ノアノ規定ノ立前カラシテ、診療
錄ヲ含マレナイモノデアル、若シ診療錄ヲ含
ムト云フコトニナレバ、醫師法ノ規定ト云フ
ニ見テ歩イタ、ソレガ土臺ニナッテ不正
ゴザイマスカ

○土屋委員 此點ハ實ハ非常ニ重大ナ問題
デアリマスカラ、ハッキリ致シテ置キタイト
思ヒマスガ、先般國民健康保險法案ノ審議
ノ際ニモ私伺ツテ置キマシタガ、私ハ診療錄
ト明記サレナイ以上ハ、含マレザルモノト
斯ウ考ヘテ居リマス、若シ之ヲ含マレルト
解釋サレマスト、非常ニソコニ色々ナ問題
當デアルヤウナ方ガゴザイマシタ場合ニ
ハ、當然參加ヲ願フコトニナルト思ヒマス
○土屋委員 第六條ノ「地方長官ハ監督上
必要アリト認ムルトキハ社會事業ヲ經營ス
ル者ニ對シ其ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サ
シメ、書類帳簿ノ提出ヲ命ジ」斯ウアリマ

スガ、此書類帳簿ノ中ニハ「施療ノ場合ノ
所謂診療錄ハ含マザルモノト解シテ宜シウ
ゴザイマスカ

スガ、此書類帳簿ノ中ニハ「施療ノ場合ノ
所謂診療錄ハ含マザルモノト解シテ宜シウ
ゴザイマスカ

ニ依ッテ、何時タリトモ醫師診療録ヲ查閱スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、診療録ハ醫師法ノ正條ニ依ッテ取締ルコトニ致シマシテ、其他ハ法律ニ於テ之ヲ查閱スルコトハシナイ、出來ナイモノト私ハ解釋シテ居ルノデアリマスガ、是ハ影響スルコトガ重大デアリマスカラ、此點ヲ御考慮下サシテ、一ツハツキリシタ御解釋ヲ御決定願ヒタイト

○山崎政府委員

第六條ノ書類帳簿ノ提出ノ解釋ノ問題ニ付キマシテハ、先程私ガ御答ヲ申上ゲタ通リダト信ズルノデアリマス、唯此條文全體ハ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、社會事業ノ經營ニ關シマス指導監督ノ規定デアリマシテ、診療所等ニ付テ診療録ノ提出ヲ命ズルト云フ場合ハ、極メテ稀ナリ地方廳ニ於キマシテ、醫師ノ技術官ノ增員モ考慮セラレテ居ルノデアリマシテ、是等ノ取締ニ付キマシテハ、其方面ノ技術者今御心配ノヤウナコトハ、殆ド起リ得ナイデヤナカト云フヤウニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○土屋委員

此問題ハ、私ハ今此處デドウト云フコトヨリハ、慥カアレハ衛生局ノ醫務課デヤッテ居ルコトト思ヒマスカラ、省内

デ御協議ヲ願ヒマシテ、ハツキリ御決定ヲ願シテ、他日御答辯ヲ得タイ、斯ウ存ジテ居リマス、次ニ幸ヒ厚生大臣ガ御見エニナリマス、社会事業ガ其國內ニ發達スルトアリマス、社會的ニ落伍者ガ段々殖エテ行クト云フコトコトデアッテ、是等ノ落伍者ヲ救フト云フ點カラ見マスレバ、此社會事業ノ必要ナルコトハ——其發達ハ望マシイコトデアリマスケレドモ、國及ビ社會カラ見マスレバ、斯ウ云フ事業ガ益、必要ニナッテ行クト云フコトハ、寧ロ甚ダ悲シムベキコトデアリマス、ソコデ如何ニスレバウ云フ社會ノ落伍者ヲ少クスルカ、其點ニ付テ私ハ先年我國ガ非常ニ不景氣ニナリマシタ場合ニ、都合デ失業シタ者ヘドンヽ田舎ニ歸ッテ行キ、田舎デハ其家族ガ之ヲ養ッテ居ル爲ニ、日本ニ於テハア、云フ不景氣ニナッテモ、失業問題ガ歐羅巴其他ノヤウニ左程深刻ニナラナイ、熟々其際私ハ日本ノ家族組織ノ有難モ、此家庭制度ト申シマセウカ、家族ガ一段々セチ辛クナッテ參リマシテ、國民ノ氣分モ、此家庭制度ト申シマセウカ、家族ガ一

務課デヤッテ居ルコトト思ヒマスカラ、省内デ御協議ヲ願ヒマシテ、ハツキリ御決定ヲ願シテ、他日御答辯ヲ得タイ、斯ウ存ジテ居リマス、次ニ幸ヒ厚生大臣ガ御見エニナリマス、社会事業ガ其國內ニ發達スルトアリマス、社會的ニ落伍者ガ段々殖エテ行クト云フコトコトデアッテ、是等ノ落伍者ヲ救フト云フ點カラ見マスレバ、此社會事業ノ必要ナルコトハ——其發達ハ望マシイコトデアリマスケレドモ、國及ビ社會カラ見マスレバ、斯ウ云フ事業ガ益、必要ニナッテ行クト云フコトハ、寧ロ甚ダ悲シムベキコトデアリマス、ソコデ如何ニスレバウ云フ社會ノ落伍者ヲ少クスルカ、其點ニ付テ私ハ先年我國ガ非常ニ不景氣ニナリマシタ場合ニ、都合デ失業シタ者ヘドンヽ田舎ニ歸ッテ行キ、田舎デハ其家族ガ之ヲ養ッテ居ル爲ニ、日本ニ於テハア、云フ不景氣ニナッテモ、失業ト云フモノハ、景氣ノ好イ時代ニハ經營ハ樂デアリマスケレドモ、景氣ガ惡クナルト非常ニ困難トナリ、最モ救フコトガ必要ナリ時代ニ、一番經營ガ困難ニナッテ來ルノデアリマス、隨テ社會事業ガ發達シテ行クト云フコトハ、甚ダ望マシクナイコトデアリマスカラ、一面ニハドウシテモ之ヲ防止スル爲ニ、從來カラノ日本ノ家族制度、何ト申シマセウカ、自分ノ一家内ノ者ハ自分ノ家デ互ニ救ヒ合ツテ、成ベク他人ノ厄介ニナラナイト云フ氣持ヲ、何處マデモ助長シテ行クコトガ必要ダト考ヘルノデアリマス、

本ノ國ヲ將來一層強クスル上カラ言ツテモ、極ク必要ナコトダトスウ考ヘテ居ルノデアリマスガ、其方面ニ付テ、一面ニハ厚生大臣トシテ、一面ニハ文部大臣トシテ、國民社会ノ教育ノ任ニ當ツテ居ラレル所ノ大臣ハ、ドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラレマセウカ、現在若シ其意味デ何カヤッテ居ラレマセウカ、其施設、將來ナサレヨウトスルナラバ其御方針ヲ、此機會ニ承ツテ置キタイ、斯ウ考ヘルノデアリマス

○木戸國務大臣

只今土屋サンカラノ御尋ハ全ク御同感デアリマス、實際漸次此國民ノ生活様式ガ變リ、例ヘバ勞働方面ニ於テモ大規模ナ工場ガ起ツテ來ルト、其方面ニ農村ノ子弟ガ吸收サレルト云フヤウナ關係力ラ致シマシテ、家族制度ト云フモノハ、色々經濟事情其他カラ鬼角破壞サレ易イモノデアリマス、隨テ又所謂只今御話ノヤウナ社会生活ノ上カラ、一種ノ落伍者ナルモノガ出テ來ル、ソコニ又社會事業ガ必要ナノデアリマス、一時可ナリ經濟組織ガ急速ナル發達ラスルニ伴ヒマシテ、又氣分ガ個人主義的ニナッテ參ッタ云フコトモ事實デアリマスガ、最近ニ於キマシテハ、再ビ我ガ國體ト云フコトガ注意ヲ惹クヤウニナリマスト共ニ、我國ノ家族制度ト云フモノガ非

常ニ價值ガアリ、意義ガアルト云フコトニ付キマシテモ、段々ト各方面ニ於テ理解サレ、再ビ見直サレテ居ルト云フ實情デアルト考ヘル、只今御話モゴザイマシタガ、教育方面ニ於テモ、此方面ニ付テハ十分ニ我ガ國體ノ特異性デアル家庭制度ト云フモノニ對スル正常ナル認識ヲ深メルコトニ付テハ、努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、只今特ニ厚生省トシテ其方面カラ、所謂社會ノ落伍者ヲ如何ナル方法デ無クシテ行クカト云フコトニ付テハ、具體的ノ方策ヲ考ヘ立テ居ル譯デハアリマセヌガ、大體御話ノヤウナ方面ニ向シテ努力シテ行キタイト思ツテ居リマス、サウシテ社會事業ガ不景氣ニナレバ、經營ガ困難ニナルト云フヤウナ實情ニ付キマシテモ、此法案が出來マスレバ、只今ハ補助金等ニ付テモ不十分ナ點ガアリマスガ、漸次法ノ運用ト財政上ノ關係等ニ依リマシテ、出來ルダケ其方面カラ之ヲ是正シテ、不景氣ノ場合ニ此事業が崩當リタイト考ヘテ居リマス

○土屋委員

此法案ニ關聯シテ救療問題デ同ヒタインデアリマスガ、只今モウ何人モ其必要ヲ感じテ居ル所ノ結核患者ノ救療デアリマス、現ニ東京市ニ於キマシテモ、醫

者カラ是ハ肺病デアル、家ニ居テモ仕様ガナイカラ、入院シナケレバナラヌト云フコトニナッテ、ソコデ市ノ施療病院ナリ、或ハ府ノ施療病院ナリニ——勿論結核ノ病院デト云フモノハ、斯ウ云フ病人ヲ抱ヘテ居テシテモ三月カラ半年位掛カル、其間其家族ト云フモノハ、斯ウ云フ病人ヲ抱ヘテ居テタマラナイ、病人ノ方ハ段々病氣ガ進行シテ其間ニ死ンデシマフ、私ハ昨年カラ本年ニ掛ケマシテ、自分ノ知合カラ賴マレテ、ト云フコトニ付テハ、具體的ノ方策ヲ考ヘ立テ居ル譯デハアリマセヌガ、大體御話ノヤウナ方面ニ向シテ努力シテ行キタイト思ツテ居リマス、サウシテ社會事業ガ不景氣ニナレバ、經營ガ困難ニナルト云フヤウナ實情ニ付キマシテモ、此法案が出來マスレバ、只今ハ補助金等ニ付テモ不十分ナ點ガアリマスガ、漸次法ノ運用ト財政上ノ關係等ニ依リマシテ、出來ルダケ其方面カラ之ヲ是正シテ、不景氣ノ場合ニ此事業が崩當リタイト考ヘテ居リマス

ナイデ、其病院ノアル附近ノ患者、若クハナイカラ、入院シナケレバナラヌト云フコトニナッテ、ソコデ市ノ施療病院ナリ、或ハ府ノ施療病院ナリニ——勿論結核ノ病院ハ、アリマスガ、入院サセヨウトシテモ、ドウシテモ三月カラ半年位掛カル、其間其家族ト云フモノハ、斯ウ云フ病人ヲ抱ヘテ居テタマラナイ、病人ノ方ハ段々病氣ガ進行シテ其間ニ死ンデシマフ、私ハ昨年カラ本年ニ掛ケマシテ、自分ノ知合カラ賴マレテ、ト云フコトニ付テハ、具體的ノ方策ヲ考ヘ立テ居ル譯デハアリマスカラ、私實ニ氣ノ毒ナ事例ヲ多ク見テ居ルノデアリマス、所ガ一方ニハ全國ニ赤十字病院ト云フ、國民ノ淨財ヲ集メテ出來タ所ノ病院ガ立派ニアリマス、サウシテ其病院ハ、ドウ云フヤウニシテ、金ヲ集メテ居ルカト云フト、地方ニ於キマシテハ、若シ寄附ヲ餘計シテ吳レ、バ入院ヲスル場合ニ割引ヲスル、斯ウ云フヤウナ風デ募集シテ居リマスカラシテ、出來タ所ノ赤十字病院ト云フモノハ、何レモ資産ノアル者ノ寄附ト云フモノハ、名ハ博愛慈善デアリマスルケレドモ、ナイ施療ヲ受ケル者バカリガ行ク、即チ資產ノアル階級ノ者ハ自分ノ名譽税トシテ、此施療病院ニドンヽ金ヲ寄附シテ行ク、治療ヲ受ケル者ハ金ノナイ者バカリデアル、サウ云フコトガアノ英吉利ノ社會ニ於テ、治療ヲ受ケル者ハ金ノナイ者バカリデアル、

實ハ其附近ニ於ケル機關ニナッテ居シテ、金ノナ人達ハ殆ド其恩惠ニ浴スルコトガ出來ナイ、又府縣立病院等ニ於キマシテモ同様デアリマシテ、府縣ノ費用デ建テタ所ノ病院ガ、貧シイ人達ノ爲ニ利用サレアリマスケレドモ、我國ハ今申シマシタ赤十人マスケレドモ、東京市ノ方面ニ付テモ、サウ云フコトヲ耳東京市ノ方面ニ付テモ、サウ云フコトヲ耳ニシタコトモアリマス、併シ直チニサウ云フ關係カラ、赤十字病院其他ノ病院ヲ全部施療ニスルト云フ風ニ、一足飛ニハ中々行カナイ問題デアリマス、併ナガラ只今ノヤウナ點ニ付テ可ナリ缺點ノアルコトハ考ヘ

マスノデ、ソレ等ニ付テハ將來實情ヲ能ク

調査致シマシテ、御話ノヤウナ方面ニ向ッテ
研究シ盡力シテ參リタイト存ジマス

○土屋委員 モウ一つ花柳病豫防問題ニ付
テ御尋シタイト思ヒマス、花柳病ガ戰爭ノ
ヤウナ機會ニ於テハ、急速ニ國民ノ間ニ蔓
延シテ行クコトハ申ス迄モナイコトデアリ

マス、承レバ政府ハ此非常事變ニ際シマシ
テ、花柳病豫防ニ關スル宣傳、或ハ其救療
等ニ付テ、何カ御考ニナッテ居ルト云フコト
デアリマスガ、私ハ此場合花柳病豫防ニ對
スル政府ノ將來ノ御方針ヲ伺ッテ置キタイ
ト思ヒマス、ト申シマスノハ、我國ニ於ケ
ル花柳病豫防制度ハ、洵ニ何ト申シマセウ
カ、方針ガ不徹底デアル、一方ニハ所謂娼
妓取締規則、貸座敷取締規則ト云フ公娼制
度ガアッテ、花柳病豫防ニ付テ嚴重ナル取締
ヲシテ居ルニモ拘ラズ、他ノ反面ニ於テハ全
ク之ヲ放任シテ、密賣淫ヲ公ニ默認シ、花柳
病ノ取引ガ自由ニ行ハレル儘ニナッテ居ル、
先年花柳病豫防法ガ出來マシテ、密賣淫者ノ
レドモ、是ハ極メテ消極的デアッテ、此方法
デハ決シテ花柳病ノ蔓延ヲ取締ルコトガ出
來ナイノミナラズ、コ、十數年來公娼制度
廢止ノ聲ガ、宗教團體其他ノ方面カラ喧シ

クナッテ參リマスト、地方ニ於テハ其聲ニ應

ジマシテ、貸座敷及ビ娼妓ヲ廢シテ、之ヲ自
由放任ニスル縣ガ追々出來テ參ッタヤウデア
リマス、固ヨリ女子ガ其最モ大切ナル貞操

ヲ金ニ代ヘテ取引ヲスト云フコトハ、
人道上カラ見マシテモ、洵ニ傷マシイ現象

デアッテ、斯ルコトヲ公ニ認メルコトハ、國
ノ體面ニモ關スルコトデアリマスガ、奈何
セン人間ノ生活ハ表バカリデナク裏モアル、
而モ人間ノ生活ノ弱味ニ乘ジテ、花柳
病ト云フモノガ自由ニ取引サレルヤウニナッ
テ居リマスルシ、一旦人ガ花柳病ニナリマ
スルト、婦人ハ妊娠力ヲ失ヒ、隨テ國民ノ
出産率モ減ル、或ハ是ガ爲ニ新婚勿々ニシ
テ破鏡ノ嘆ニ遭ッテ、一生ヲ暗ク送ル者モ少
クナイ、又男子ガ黴毒ニ罹ッタ場合ニ於テ、
丁度一家ノ大黒柱トシテ盛ニ働ク時代ニ腦
黴毒等ニナッテ、精神ニ異狀ヲ來シ、精神病
院ノ厄介ニナル、其爲ニ一家ハ全ク暗クナッ
テ、甚シキニ至ッテハ是ガ爲ニ家族路頭ニ迷
フヤウナ悲劇ハ、精神病方面ニ關係シテ居
ル者ノ何レモ皆認メル所デアッテ、是等ノコ
トヲ考ヘマスト、花柳病豫防ノ問題ハ、
此問題ニ遭遇シテ居ルノデアリマスルガ、
ドウモ政府ガ廢娼論ト存娼論ト兩方ノ間ニ
挿ツテ、此問題ニ付テ根本的ノ解決ガ付キマ
セヌ爲ニ、隨テ此花柳病ノ豫防ト云フコト
ト云フヤウナ簡單ナ考ヘ方デナクシテ、國
民衛生ノ上カラ言ツテモ、國力ノ增進ノ上カ
ガ徹底致シマセヌ、私ハ最近露西亞デ花柳

ラ行キマシテモ、非常ニ重大ニ考ヘナケレ
バナラナイノデアリマス、然ルニ先程申上

ゲマシタ如ク、ドウモ此花柳病ノ豫防ニ關
スル政府ノ方針ガ徹底シナイ、一面ニハ公
娼制度ヲ設ケテ嚴重ニ取締ツテ居ル、他ノ一
面ニ於テハ全然之ヲ放任シ、又府縣ニ依リ

マシテハ全ク之ヲ開放シテ居ルト云フヤウ
ナコトニナッテ居リマスルコトハ、私ハ非常
ニ不都合ナコトデアルト考ヘルノデアリマ
ス、殊ニ賣笑ノ取締ガ、本來衛生方面ヲ主
トシテ行カナケレバナラナイニ拘ラズ、是

ガ保安警察方面ニ主トシテ取締ラレテ居リ
マスルガ爲ニ、衛生ノ方面ハ從トナッテ、此
取締ガ徹底シナイ、今度此非常時變ニ際シ
テ、花柳病ノ豫防、蔓延ヲ防止スル爲ニ、
政府ガ更ニ新シイ力ヲ加ヘルト云フコトハ、
沟ニ結構ナコトデアリマスルケレドモ、花柳
病豫防ニ對スル政府ノ根本方針ヲ御決メニ
ナラナケレバ、到底此目的ヲ達スルコトガ
出来ナイト考ヘマス、隨分世間ニハ廢娼問
題ガ喧シウゴザイマシテ、私共ハ屢々議會デ
ナラナケレバ、此問題ニ遭遇シテ居ルノデアリマスルガ、
ドウモ政府ガ廢娼論ト存娼論ト兩方ノ間ニ
挿ツテ、此問題ニ付テ根本的ノ解決ガ付キマ
セヌ爲ニ、隨テ此花柳病ノ豫防ト云フコト
ト云フヤウナ簡單ナ考ヘ方デナクシテ、國
民衛生ノ上カラ言ツテモ、國力ノ増進ノ上カ
ガ徹底致シマセヌ、私ハ最近露西亞デ花柳

病取締ノ過去數年間ノ報告ヲ見タノデアリ
マスルガ、露西亞ニ於テハ無論賣淫婦ト云
フモノヲ認メテ居リマスガ、單ニ取締ルバ

カリデナクシテ、本當ニ其女ヲ救フガ爲ニ
ハ、一面ニハ彼等ニ職業ヲ與ヘテ、賣淫ニ
依ラズシテ生活ヲシテ行ケルヤウニシテヤ
ル、一面ニハ其病氣ヲ無料デドンノ治療シ
テヤッテ居リマスルガ爲ニ、段々賣淫ト云フモ
ノガ減ツテ參ッテ、今私ハ此處ニ書類ヲ持ツテ
居リマセヌケレドモ、著シイ數ニ減ツテ居リ
マス、何レニ致シマシテモ、花柳病ノ取引ヲ
スル者、賣淫ヲ常業トスル者ヲヤハリ公ニ
認メテ、サウシテソレ以外ノ場所ニ於ケル
不正ナル性交ノ取引ヲ嚴重ニ取締ルニアラ
ザレバ、花柳病ノ豫防ト云フモノハ徹底シ
ナイ、國民ノ間ニ花柳病ニ依ル所ノ慘害ヲ
防止スルト云フコトガ困難ダト、斯ウ考ヘ
ルノデアリマスガ、政府ハ此場合花柳病取
締ノ爲ニ、賣淫ニ對スル根本方針ヲ決定シ
テ、サウシテ之ヲ警察方面ヨリモ、主トシ
テ衛生方面カラ、厚生方面カラ之ヲ統一シ
テ取締ツテ行クト云フコトガ必要ダ、斯ウ考
ヘルノデアリマスガ、此點ニ付テ政府ノ御
所見ハ如何デアリマス

○高野政府委員 一應私カラ御答致シマス、
ソレデ御不足ガアリマスレバ、他ノ委員カ

ラ御答致スコトニ致シマス、花柳病ガ蔓延致シマスルコトハ、洵ニ國民保健上恐ルベキコトデアリマス、之ヲ豫防スル點ニ於テ、政府ガ十分ノ努力ヲ盡スキハ御説ノ通りト存ジマス、花柳病豫防ノ根本方針ト致シマシテ、先づ第一ニハ感染ノ機會ヲ防遏スベキデアリマスシ、次ニハ國民ノ中ノ花柳病毒ヲ持ツテ居ル者ノ根絶ノ爲ニ治療ノ途ヲ盡スペキコトデアリ、又續キマシテ國民一般ニ花柳病ニ對スル知識ヲ普及徹底致シテ自ラモ保護スル、斯ウ云フ精神ニ於キマシテ花柳病傳播ノ危険ヲ避ケルヤウニスルコトガ、大體要項ト存ジテ居ルノデアリマス、花柳病ノ感染ノ機會ヲ減ズル爲ニ、賣笑婦ニ對スル健康狀態ノ改善ト云フコトガ、第一ノ問題ニナル譯デアリマスガ、只今ノ日本ノ賣笑ノ狀態ハ、一方ニハ娼妓取締規則ニ依リマス公娼ニ對スル衛生上の設備ガゴザイマス、此公娼ニ於テスラモ、實ハ満足ナル健康狀態ヲ保障シテ居ルトハ考ヘラレナイヤウナ狀態ニアリマシテ、公娼デスマモ之ヲ定期検診致シマス際ニ、相當數ノ患者ヲ發見スルヤウナ狀態ニアリマス、況ヤ公娼ナラザル者ノ健康狀態ノ保障ハ一層困難デアルノデアリマス、併シ公娼及ビ娼ノ健康狀態ヲ保持改善致シマス爲ニ、如

何様ノ手段ヲ執ルベキカガ問題デアリマシテ、私共ノ今感ジテ居リマスル點デハ、公娼ト云ハズ、私娼ト云ハズ、同ジ水準ニ置キマシテ、而モ出來ルダケノ衛生狀態ニ達ト存ジマス、花柳病豫防ノ根本方針ト致シマシテ、先づ第一ニハ感染ノ機會ヲ防遏スベキデアリマスシ、次ニハ國民ノ中ノ花柳病毒ヲ持ツテ居ル者ノ根絶ノ爲ニ治療ノ途ヲ盡スペキコトデアリ、又續キマシテ國民一般ニ花柳病ニ對スル知識ヲ普及徹底致シテ自ラモ保護スル、斯ウ云フ精神ニ於キマシテ花柳病傳播ノ危険ヲ避ケルヤウニスルコトガ、大體要項ト存ジテ居ルノデアリマス、花柳病ノ感染ノ機會ヲ減ズル爲ニ、賣笑婦ニ對スル健康狀態ノ改善ト云フコトガ、第一ノ問題ニナル譯デアリマスガ、只今ノ日本ノ賣笑ノ狀態ハ、一方ニハ娼妓取締規則ニ依リマス公娼ニ對スル衛生上の設備ガゴザイマス、此公娼ニ於テスラモ、實ハ満足ナル健康狀態ヲ保障シテ居ルトハ考ヘラレナイヤウナ狀態ニアリマシテ、公娼デスマモ之ヲ定期検診致シマス際ニ、相當數ノ患者ヲ發見スルヤウナ狀態ニアリマス、況ヤ公娼ナラザル者ノ健康狀態ノ保障ハ一層困難デアルノデアリマス、併シ公娼及ビ娼ノ健康狀態ヲ保持改善致シマス爲ニ、如

何様ノ手段ヲ執ルベキカガ問題デアリマシテ、私共ノ今感ジテ居リマスル點デハ、公娼ト云ハズ、私娼ト云ハズ、同ジ水準ニ置キマシテ、而モ出來ルダケノ衛生狀態ニ達ト存ジマス、花柳病豫防ノ根本方針ト致シマシテ、先づ第一ニハ感染ノ機會ヲ防遏スベキデアリマスシ、次ニハ國民ノ中ノ花柳病毒ヲ持ツテ居ル者ノ根絶ノ爲ニ治療ノ途ヲ盡スペキコトデアリ、又續キマシテ國民一般ニ花柳病ニ對スル知識ヲ普及徹底致シテ自ラモ保護スル、斯ウ云フ精神ニ於キマシテ花柳病傳播ノ危険ヲ避ケルヤウニスルコトガ、大體要項ト存ジテ居ルノデアリマス、花柳病ノ感染ノ機會ヲ減ズル爲ニ、賣笑婦ニ對スル健康狀態ノ改善ト云フコトガ、第一ノ問題ニナル譯デアリマスガ、只今ノ日本ノ賣笑ノ狀態ハ、一方ニハ娼妓取締規則ニ依リマス公娼ニ對スル衛生上の設備ガゴザイマス、此公娼ニ於テスラモ、實ハ満足ナル健康狀態ヲ保障シテ居ルトハ考ヘラレナイヤウナ狀態ニアリマシテ、公娼デスマモ之ヲ定期検診致シマス際ニ、相當數ノ患者ヲ發見スルヤウナ狀態ニアリマス、況ヤ公娼ナラザル者ノ健康狀態ノ保障ハ一層困難デアルノデアリマス、併シ公娼及ビ娼ノ健康狀態ヲ保持改善致シマス爲ニ、如

何様ノ手段ヲ執ルベキカガ問題デアリマシテ、私共ノ今感ジテ居リマスル點デハ、公娼ト云ハズ、私娼ト云ハズ、同ジ水準ニ置キマシテ、而モ出來ルダケノ衛生狀態ニ達ト存ジマス、花柳病豫防ノ根本方針ト致シマシテ、先づ第一ニハ感染ノ機會ヲ防遏スベキデアリマスシ、次ニハ國民ノ中ノ花柳病毒ヲ持ツテ居ル者ノ根絶ノ爲ニ治療ノ途ヲ盡スペキコトデアリ、又續キマシテ國民一般ニ花柳病ニ對スル知識ヲ普及徹底致シテ自ラモ保護スル、斯ウ云フ精神ニ於キマシテ花柳病傳播ノ危険ヲ避ケルヤウニスルコトガ、大體要項ト存ジテ居ルノデアリマス、花柳病ノ感染ノ機會ヲ減ズル爲ニ、賣笑婦ニ對スル健康狀態ノ改善ト云フコトガ、第一ノ問題ニナル譯デアリマスガ、只今ノ日本ノ賣笑ノ狀態ハ、一方ニハ娼妓取締規則ニ依リマス公娼ニ對スル衛生上の設備ガゴザイマス、此公娼ニ於テスラモ、實ハ満足ナル健康狀態ヲ保障シテ居ルトハ考ヘラレナイヤウナ狀態ニアリマシテ、公娼デスマモ之ヲ定期検診致シマス際ニ、相當數ノ患者ヲ發見スルヤウナ狀態ニアリマス、況ヤ公娼ナラザル者ノ健康狀態ノ保障ハ一層困難デアルノデアリマス、併シ公娼及ビ娼ノ健康狀態ヲ保持改善致シマス爲ニ、如

生世ノ中ノ厄介者ニナルノデアルカラシテ、サウ云フ所ニ行ッタナラバ、一面ニハ花柳病豫防ノ爲ニ健康診斷モ治療モ十分ニヤッテヤル、反面ニ於テ彼等ノ將來ヲ救ッテヤッテ、眞人間ニナリ得ルヤウニシテ行クコトガ、ヤハリ厚生行政ノ重大ナル仕事デアラウト考ヘルノデアリマス、ソコデ私ノ考ハ、總テ賣淫ニ對スル取締ハ厚生省ノ所管ニ移シテ、サウシテ賣淫ヲ常業トスル者ハ總テ之ヲ登録シテ、一つノ制度ノ下ニ、検査ナリ、賣淫ヲヤルコトヲハッキリ認メテ置イテ、サウシテソレヲ私娼ト云フ名デ放任シテ置クト云フコトハ、ドウモ私ハ一貫シナイト考ヘルノデアリマス、詰リ賣笑制度ト云フモノハ、登録シテサウシテ花柳病豫防、治療ノ主力ヲコ、ニ集中シテ行クコトガ一番必要デヤナイカ、サウシテ國民ニ向ッテ花柳病ノ危險ナルコトヲ宣傳シテ教育シテ行ク、雙方相俟ッテ初メテ花柳病豫防ノ目的ヲ省ニ於テ、サウ云フ方針ニ行クノデアルカドウカ、ソレヲ一つ伺ヒタイ

○工藤政府委員 公娼、私娼制度ノ長短ト云フモノハ、衆議院ニ於テモ請願其他デ屢々問題ニナッテ居リマスルカラ、相當是ハ徹

底シタ政策ヲ立ツル必要ガアルカモ知レマセヌ、取締ノ方法ナドノ如キニ至リマシテハ、自ラ此大本ガ定マッタ後ニ、各種ノ取締方法ガアルダラウト思ヒマス、丁度社會事業法案ノ審議デアリマスカラ、餘リサウ云フ點マデ私ガ御答ヲスルコトハ、此審議ニ對シテ多少御迷惑ニナルト思ヒマスカラシテ、此問題ハ他日適當ナル機會ニ於テ、政府ノ方針ノアル所ヲ御答申上ゲヨウト存ジマス。○土屋委員 今工藤政府委員カラ、社會事業法ノ審議デアルカラト仰シヤルガ、此社會事業法ノ重大ナ目的ノ一つハ救療ナンデアル、ソコデ花柳病ヲ本當ニ豫防シヨウ、撲滅シヨウトスルナラバ、既ニ先進各國ガヤッテ居ルヤウニ、無料デ治療シテヤルヤウニシナケレバナラナイ、此爲ニ他ノ國デハ

○服部委員長 丁度正午前デアリマスカラ、休憩ヲ致シマシテ、午後ハ一時半カラ開會スルコトニ致シマス
午前十一時五十一分休憩
午後一時四十八分開議

○服部委員長 ソレデハ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス——佐保君

○佐保委員 私ハ條ヲ逐ウテ簡単ニ質問致シタイ、第一條ノ第二項竝ニ第四項デアリマスガ、私ハ託兒所ト云フモノヲ各方面デヤッテ居ル狀態ヲ能ク知リマセヌノデ、多クシタイ、第一條ノ第二項竝ニ第四項デアリマシテ託兒所ヲ經營シマスモノハ、非常ナルキナ數ニ相成ッテ居ルノデゴザイマス、其經營ノ方法トシマシテハ、其大部分ガ極メテ短期間デゴザイマシテ、農繁期或ハ一週間デアリマストカ、長クテモ一箇月ト云フ

ノ國デハ花柳病ヲ、決シテ本人ノ不品行ニ依ル忌ハシイ三等症デアルカラト云フノデ、抛ッテ置クト云フコトハシナイ、進ンデ救療ヲヤッテ居ル所ガ多イノデアリマスカラ、其ソレカラ第四項ノ授產場デアリマスガ、授產場ト云フ一ツノ社會施設ノヤウナ名義ヲ藉ッテ居ル、如何ハシイ授產場モアルヤウデアリマス、私共聞ク所ニ依リマスト、例ヘバ海軍ニ於テ、海軍關係ノ下士卒ノ妻トカ女中ノヤウナモノニ限ッテ產ヲ與ヘル、隨テ物品其他ハ總テ海軍ヨリ供給シテ、其工賃ニ依ツテ相當ノ收入ヲ舉ゲツ、アルノデアリマス、サウシテ其主任ノ者ハヤハリ海軍關係ノ人ガ任命セラレテ、全ク建物モ海軍ノ建物デアルシスルノデアリマスガ、斯様ナ授產場ニ對シテノ當局ノ助成ハドウ云フヤウニナサルカ、御尋シタイト思フノデアリマス

○山崎政府委員 第一ノ御尋ノ農村ノ農繁期ニ於キマスル託兒所ノ問題デアリマスルガ、現在農繁期ニ於キマシテ、全國ヲ通ジマシテ託兒所ヲ經營シマスモノハ、非常ナルキナ數ニ相成ッテ居ルノデゴザイマス、其經營ノ方法トシマシテハ、其大部分ガ極メテ短期間デゴザイマシテ、農繁期或ハ一週間デアリマストカ、長クテモ一箇月ト云フヤウナ、短期間ノモノガ多イノデゴザイマ

ス、其經營ノ主體ト致シマシテハ、或ハ產業組合、或ハ農家組合、其他共濟的ノ範圍ヲ限ラレタ施設ガ多イノデゴザイマス、斯ウ云フ意味カラ致シマシテ、本法ノ適用ヲ受ケマスルコトハ、却テ手續其他ニ於キマシテ、相當煩瑣ナ點モゴザイマスルノデ、勅令ノ規定ニ依リマシテ、是等ノ臨時的ノ施設ハ本法ヨリ除外スル考デアルノデアリマス、隨ヒマシテ只今御尋ノヤウナ本法ニ依ル助成ハ、斯ノ如キ施設ニハ參ラナイノデゴザイマスルガ、他ノ或ハ町村ノ費用デアリマスルトカ、或ハ府縣ノ費用デゴザイマスルトカ、ソレ等ノ方法ニ依リマシテ、農家ニ非常ニ必要ナ是等ノ施設ニ付キマシテハ、將來其發達ヲ圖ッテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、第二ノ御尋ノ授產場ノ問題デゴザイマスガ、御尋ノ通リニ、或ハ佐世保デゴザイマストカ、或ハ横須賀デゴザイマストカ、海軍關係ノ工廠ノ所在地ニ於キマシテハ、下士官以下ノ人々ノ家族ノ授產場ガ相當ゴザイマスノデアリマス、是等ハ本法ニ依リマスル施設ト申シマスルヨリモ、寧ロ軍事援護事業ノ一部ト考ヘルコトガ出來ルヤウニ思ヒマスルシ、本法ノ適用

ヲ受ケズシテ、寧ロ軍事援護事業トシテ其
發達ヲ圖リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、
併シ軍事援護事業的ノ色彩ノ強イ施設ニ付
キマシテハ、勅令ヲ以テ除外スル豫定ニ考
ヘテ居ルノデゴザイマス

○佐保委員 只今ノ御説明デ分リマシタガ、ソレデハ第四條ニ付テ御尋シタイト思ヒマス、第四條ハ「地方長官ハ社會事業ノ施設ニ收容セラレタル者ノ處遇上必要アリト認ムルトキハ社會事業ヲ經營スル者ニ對シ其ノ施設ニ屬スル建物又ハ設備ノ改良ヲ命ズルコトヲ得」トアリマス、其次ノ項ニ於テ「當該建物又ハ設備ノ使用ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得」トアリマスガ、建物又ハ設備ノ改良ヲ命ズル以上ハ、相當ニ補助ナル御積リデアリマスカ、若シ改良ヲ命ゼラレタ其人ガ、改良ヲシナカッタ場合ニ於テ、建物又ハ設備ノ使用ヲ禁止ヲシタリ、或ハ制限スルト云フヤウナコトニナレバ、其人自體ハ兎ニ角トシテ——一例ヲ申スト、養老院ノ如キ多數ノ不遇ノ人々ガ收容セラレテ居リマスガ、其收容セラレタ人ハ洵ニ氣ノ毒ナコトニナリハシナイカ、斯ウ思フノデアリマスルガ、斯ウ云フ場合ニ於ケル當局ノ補助ノ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス

スガ、是ハ社會事業施設ニ收容セラレタ
者ノ處遇上必要アル場合ニ限テ、此規定ガ
適用ヲ受ケルノデアリマス、即チ被收容者
ノ衛生上、保安上、其他處遇上必要アル場
合ニ、其設備ニ屬シマスル建物、又ハ設備
ノ改良ヲ命ズルト云フノガ、此規定ノ趣旨
デゴザイマス、隨ヒマシテ此規定ノ當然ノ
結果トシテ、改良ヲ命ジタ場合ニ、國家カ
ラ必ズ助成スルト云フコトニハ、立前ハ相
成ツテ居ナインデゴザイマス、唯併ナガラ其
施設ガ非常ニ財政的ニ貧弱ナモノデアッテ、
到底ソレニ應ジ兼不ルト云フヤウナモノデ、
而モドウシテモ改良ヲ命ジ、且ツ其事業ヲ
繼續スルコトガ必要デアルト云フ場合ニハ、
適當ニ此施設ガ立ツテ參リマスヤウニ考慮
ヲ拂ヒタイト考ヘテ居リマス

毒ナ状態デアリマス、サウ云フモノニ斯様ナ命令ヲサレテ、使用ヲ禁止シタリ、又ハ制限シタリスルト云フヤウナコトハ、洵ニ氣ノ毒ナコトニナリハシナイカト思ヒマスカラ、此點ニ付テハ十分ノ御研究ヲ願ヒタイ、次ニ第五條デアリマスガ、「社會事業ヲ經營シ又ハ經營セントスル者其ノ事業ノ經營ニ必要ナル資金ヲ得ル爲寄附金ヲ募集セントスルトキハ事業經營地ノ地方長官ノ許可ヲ受クベシ」ト斯ウアリマスガ、其事業ノ經營ニ必要ノ程度ト云フノハ、是ハドノ位ノモノヲ必要トセラレルノデアリマスカ、地方長官ノ許可ヲ得テヤル場合ノ寄附行爲ト云フモノハ、地方ノ者ニ取ッテハ洵ニ迷惑デアル、成ベクスウ云フ寄附行爲ハ止メサシテ戴キタイ、東京ノ如キ大キナ所ハ、吾々ガ居ツテモ何一ツ金ヲ出スコトモナイガ、地方ニ居レバ殆ド寄附ノ強要——デハアリマセヌガ、強要ニ近イ、若シ寄附ヲシナイ場合ニハ、直チニ或ルモノニ影響ヲ及ボス、隨テ此寄附行爲ニ對シテハ、地方長官ト云フモノハ慎重ナル態度ヲ執シテ戴カナケレバ、是ハ社會事業、又ハ救貧事業ト云フ名義ヲ振廻シテ、強要ラシイ態度ヲ執ラレルコトハ非常ニ困ル、必要ナル資金ヲ得ルト云フノハ、其設備ノ如何デ行クモノデアル

カ、何ヲ根據トシテ資金ノ程度ヲ御決メニナルカ、其邊ヲ一つ詳シク御説明ヲ煩ハシタイ

○山崎政府委員 今回社會事業法ノ中ニ、

寄附金募集ニ關スル第五條ノ規定ヲ置キマシタ理由ニ付キマシテハ、先程モ提案ノ御説明ニゴザイマシタヤウニ、從來ノ社會事業ノ寄附金募集ニ付キマシテモ、御承知ノ通リ一般ノ寄附金ト同様ニ、府縣廳ノ廳令

ニ其取締ヲ委ネテ居ツタノデアリマス、併ナガラ今回綜合的ノ社會事業法ト云フモノガ制定サレル機會ニ、社會事業ニ關スル寄附金ノミハ、特別ニ此法案ノ中ニ規定ヲ設ケルコトニ致シタノデアリマス、其趣旨ト致シマシテハ申ス迄モナク寄附金ニ關シマスル各種ノ幣害ヲ除去スルト云フコトハ、勿論デアリマスガ、ソレト同時ニ社會事業ノ信用ヲ高メルト云フ點ガ、此立法ノ趣旨ニ相成ツテ居ルノデアリマス、只今御示シガゴザイマシタヤウニ、從來寄附金ノ募集ニ付キマシテハ、相當弊害ヲ伴ツタ事實モアルヤニ伺ツテ居リマスノデ、是等ノ點ニ付キマシテハ、本法施行後ニ於キマシテ一層注意ヲ加ヘテ行キタイト思ヒマス、寄附金募集ノ許可ノ標準デゴザイマスガ、ソレハ個々具體的ノ場合ニ地方長官ガ適當ニ判断ヲ致

シマシテ、或ハ施設擴張ノ爲メノ寄附金募集デゴザイマスレバ、其内容ヲ能ク審査致シマシテ、適當ノ許可ヲ與フルコトニ相成ルト思ヒマス、又事業ノ經營費ニ關スル寄附金ノ募集デゴザイマスレバ、事業ニ關シマスル各般ノ調査ヲ致シマシテ、規模其他ノ事情ヲ十分ニ參酌ヲ致シマシテ、適當ノ許可ヲ與ヘラレル、斯ウ云フコトニナルト考ヘルノデアリマス

○佐保委員 此寄附募集ニ對スル一つノ宜イ方法ガアリマスカラ、御参考ニ申上ゲテ置キタイ、山崎局長ハ御承知デアリマセウガ、名ヲ指シテハ宜クナイカモ知レナイケレドモ、或ル養老院デ公然ヤツタノデアリマス、其養老院ハ六七名ノ人ヲ收容シ、死亡ヲ仰イデ、今日デハ全國デモ優秀ナル經營者トシテ、今日ハ託兒所、幼稚園ヲ持チ、收容人員モ二十數名ニ達シテ居ルノデアリマス、併シ大體多クノ人ハ此寄附金ニハ困リ切ツテ居ル、或ル場合ニハ此寄附ニ付テハルト云フ風デ、狂人トマデ言ハレル位ニ熱心ニヤツテ、大ナル成功ヲ得タノデアリマス、私モ寄附ヲシテ援助致シタ關係モアリマスガ、此經營者ニハ洵ニ私ハ感心致シテ居ルソコデ此寄附募集ノ方法ヲ一般ニ知ラスコトハ、或ハ弊害ガ起ルカモ知レナイケレドリ、警察署カラ言ハレテ見ルト、或ル業者ノ如キハ洵ニ困リ切ツテ居ル、斯様ナ次第デアルカラ此寄附金ニ付テハ、特ニ當局ノ御モ、是モ決シテ惡イコトデハナイト思ヒマスカラ、御参考ニ申上ゲテ置キマス、ソレハ建築ガ是デハイカヌカラト云フノデ、一

般ノ寄附ヲ仰イダガ、思フヤウニ集ラナイ、ソレデ二三年前ニ全國ノ各名士、例ヘバ陸軍大將、中將、大臣等ヘ養老院名儀デ數百通ノ手紙ヲ出シテ、爲書キヲシナイデ唯書ヲ書イテ吳レト云フ依頼ヲシタノデアリマス、所ガ養老院カラノ手紙デアツタカラ、同情ガ集ツテ、多數ノ書ガ寄ツタノデ、之ヲ或ル「デパート」ノ三階販賣致シタ所ガ、數十圓ノ金ヲ得タ爲ニ、非常ニ經營費ニ資シタノデアル、一々コンナコトヲヤラレテハ困ルカモ知レマセヌガ、兎ニ角宜イ寄附ノ方ガ、名ヲ指シテハ宜クナイカモ知レナイケレドモ、或ル養老院デ公然ヤツタノデアリマス、其養老院ハ六七名ノ人ヲ收容シ、死亡ヲ仰イデ、今日ハ託兒所、幼稚園ヲ持チ、收容人員モ二十數名ニ達シテ居ルノデアリマス、併シ大體多クノ人ハ此寄附金ニハ困リ切ツテ居ル、或ル場合ニハ此寄附ニ付テハルト云フ風デ、狂人トマデ言ハレル位ニ熱心ニヤツテ、大ナル成功ヲ得タノデアリマス、私モ寄附ヲシテ援助致シタ關係モアリマスガ、此經營者ニハ洵ニ私ハ感心致シテ居ルソコデ此寄附募集ノ方法ヲ一般ニ知ラスコトハ、或ハ弊害ガ起ルカモ知レナイケレドリ、警察署カラ言ハレテ見ルト、或ル業者ノ如キハ洵ニ困リ切ツテ居ル、斯様ナ次第デアルカラ此寄附金ニ付テハ、特ニ當局ノ御モ、是モ決シテ惡イコトデハナイト思ヒマスカラ、御参考ニ申上ゲテ置キマス、ソレハ建築ガ是デハイカヌカラト云フノデ、一

アリト認ムルトキ」トアリマスガ、之ヲ必ズト云フ風ニ變ヘル御意思ハナイカ、必要ガアル時ト云フダケデハナク、政府自體ガ補助助成スル以上ハ、之ヲ監督シ、嚴重ニ其事業ニ對スル報告ヲ爲サシメルノガ當然デハナイカ、ソレデ必ズ監督官廳ハ之ニ對シ十分監督シ、報告ヲ爲サシメルヤウナ方法ヲ執ル御意思ハナイカト云フコトヲ、御尋シテ見タイ

○山崎政府委員 第六條ニ關スル御尋デアリマスガ、政府カラ助成ヲ致シマスヤウナ場合ニハ、必ズ事業ニ關スル報告ヲ徵スルコトニ相成ルト存ジマス、唯此規定ハ御覽ノ通り、或ハ書類帳簿ノ提出ヲ命ジマシタリ、實地ニ就キ業務若クハ會計ノ狀況ヲ調查致シマシタリ、又ハ指導ノ方法トシテ事業ノ經營ニ關スル指示ヲ致シ得ル、規定ニナツテ居リマス、是等ノ後ノ事柄ニ付キマシテハ、其必要ノ場合ニ致セバ宜イノデアリマシテ、何時デモ斯ウ云フコトヲ命ズル必要モナカラウト考ヘルノデアリマス、隨テ法文ノ體裁ト致シマシテハ、「監督上必要アリト認ムルトキ」ト云フコトガ必要デアルト考ヘルノデアリマス

○佐保委員 私ハモウ一ツ御伺シタイ、第十一條ニ「豫算ノ範圍内ニ於テ補助スル」ト

アリマスガ、此範圍内ト云フコトノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、或ハ中等學校アタリノ補助額ガ有資格者ノ數、或ハ成績、校舎ノ設備其他ニ依ッテ決マルヤウニ、是モ成績如何ニ御依リニナルノデアルカドウカ、兎ニ角豫算ノ範圍内ト云フモノヲ御説明願ツテ、其豫算ノ範圍内ノ幾割位ヲ補助ナサル御積リデアルカ、此點ヲ御伺シタイ

○山崎政府委員 社會事業ニ關スル補助助成ノ方法デゴザイマスガ、差當リノ問題トシテハ、私設社會事業ニ對シマシテ補助致ス考デゴザイマス、併ナガラ將來必要ノ生ジマス場合ニハ、更ニ擴大致シマシテ、公營ニモ及ブ場合モアルカト考ヘルノデアリマス、差當リ私設社會事業ヲ助成致シマス付テハ、御手許ニ差上ゲテアル資料ニ依ッテ御覽ノ通リニ、現在私設社會事業ハ全國ヲ通ジテ三千數百ニ上ツテ居ルノデアリマス、是等ノ中デ相當成績優良デアリ、且ツ國ノ成助ヲ必要トスルモノヲ選ビマシテ、其團體ニ對シテ國ノ助成ヲ致ス考デ居ルノデアリマス、大體豫算ハ先程御説明ガゴザイマシタヤウニ、來年度補助費ハ五十万圓デゴザイマスガ、其五十万圓ヲ以テ私設社會事業千團體ニ對シ、補助致シタイト考ヘルノデアリマス、豫算積算ノ基礎ハ、一團

體當リ五百圓程度デゴザイマスルガ、其支出ノ實際ニ當リマシテハ、事業ノ成績デアリマストカ、其他ノ事業ノ内容ヲ能ク調査致シマシテ、適當ノ金額ヲ決定ヲ致スコトニナルノデゴザイマス

○佐保委員 私ハ又他ノ機會ニ質問スルコトニ致シマシテ、此程度デ打切りマス

○服部委員長 次ハ伊藤東一郎君

○伊藤委員 去ル本會議ノ時ニ、名實相伴ハナイデハナイカト云フ私ノ質問ニ對シマシテ、厚生大臣ノ御答辯ハ「本法案ハ現下ノ實情ニ鑑ミマシテ、從來特別ノ立法ニ依ッテ規律セラレテ居リマスル各種社會事業ハ之ヲ除キマシテ、ソレ等ノ規定セラレテ居リマセヌ各種ノ社會事業一般ニ通ズル、指導監督竝ニ助成ノ方途ヲ定ムル趣旨ニ出タモノニ付キマシテハ、或ハ設立者ノ資格ヲ限ス、本來申シタナラバ、斯ウ云フヤウナモノニ付キマシテハ、或ハ設備ヲ斯ウスル、養育院ハ定シタリ、或ハ設備ヲ斯ウスル、養育院ハスウ云フ工合ニ、託兒所ハ斯ウ云フ工合ニ、授產場ハ斯ウ云フ工合ニスルト云フ細かい規定ヲスレバ、結構デアリマスケレドモ、今日ノ社會ノ實情ハ、政府ノ考デ總テ故ニ、其名稱ト致シマシテハ社會事業法トガ盡セルト云フコトハ申上ゲ兼ネルノデアリマシテ、斯ウ云フ社會事業ハ社會ニ長イ期間發生シテ來タモノヲ、法律ガ之ヲ指導シテ社會事業本來ノ使命ヲ助成シテ行ク、所

○工藤政府委員 伊藤君ノ御説ハ、本會議ニ於テモ拜聽致シマシタガ、ソレハ大臣力ニ對シテ御答申上ゲタ通リデアリマス、實ハ法律ノ内容ヲ最モ的確ニ僅ノ文字表ハスト云フコトハ、餘程困難ナ場合ガゴザイマシテ、隨テ稍近イモノヲ表ハス云フコトガ、從來ノ例ニナッテ居ルノデス、本來申シタナラバ、斯ウ云フヤウナモノニ付キマシテハ、或ハ設立者ノ資格ヲ限ス、本來申シタナラバ、斯ウ云フヤウナモノニ付キマシテハ、或ハ設備ヲ斯ウスル、養育院ハ定シタリ、或ハ設備ヲ斯ウスル、養育院ハスウ云フ工合ニ、託兒所ハ斯ウ云フ工合ニ、授產場ハ斯ウ云フ工合ニスルト云フ細かい規定ヲスレバ、結構デアリマスケレドモ、今日ノ社會ノ實情ハ、政府ノ考デ總テ故ニ、其名稱ト致シマシテハ社會事業法トガ盡セルト云フコトハ申上ゲ兼ネルノデアリマシテ、斯ウ云フ社會事業ハ社會ニ長イ期間發生シテ來タモノヲ、法律ガ之ヲ指導シテ社會事業本來ノ使命ヲ助成シテ行ク、所

ノ要件ハ、此程度ニ止メマシテ、此法律ノ實際ノ運用上ノ範圍ハ、勅令ヲ以テ大體此法律ノ立案ノ趣旨ニ副フヤウナ規定ヲ、設ケル積リデアリマス、併シ法律モ餘リ窮屈ニ致シマスト、法律ハ御承知ノ通り手續ガムヅカシイモノデアリマスカラ、アトハ此法律ノ範圍内ニ於テ、御趣旨ニ適フヤウニ勅令或ハ其他ノ命令ヲ以テ、此法律ノ目的ヲ貫徹シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○伊藤委員 ヤハリ是モ本會議ニ於ケル御答デアリマスガ「來年度豫算ニ計上シテ居リマス補助金額ハ五十万圓デアリマシテ、從來ノ獎勵金額ニ比シマスレバ、相當ノ増額ヲシテ居ルノデアリマス、併ナガラ必シモ是デ十分ナリトハ言ヒ難イノデアリマスルガ、今日ノ財政狀態其他ヲ考慮致シマシテ、此程度ニ政府ハ決メタノデアリマス、今後ハ必要ニ應ジマシテ、財政ノ都合等モ考慮シテ、十分ニ増額ヲスルコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、政府ノ御趣旨ハ能ク諒承致シマシタガ、國庫補助ノ五十万圓ハ一體何ヲ根據トシテ、御組ミニナツタモノデアリマスカ、更ニ御伺致シマス

○工藤政府委員 御答致シマスガ、餘り之ニ相違ガナイト云フヤウナ的確ナル事實モ申上ゲタイ點モアリマシタガ、其御言葉ニ

發見致シ兼ネマスケレドモ、大體千團體ニ對シテ指導監督シテ行ク上ニ於テ、一ツ當リ先刻局長カラ申上ゲタ程度ニ於テヤッタラバドウカト思フ、御話ノ如ク實際國家デ會事業ニ、今日ノ國庫ノ豫算ノ上カラ五十万圓ナント云フコトハ、實ハ恥カシイ話デアリマスケレドモ、先刻申上ゲタヤウニ、社會事業ハ全部國家ノ力デ爲スコトヲ原則ニスレバ、サウデアリマスケレドモ、マア出來得ルナレバ古來ノ美風デアル所ノ百万長者ハソレドモ、斯ウ云フ事業ニ寄附スルト云フ途ヲモ開イテ置クコトハ、其人自身ノ誇デモアリ、又必要デアリマスカラ、國家ガ之ヲ指導助成スルト云フ程度ガ、至當デマルベキモノデアリマスノデ、其點モ考ヘリマスルガ、本案ヲ通觀致シマシテ、政府ノ御意圖ハ、本法案ニ依リマシテ社會事業ヲ統制指導シ、其徹底ヲ期スルニハ、之ヲ認可制度トスレバ往々ニシテ自由活潑ナル活動ガ萎縮スル場合モアルカラトノ御懸念デ、テ御協贊ヲ仰グコトハアルデアラウト思テ、御方針デアルト拜察ヲ致シマスガ、左様ニ心得テ宜シウゴザヒマス、只今ハ已ムヲ得ズ此程度ニ止メテ置クノデアリマス

○伊藤委員 只今政務次官ガ、實ハ國家トフ場合ニ於テハ、何レ大藏當局トモ相談シテ、御協贊ヲ仰グコトハアルデアラウト思テ、御方針デアルト拜察ヲ致シマスガ、左様ニ心得テ宜シウゴザヒマス、只今ハ已ムヲ得ズ此程度ニ止メテ置クノデアリマス

○工藤政府委員 大臣ノ御答申上ゲタ御言葉ノ中ニアリマスコトハ、無論私共モ左様マス

御遠慮ヲ申上ゲマシテ、尙ホ將來本事業ノ爲ニ、實ハ五百万圓位ハ御提出ヲ願ヒタイト思ヒマシタガ、只今ノ御言葉ニ信賴致シマシテ、此點ニ付テノ質問ハ、ヤメテ置キマス、其次ハドウモ洵ニ諄イヤウデアリマスガ、何故認可制度ニシナカツタカト云フ質問ニ付キマシテ「一面斯ウ云フ認可ト云フアリマスケレドモ、ソレハ調査出來マセウヤウナ制度ヲ採リマスト、往々ニシテ社會事業ノ自由活潑ナ活動ガ萎縮スル場合モアリマスルシ、元來社會事業ハ有力ナル熱心ヤウナ制度ヲ採リマスト、往々ニシテ社會事業ノ獨創的ノ考ヲ本ニ致シマシテ發達シテリマスルシ、又必要デアリマスノデ、其點モ考ヘガ——監督指導シテ行クコトガ今日ノ場合、又社會事業ノ性質上、殊ニ將來ニ更ニ一層サウ云フ方面ノ人ニ、御助力ヲ願ハネバナラヌト云フ意味合ニ於キマシテモ、届出程度ニ依ツテ、而シテ設立ヲ促シテ、サウシテ之ヲ指導監督シテ行ツタ方ガ宜イノデヤナイカ、ト云フノハ、ヤハリ社會事業ノ本質ノ上ニ、餘リ官廳本位ノ干渉ガマシイコトヲシナイ方ガ、宜イノデヤナイカト云フヤウニ、私ハ政務次官トシテサウ云フ心持ヲ持テ居リマス、偶然ニモ届出主義ト云フモノト思ッテ居リマス、大臣ノ御意見ノアル所ヲ體シテ、私ハ之ヲ支持シタイト考ヘテ居リマス

○伊藤委員 政務次官ノ御說能ク拜承ヲ致シマシタ、成程十九世紀當初ノ慈善事業、

社會事業デハ次官ノ御答辯ノ通り御尤ト存ジマスルガ、今日ノ社會事業ハ個人的ノ慈善同情ノミニ依ッテ、決シテ發達スペキモノデハアリマセヌ、ソコニ近代的社會事業ガ起ツテ來タノデアリマシテ、殊ニ此非常時局ニ當リマシテハ、一層國家的統制が必要トセラレルノデアッテ、本法ノ立案セラレタノモ、要ハ茲ニアルト存ズルノデアリマスルガ、更ニ政府委員ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○工藤政府委員 近代ノ趨勢ハ無論其通りアッテ、伊藤君ハ斯ウ云フ問題ハ多年非常ニ御研究ニナツテ居ルノデ、私共モ斯様ナル有力者ガ本院ニ居ツテ其聲ヲ揚ゲテ吳レルト云フコトハ、深ク感謝シテ居リマス、ソレデアリマスカラ、現代ノ趨勢ニモ鑑ミマシテ、他ノ特殊ナル社會事業ハ、或ハ國營事業トシテ見ルトカ、或ハ國費ヲ大部分負擔シテ其助長ヲ圖ルヤウナ、所謂半國家的施設モ、國家的施設モ、他ノ一面ニ於テ相當持ツテ居ルノデアリマス、併シ物ニ依ッテハサウ云フコトニバカリシテ行ケナイモノデアッテ、先づ一般ノ社會事業ニ對スル規範ヲ示スト云フコトデアレバ、斯ウ云フヤウナ社会事業法デハ、サウ云フ特殊ナ國家ノ力ニ依ツテヤルト云フモノ以外ノ社會事業ニ付テハ、此法律ニ依ツテヤッテ行キタイ、斯

ウ云フコトデアッテ、御説ノ如ク近代ノ趨勢、國家ニ依ツテ斯ウ云フ事業ヲ統制スルトニ當リマセヌ、ソコニ近代的社會事業ガ起ツテ來タノデアリマシテ、殊ニ此非常時局ニ當リマシテハ、一層國家的統制が必要トセラレルノデアッテ、本法ノ立案セラレタノモ、要ハ茲ニアルト存ズルノデアリマスルガ、更ニ政府委員ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○工藤政府委員 近代ノ趨勢ハ無論其通りアッテ、伊藤君ハ斯ウ云フ問題ハ多年非常ニ御研究ニナツテ居ルノデ、私共モ斯様ナル有力者ガ本院ニ居ツテ其聲ヲ揚ゲテ吳レルト云フコトハ、深ク感謝シテ居リマス、ソレデアリマスカラ、現代ノ趨勢ニモ鑑ミマシテ、他ノ特殊ナル社會事業ハ、或ハ國營事業トシテ見ルトカ、或ハ國費ヲ大部分負擔シテ其助長ヲ圖ルヤウナ、所謂半國家的施設モ、國家的施設モ、他ノ一面ニ於テ相當持ツテ居ルノデアリマス、併シ物ニ依ッテハサウ云フコトニバカリシテ行ケナイモノデアッテ、先づ一般ノ社會事業ニ對スル規範ヲ示スト云フコトデアレバ、斯ウ云フヤウナ社会事業法デハ、サウ云フ特殊ナ國家ノ力ニ依ツテヤルト云フモノ以外ノ社會事業ニ付テハ、此法律ニ依ツテヤッテ行キタイ、斯

ウ云フコトデアッテ、御説ノ如ク近代ノ趨勢、國家ニ依ツテスルコトニ依ツテ社會事業其モノ云フコトニ付テノ趨勢ハ、政府モ認メルノデゴザイマス、隨テ或ル事業ニ依ツテハ、此中ニ規定サレタモノデモ、將來ニ於テハサウ云フ工合ニ統制ヲ加ヘテ行ク必要モ、生ズルカモ知レマセヌケレドモ、只今ノ所デハ此程度デ、進ンデ行キタイト云フ考デアリマス

○清水委員 一寸關聯セル問題デ、一言御伺シタイト思ヒマス、此社會事業ノ根本ハ、現在アリマスル社會事業ヲ助成スルト云フコトガ、眼目デアリマスルカ、或ハ政府自ラ特殊ノ社會事業ヲ起ス、ドウモ今マデノヤウニ社會事業家ニ任シテ置クト云フコトハ、結局富豪ニ對シテ頭ヲ下ゲル所以ニナル、少クトモ廉恥心ノアルモノハ、現在ノヤウナ社會事業ノ恩恵ヲ受クルコトヲ希望シテ、他ノ特殊ナル社會事業ハ、或ハ國營事業トシテ見ルトカ、或ハ國費ヲ大部分負擔シテ其助長ヲ圖ルヤウナ、所謂半國家的施設モ、國家的施設モ、他ノ一面ニ於テ相當持ツテ居ルノデアリマス、併シ物ニ依ッテハサウ云フコトニバカリシテ行ケナイモノデアッテ、先づ一般ノ社會事業ニ對スル規範ヲ示スト云フコトデアレバ、斯ウ云フヤウナ社会事業法デハ、サウ云フ特殊ナ國家ノ力ニ依ツテヤルト云フモノ以外ノ社會事業ニ付テハ、此法律ニ依ツテヤッテ行キタイ、斯

モノヲ統制シタイノデス、ナゼトナレバ、モ、法律ノ題目ハ適當ヂヤナイト云フヤウナ御説モアリマシタガ、或ハサウ云フ點モ意味ニ於テ、統制ガシタイノデス、併シ御話ノヤウナ理由デ、國家ノ恩恵ニハ浴スルガ、他ノ富豪ノ恩恵ニハ浴シタクナイト云フ方ガアルカモ知レマセヌケレドモ、此法シ、更ニ進ンデ今後起ルベキ社會事業モ、リマス

○清水委員 一寸關聯セル問題デ、一言御伺シタイト思ヒマス、此社會事業ノ根本ハ、現在アリマスル社會事業ヲ助成スルト云フコトガ、眼目デアリマスルカ、或ハ政府自ラ特殊ノ社會事業ヲ起ス、ドウモ今マデノヤウニ社會事業家ニ任シテ置クト云フコトハ、結局富豪ニ對シテ頭ヲ下ゲル所以ニナル、少クトモ廉恥心ノアルモノハ、現在ノヤウナ社會事業ノ恩恵ヲ受クルコトヲ希望シテ、他ノ特殊ナル社會事業ハ、或ハ國營事業トシテ見ルトカ、或ハ國費ヲ大部分負擔シテ其助長ヲ圖ルヤウナ、所謂半國家的施設モ、國家的施設モ、他ノ一面ニ於テ相當持ツテ居ルノデアリマス、併シ物ニ依ッテハサウ云フコトニバカリシテ行ケナイモノデアッテ、先づ一般ノ社會事業ニ對スル規範ヲ示スト云フコトデアレバ、斯ウ云フヤウナ社会事業法デハ、サウ云フ特殊ナ國家ノ力ニ依ツテヤルト云フモノ以外ノ社會事業ニ付テハ、此法律ニ依ツテヤッテ行キタイ、斯

モノヲ統制シタイノデス、ナゼトナレバ、モ、法律ノ題目ハ適當ヂヤナイト云フヤウナ御説モアリマシタガ、或ハサウ云フ點モ意味ニ於テ、統制ガシタイノデス、併シ御話ノヤウナ理由デ、國家ノ恩恵ニハ浴スルガ、他ノ富豪ノ恩恵ニハ浴シタクナイト云フ方ガアルカモ知レマセヌケレドモ、此法シ、更ニ進ンデ今後起ルベキ社會事業モ、リマス

○工藤政府委員 其點ハ先刻伊藤委員カラスルノ統制シタイノデス、ナゼトナレバ、モ、法律ノ題目ハ適當ヂヤナイト云フヤウナ御説モアリマシタガ、或ハサウ云フ點モアルカモ知レマセヌ、何シロ過度ノ時代デスル爲ノ法律ハ今日マデ出來テ居ラナカッタ、之ニ對シテ現存シテ居ルモノヲ統制シ、将来ニ於テモ之ヲ統制シテ行ク、併シ唯單ニ統制ダケデハイケナイ、見込ノアルモノニハ一定ノ國家ノ力ヲ貸シテ助成シテ行ク、此法律ノ定ムル所ニ依ツテ統制ノ中ニ入レテ、サウシテ出來ルダケ之ヲ助成シテ行キタイ、併シ國家デドウシテモシナケレバナラヌモノハ、先刻申上ゲマシタ通り、他ノ軍事援護ニ屬スルモノ、或ハ司法保護事業、其他舉ガ來レバ澤山アリマスガ、先づサウル、少クトモ廉恥心ノアルモノハ、現在ノヤウナ社會事業ノ恩恵ヲ受クルコトヲ希望シテ、他ノ特殊ナル社會事業ハ、或ハ國營事業トシテ見ルトカ、或ハ國費ヲ大部分負擔シテ其助長ヲ圖ルヤウナ、所謂半國家的施設モ、國家的施設モ、他ノ一面ニ於テ相當持ツテ居ルノデアリマス、併シ物ニ依ッテハサウ云フコトニバカリシテ行ケナイモノデアッテ、先づ一般ノ社會事業ニ對スル規範ヲ示スト云フコトデアレバ、斯ウ云フヤウナ社会事業法デハ、サウ云フ特殊ナ國家ノ力ニ依ツテヤルト云フモノ以外ノ社會事業ニ付テハ、此法律ニ依ツテヤッテ行キタイ、斯

○工藤政府委員 其點ハ先刻伊藤委員カラスルノ統制シタイノデス、ナゼトナレバ、モ、法律ノ題目ハ適當ヂヤナイト云フヤウナ御説モアリマシタガ、或ハサウ云フ點モアルダラウト思フノデアリマス、此程度ニ依ツテ現代的社會事業ヲ健實ニ進展サセシテ御答申上ゲマシタ通り、此法案デ現在支配シテ居リマスモノノ中ニ於テモ、漸次ハ到底發達徹底ヲ期シ難イカラ、國家ノ力ニ依ツテ現代的社會事業ヲ健實ニ進展サセシテ御答申上ゲマシタ通り、此法案デ現在ニ至ツタモノト私ハ信ズル者デアリマス、若シ政務次官ノ御説ノヤウニ致シマスレバ、コンナ法律ハナイ方ガ宜イ、ソレヨリモ個人個人ノ獨創的ノ考デ、社會事業ヲ起ス儘ニ打遣ラカシテ置イタ方ガ宜シイ、敢テ此法律ヲ作ル必要ハナイト思ヒマスガ、是ハ

敢テ御答辯ヲ戴ク必要ハアリマセヌ、私ノ意見ダケラ申上ゲテ置ク次第デアリマス、次ニ例ノ地方社會事業委員會ヲ、各府縣ニ一律ニ設ケネバナラスト云フ御尋ヲ致シマシタ時ノ御答辯ニ、各府縣一律ニ之ヲ設置致スコトハ、政府トシテハ考ヘテ居ラヌ、本法ノ規定ノ運用ニ依ツテ、必要ニ應シテ成ベク府縣ニ本委員會ノ設置ヲ見ルヤウニ勸奨シテ行キタイト云フ御答辯デアリマシタ、此コトニ付キマシテハ前ニ山崎局長サンカラドナタニカ御答辯ガアリマシタカラ茲ニ其煩ヲ避ケマスガ、ヤハリ其地方ニ於キマスル委員會ヲ御設置ニナルコトハ、社會事業ヲ地方ニ於テ發展サセマス一番根幹トナルノデアラウト私ハ思フノデアリマス、トナルノデアラウト私ハ思フノデアリマス、成ベク此點ハ今一應御考慮ヲ願ツテ、地方社會事業委員會ヲ置クコトヲ立前トシテ御進ミ下サルヤウニ、一つノ希望ヲ申上ゲル次第デアリマス、更ニ御伺申上ゲタインノハ、中央ノ社會事業委員會デアリマス、此中ニハヤハリ社會事業家ノ一二ハ御加ヘニナル御豫定デアリマスルカ、其組織ニ付キマシテ御漏シヲ願ヘタラ、拜承ヲ致シタイト思ヒマス

○山崎政府委員 中央ノ社會事業委員會ノ組織ニ付キマシテハ、午前ノ御質問ニモ御

答申上ゲマンシタヤウニ、社會事業ニ關シマスル有力ナ權威者ノ方々ノ御參加ヲ願ヒタイト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ其中ニハ所謂社會事業家トシテ、多年斯業ニ御盡力ヲ願シテ居リマスル方々ノ中デ、適當ナ方ヲ得マスレバ、サウ云フ方モ是非御參加ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス

○伊藤委員 専門家ノ養成ト云フコトニ付テ御伺シマシタ御答辯ニ「専門家ノ養成ニ付キマシテハ、從來ヨリ直接又ハ間接ニ努力シテ來タノデアリマスルガ、是ガ爲ニ特別ノ養成機關ヲ設置スルヤ否ヤニ付テハ、將來十分考究シタイト考ヘテ居リマス」斯ウ言ツテ居ル、申上ゲル迄モナク今日ノヤウナ複雜ナル社會事情ニ在リマシテハ、社會事業ノ對象ヲ保護指導致シマスル爲ニハ、慈悲同情ダケデハ不十分デアリマシテ、必ズヤ専門的ノ知識、及び技術上ノ訓練が必要ト存ズルノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、是非養成機關ヲ設置スルト云フコトニ付キマシテ、十分ノ御考慮ヲ希望致ス者デゴザイマス、先進國ニ於キマシテモ、立派ハバ健全ニ發達セシメテ、サウシテ弊害ノアル社會事業ニ對シマシテハ、ソレ相當ナル處置モシ、立派ナモノニ對シテハ、益國家保護ノ力ヲ與ヘテ、サウシテ助成シタイト云フ、是ハ洵ニ簡單ナヤウデアリマスケレドモ、大體ニ於テハ、何トカシテ此社會事業ヲバ健全ニ發達セシメテ、サウシテ弊害ノシタモノガ、本案ノ適用ヲ受ケルノデゴザイマスルガ、現在社會事業ト稱スルモノノ中デモ是以外ニアル、其例ヲ舉ゲテ見マスト、文部省ノ少年保護事業、司法省ノ兒童審判所、遞信省ノ水上生活者宿泊所、斯ウ云フ施設ガアリマスガ、是等ハ此法律ノ適用ヲ受ケルモノデゴザイマスカ

○伊藤政府委員 先刻來伊藤委員ノ有益ナ御質問ニ對シマシテ、御答申シタ中ニモ舍マレテ居ルヤウニ信ジマスガ、根本ノ指導方針ト申シマスレバ、要スルニ社會事業ノ益、發展致シマシテ、而シテ更ニ健全ナル發達ヲ遂ゲルヤウナ工合ニ、指導シテ行キタイト云フノガ、此法律ノ目的デアリマス、カト云フコトニ付テハ、恐ラク巨細ニ瓦ツテ併シ具體的ニ、然ラバドウ云フ工合ニスルイト云フノガ、此法律ノ目的デアリマス、ハ政府ニ御確定ニナツテ居ル御方針ガアリシテ居ルカドウカ、之ヲ御伺致シタイ

○伊藤委員 本法案ノ第一條ニ掲ゲラレマシタモノガ、本案ノ適用ヲ受ケルノデゴザイマスルガ、現在社會事業ト稱スルモノノ中デモ是以外ニアル、其例ヲ舉ゲテ見マスト、文部省ノ少年保護事業、司法省ノ兒童審判所、遞信省ノ水上生活者宿泊所、斯ウ云フ施設ガアリマスガ、是等ハ此法律ノ適用ヲ受ケルモノデゴザイマスカ

○伊藤委員 有難ク拜承致シマシタ、尙ホ

所謂司法保護ノ關係カラ來テ居ルモノトカ、

スカ

或ハ文部省ノ兒童保護ノ關係カラ來テ居ルヤウナモノハ、此適用外デアリマス、併シ全體ノ社會事業ヲ作興スル爲ニハ、無論此關係省ト能ク相談ラシテ、サウシテ適切ナル施設ヲモ御相談ラシテ、假令此法律ノ適用ヲ受ケナイ、即チ所管ガ違ヒマシテモ、ソレ相當ナ共助ノ方法ヲ執リタイト考ヘマス

○伊藤委員 放任シテ置クナラバ其間ニ色々ノ不都合ガ生ジマスカラ、此點ニ付テモ十分ノ御注意ヲ御願致シマス、又本法案ノ第二條ニ依リマシテ届出制度トナッテ居リマスルガ、届出ナイモノハ、ヤハリ放ッタラカシテ置クノデゴザイマスカ

○工藤政府委員 届出ズシテ社會事業ヲ行ハントスル場合ニ於テハ、能ク其實際ニ付テ經營者、事業主ニ付キマシテ調ベテ、良イモノデアツタナラバ、出來ルダケ届出シメテ、此趣旨ノ徹底ヲ圖リタイト考ヘテ居リマス

○伊藤委員 斯ウ云フ場合ハドウナルノデス、一旦届出マシテ社會事業ヲ致シ、其後不都合ノ爲ニ事業ノ禁止ヲ受ケタ、然ルニ又假令國庫ノ補助ヤ助成ガナクテモ、任意ニ社會事業ヲヤツテ居ル、ソレハドウナリマ

○山崎政府委員 本法ニ依リマシテ禁止ヲ受ケマシタ場合ニハ、再ビ事業ヲ開始スルコトハ出來ナイコトニナツテ居リマス

ガ出來ナイグラウト思ヒマス、又アナタノ御話ノ軍人ニ對スルガ如ク、斯様ナ社會事業ニ對シテモ、國家國民ハ社會ノ一つノ病デアル所ノモノヲ除ク爲ニ奮起スルト云フ

コトハ、洵ニ結構デアリマスルカラ、陸海軍デヤツタヤウナコトヲ、其儘ヤルカドウカ

ハ是位ノコトデアリマスガ、私ノ前ニ御質問ニ相成リマシタ委員ノ御方カラ、社會事業ノ寄附金ニ付テ非常ニ有益ナ参考トナルベキ御話ヲ承リマシタ、私モ茲ニ一ツ政府

ニ民間資金ノ誘導方法ヲ提供致シタイト思ッテ居リマス、ソレハ陸軍ナドデハ恤兵部ヲ設ケマシテ献金ガアルト直グ「ラヂオ」デ以テ全日本ニ放送ラシテ居ラレル、此間本會

軍デヤツタヤウナコトヲ、其儘ヤルカドウカハ分リマセヌケレドモ、サウ云フ一般ノ社會事業ニ對シテ、十分ナル同情ト關心トヲ持タセル方法ハ、出來ルダケ採リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テサウ云フ人ヲシテ十分信賴セシメル爲ニ、此法律モ必要

議デ申上ゲマシタ如ク、低金利、物價高、其他軍關係以外ノ金附ハ止メラレテ居ルト云フヤウナコトデ、非常ニ事業ノ發展ニ對シテ障碍ヲ與ヘテ居リマスガ、將來ヤハリ社會事業ニ於テモ民間資金ノ誘導方法ヲ、

シテ適切ナル方法ヲ採リタイト考ヘテ居リマス

○伊藤委員 最後ニ御伺致スノデゴザイマスルガ、少年ノ救護事業ホド社會事業中苦心ノ存スル事業ハアリマセヌ、併シ其反面ニ一人ノ不良兒童ヲ救フ、コトニ依ツテ、國家將來ノ爲ニ貢獻ヲ致シマスル效果ト云フモノハ、非常ニ大ナルモノダト存ズルノデアガ集マルデアラウト思ヒマスガ、政府ノ之ニ對スル御所見ハ如何デアリマス

○工藤政府委員 先刻佐保委員カラ餘程有益ナ實際的ナ御話ヲ伺ヒマシテ、洵ニ私共ハ参考ニナツタト思ヒマスガ、アノ方法ガ宜イト云フコトヲ、事務當局ノ方カラハ御答

ガ出來ナイグラウト思ヒマス、又アナタノ御話ノ軍人ニ對スルガ如ク、斯様ナ社會事業ニ對シテモ、國家國民ハ社會ノ一つノ病デアリマス、更ニ宜シク院外ニ於テモ之ヲ補導シ、改善セシメルコトノ必要ナルコトヲ痛感致ス者デアリマス、然ルニ實情ヲ見マスルト、三十年ノ傳統ニ囚ハレマシテ、教護事業ハ依然振ハザルコトヲ甚ダ遺憾ト致シマス、殊ニ現下事變ノ影響ニ依リマシテ、要教護少年ガ發奮シテ正道ニ立歸ッタ

ス、是ハ歐洲戰役當時ノ各國ノ事例ニ鑑ミシテ、要教護少年ガ發奮シテ正道ニ立歸ッタス

ス、是ハ歐洲戰役當時ノ各國ノ事例ニ鑑ミシテモ、サウアルベキコトダト想像サレルノデアリマス、就キマシテハ此際少年教護院ヲ名實相伴フモノタラシムベク、院内教護ノ擴充ヲ圖ルト共ニ、院外ノ補導教化ノ如キニモ、一層本省ニ於キマシテ、力ヲ注イデ戴ク必要ガ必ズヤアルト信ジテ居ル者デアリマスガ、之ニ付キマシテノ政府ノ御所見ヲ承リタイト存ジマス

○工藤政府委員 少年ノ保護ハ國家社會ノ将来ニ取ツテ、極メテ大事ナコトデアツテ、百ノ善良ナル兒童ヲ造ルコトモ必要デアルガ、一人ノ不良兒童ヲ善導スルコトモ極メテ大切ナコトデアリマス、御話ノ如ク三十

年來此事業ガ行ハレテ居リマシテ、院内デノ教育補導看護等ハ相當行届イテ居リマスケレドモ、更ニ之ヲ院外ニ及ボシテ、獨リ院内ニ收容スルバカリデナク、收容セズニ濟ム方法モ考ヘネバナラヌ、又一度善道ニ立チ還ル傾向ガアリマシタナラバ、益々此傾向ヲ導イテ行クコトモ大切ナ仕事デアラウト考ヘマス、本省ニ於キマシテモ、左様ナ方面ニ對シテハ十分ナル關心ヲ以テ施設ヲ行ヒマシテ、從來ノ及バザル點ヲ補ウテ行キタイト考ヘテ居リマス、併シマダ是ハ相當ニ調査研究スル必要モアリマスシ、經費モ伴フコトデアリマスカラ、出來得ル限りサウ云フ方面ニ努力スルト云フコトダケヲ申上ゲマス

○伊藤委員 尚ホ關聯シテ御尋致シマスガ、大都市ニハソレ相當ノ立派ナ公園ガアル、殊ニ新聞ニ依リマスト、東京市ハ何億圓カヲ掛ケテ、今回又公園ヲ造ルト云コトデアリマス、外國デハ公園ニ少年ノ指導員ヲ置キマシテ、公園ニ集テ來ル兒童ノ看護指導ニ努メテ、大ニ成績ヲ擧ゲテ居ルト云フコトデアリマスガ、我國ニ於テモサウ云フ點ニ付テ考慮セラレテ居ルカドウカ、此點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○工藤政府委員 諸外國ニ於テ斯様ナ方面

ニ努力シテ居ル様ヲ見マスト、實ニ美マシイデス、仰セノ通り、外國ノ公園ニ對スル設備ハ相當行届イテ居ルコトヲ、私共モ目擊シテ居リマス、學校家庭以外ノ外ノ環境ヲ善クシテ、身心共ニ健全ナル少年ヲ造リタエ、厚生省ノ使命モ其處ニアルト考ヘマス、併シ公園ニ對スル施設ハ、多クハ地方廳ノ負擔ニナルモノデアリマスカラ、實ハ思フヤウニ參ラヌノデアリマス、ソレデ此頃漸ク日本モ部分的ニ社會事業法ヲ拵ヘネバナラヌト云フヤウナ趨勢デアリマシテ、何シロ先ダツモノハ金デアリマスカラ、理想ハアツテモ常ニ其點デ思フヤウニ參ラヌト云家將來ノコトヲ考ヘマスルト、御話ノヤウフノハ、洵ニ遺憾デアリマス、併シ洵ニ國家將來ノコトヲ考ヘマスルト、御話ノヤウニ少年ノ環境ヲ良クシテ、立派ナ第二ノ國民ヲ造リタイト云フコトニ付テハ、厚生省モ亦其點ニ有ユル關心ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、若シ公園等ノ設備ニ付テ必要ナルモノアリトスレバ、漸次計畫ヲ立テマシテ、何卒將來本事業ノ爲ニ一層ノ御奮勵ト御努力ヲ下サイマシテ、陛下ノ赤子ヲシテ一人タリトモ不幸ニ泣ク者ガナイヤウニ、ソレヲ理想トシテ御活動下サイマスヤウ、最後ニ御一言ヲ申上ゲマシテ私ノ質問ヲ終リマス

(委員長退席、野口委員長代理著席)

○庄司委員 厚生省ハ社會事業ノ全體ニ向テ、大體近年非常ニ進歩發達シテ參リマシタケレドモ、マダ不十分デアルト云フコトガ、内閣週報ノ中ニモゴザイマスガ、社會事業ノ中デドウ云フ事業ガ相當ニ發達、或ハ改善サレテ居ルカ、詰リ理想的ノ位置ニドウ云フ事業ガアルカ、或ハ救護、或ハ職業紹介、或ハ經濟的ノ保護事業デアルトカ、ドウ云フ事業ガ大體好成績ヲ擧ゲ、或ハドウ云フ事業ガ非常ニマダ成ツテ居ナイカ、サウ云フ事業ガ非常ニマダ成ツテ居ナイカ、サウ云フ御調查ガアリマシタナラバ、審議ヲ進メテ行ク參考ノ爲ニ御伺シタイト思ヒマス

○山崎政府委員 社會事業ニ付キマシテハ、御承知ノ通リニ、今日マデ法制ト致シマシテハ、事業ノ種類ニ依リマシテ、ソレベ

ヲ求ムルモノト考ヘネバナリマセヌ、此意味ニ於キマシテ、學生生徒ノ校外娛樂指導所、或ハ又商店工場ノ青少年ノ工場商店外ニ於ケル娛樂場ノ設備ヲ必要トスルト存ズルノデアリマスガ、此點ニ付キマシテハ、先程ノ政務次官ノ御答辯ニ依リマシテ諒承ヲ致シマシタカラ、伺フ必要ハアリマセヌガ、要スルニ厚生省ノ仕事ト云フモノハ、甚ダ失禮ナ話デゴザイマスガ、他ノ御役所ノ仕事トハ違ヒマシテ、全部縁ノ下ノ力持デゴザイマス、私共其點ニ付キマシテハ洵ニ感謝ヲ致シテ居リマスガ、併シ厚生省ノ仕事ニ付キマシテハ、非常ニ感謝シ、斯ウモアレカシト祈ツテ居ル國民ガ多數アルノデアリマスカラ、其點ニ御鑑ミ下サイマシテ、何卒將來本事業ノ爲ニ一層ノ御奮勵ト御努力ヲ下サイマシテ、陛下ノ赤子ヲシテ一人タリトモ不幸ニ泣ク者ガナイヤウニ、ソレヲ理想トシテ御活動下サイマスヤウ、最後ニ御一言ヲ申上ゲマシテ私ノ質問ヲ終リマス

○伊藤委員 尚ホ警視廳ナドニ於キマシテハ、時々盛リ場ヘ參リマシテ、多數ノ生徒ヲ檢舉致シテ居ルヤウナ例ガアリマス、思フニ左様ナ不健全ナル享樂ヲ貪リマスルノハ、成長期ニ於ケル青少年ノ精力ノ捌ケ場

ラズ、外國人デモ經營セント欲スル者ハ、唯一片ノ届出デ宜シウゴザイマスカ、政務次官ニ伺ヒマス

單行ノ法制ニ相成ツテ居ルノデアリマス、救護事業ニ付キマシテハ救護法ガアリ、又母子ノ保護ニ付キマシテハ、昨年御協賛ヲ得マシタ母子保護法ガアルノデアリマス、其他先程モ伊藤君カラ御質問ノゴザイマシタヤウニ、不良兒童ノ教護ニ付キマシテハ、少年教護法ト云フモノガアルノデアリマス、又經濟保護ノ施設ト致シマシテモ、公益質屋ニ付キマシテハ、公益質屋法ガ現ニ制定サレテ居ルノデアリマス、大體ノ概況ヲ申上ゲマスレバ、今日マデ單行法ニ依リマシテ、只今舉ゲマシタヤウナ法律ノ基礎ヲ持ッタ施設ニ付キマシテハ、國ノ助成ノ途モゴザイマスシ、又監督指導ノ方針モ法制ニ依ツテ明ニナッテ居リマス、隨ヒマシテソレ等ノ施設ニ付テハ、全國的ニ相當ノ效果ヲ擧げテ居ルト、概括的ニ申上ゲルコトガ出來ルヤウニ思フノデアリマス、其他法制ニ據ラナイ所ノ、現在マデ法制ノナカッタ施設ニ付キマシテハ、其施設ノ經營者ノ努力ニ依リマシテ、相當ノ效果ヲ擧ゲテハ居リマスケレドモ、之ヲ全國的ニ見マシタ場合ニハ、法制ノ基礎ヲ持ツタモノニ比べマスレバ、其成績ハ十分デナイト云フコトガ、概括的ニ申上ゲルコトガ出來ルカト思フノデアリマス、施設ノ個々ノ成績等ニ付キマシテハ、

護事業ニ付キマシテハ救護法ガアリ、又母子ノ保護ニ付キマシテハ、昨年御協賛ヲ得マシタ母子保護法ガアルノデアリマス、其他先程モ伊藤君カラ御質問ノゴザイマシタヤウニ、不良兒童ノ教護ニ付キマシテハ、少年教護法ト云フモノガアルノデアリマス、又經濟保護ノ施設ト致シマシテモ、公益質屋ニ付キマシテハ、公益質屋法ガ現ニ制定サレテ居ルノデアリマス、大體ノ概況ヲ申上ゲマスレバ、今日マデ單行法ニ依リマシテ、只今舉ゲマシタヤウナ法律ノ基礎ヲ持ッタ施設ニ付キマシテハ、國ノ助成ノ途モゴザイマスシ、又監督指導ノ方針モ法制ニ依ツテ明ニナッテ居リマス、隨ヒマシテソレ等ノ施設ニ付テハ、全國的ニ相當ノ效果ヲ擧げテ居ルト、概括的ニ申上ゲルコトガ出來ルヤウニ思フノデアリマス、其他法制ニ據ラナイ所ノ、現在マデ法制ノナカッタ施設ニ付キマシテハ、其施設ノ經營者ノ努力ニ依リマシテ、相當ノ效果ヲ擧ゲテハ居リマスケレドモ、之ヲ全國的ニ見マシタ場合ニハ、法制ノ基礎ヲ持ツタモノニ比べマスレバ、其成績ハ十分デナイト云フコトガ、概括的ニ申上ゲルコトガ出來ルカト思フノデアリマス、施設ノ個々ノ成績等ニ付キマシテハ、

非常ニ細カイ數字ヲ申上ゲルコトニ相成リマスノデ、極ク概括的ノ御説明ニ止メテ置キタイト存ジマス、尙ホ御必要ガゴザイマスレバ、個々ノ施設等ニ付キマシテモ、相當ノ資料モ手許ニハ持ツテ居リマスガ、是ハ餘リ巨細ニ互リマスノデ、此處デ申上ゲルコトハ差控ヘタイト存ジマス

○庄司委員 次ニ第五條ノ社會事業者ガ寄附金ヲ募集セントスル場合ニハ、地方長官ノ許可ヲ受ケルト云フ項目ニ付テ御伺ヲ致シマス、例ヘバ茲ニ或ル社會事業家ガ一万圓ノ寄附金募集ヲショウト致シマシテ、地方長官ノ認可ヲ得、八千圓位ノ寄附ガ纏ツタ場合ニ、或ル篤志家ガ急ニ現レテ參リマシテ、假ニ一万圓ヲ自發的ニ寄附ヲシタト云フヤウナ場合ニ於テハ、其寄附關係ハ地方長官カラ見マシテドウ云フコトニナリマスカ、参考ノ爲ニ伺ツテ置キマス

○庄司委員 第十六條ニ付テ、社會事業ノ經營者ガ惡意、故意ガアラウトナカラウト、其代理人以下雇人或ハ從業者等ガ業務ニ關シテ本法ニ違反シタルトキハ、社會事業者——其代表者ガ自分ノ指揮ニ出デナイモノデアッテモ處罰ヲ免レルコトガ出來ナイ、ハッキリ此處ニ處罰ガ明白ニナッテ居リマスガ、此社會事業者ノ同居者或ハ雇人ガ、或種ノ惡意ヲ以テ長期間御世話ニナッテ居リマシタ所ノ、田舎ノ言葉デ言ヘバ自分ノ旦那サン、社會事業者ニ惡意ヲ以テ、此法規ノ違反スルヤウナ行爲ガ若シ不幸ニシテ行ハレタト云フヤウナ場合ニ於テモ、此處ニハッキリ其指揮ニ出デナイモノデアッテモ處罰

ヲ免レルコトガ出來ナイト云フ風ニ、明確ニサレテ居リマスルガ、私ガ今申上ゲタヤ、甚ダ私ハ不合理デアルト考へル、此點ニ付テドウシテモ十六條ト云フ、此法律ヲ絶對

ラ寄附ガアッタト云フヤウナ場合ヲ想像致シテ見マスレバ、ソレハ恐ラク他ノ社會事業ノ、或ハ設備ノ擴張デアリマストカ、豫定シテ居リマシタ以外ノ方面ニ使用サスレバ、個々ノ施設等ニ付キマシテモ、相當ノ資料モ手許ニハ持ツテ居リマスガ、是ハ餘リ巨細ニ互リマスノデ、此處デ申上ゲルコトニ相成ルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ篤志者ノ寄附ニ付キマシテハ、第五條ノ適用ヲ受ケナイコトニ相成ルノデアリマス

○山崎政府委員 十六條ノ規定ハ、是ハ行政犯ノ場合ノ一種ノ例文デゴザイマシテ、只今御述ニナリマシタヤウナ例ノ場合ニハ、其者ガ故意ヲ以テ其主人ヲ傷ケル爲ニ致シマシタ場合デモ、無論十六條ノ適用ガアルモノト御解釋ヲ願ヒタイト思ヒマス

○庄司委員 惡意モナイ、故意モナイ者ガ、其代理人以下雇人或ハ從業者等ガ業務ニ關シテ本法ニ違反シタルトキハ、社會事業者——其代表者ガ自分ノ指揮ニ出デナイモノデアッテモ處罰ヲ免レルコトハ、僕ハ法律ノコトハルト云フヤウナ場合ニ於テモ制裁ヲ受ケ分リマセヌケレドモ、常識ノ上カラ考ヘタルト云フヤウナコトハ、僕ハ法律ノコトハ淘ニハ不穩當極マル惡法デアルト考ヘラレマス、選舉法ノ場合ニ於テモ、候補者ガ嚴重ナ監督ヲシテモ、尙且ツ選舉ノ事務長ガ違反行爲ニ陥ツタト云フヤウナ場合ニ於テハ、候補者ハ無論御承知ノ通り無罪デアリマス、此社會事業經營者ノ場合ニ於テノミ、何等惡意、故意ガナクトモ——十分ナ指揮監督ヲシテ居リマシテモ、サウ云フ場合ニ於テ制裁ヲ受ケルト云フヤウナコトハ、合ニ於テ制裁ヲ受ケルト云フヤウナコトハ、

的ナモノデアルト、御當局ハ飽マデモ御主張ナサルモノデアルカドウカ、一寸伺ツテ置キマス

○工藤政府委員 今日マデ斯様ナル法律ガ、

ツノ制裁力ヲ具ヘル場合ニ於キマシテハ、

一般ノ通則トシテ之ヲ罰スルコトニナッテ居

リマス、是ハ此法律バカリデアリマセヌ、

其例ヲ舉ゲタナラバ隨分アリマス、併シ是

ハ一般ノサウ云フヤウナ規定ガ善イカ惡イ

カト云フコトハ、無論議論ノ餘地ガアリマ

スケレドモ、斯ノ如クシテ取締ラナケレバ、

脱法的ナ方法ニ出ヅル者ナシトモ限ラナイ、

社會事業ニ携ハル者ハ、何レモ立派ナ人デ

アルト云フコトハ假定致シマシテモ、是ハ

ツノ手續ヲ誤ルコトニ依ツテ生ズルコトデ

スカラ、ヤハリ行政犯罪トシテハ、總テ斯

ウ云フ法律ニハ、斯ウ云フモノヲ附ケテ置

クモノデアリマス、隨テ是ハ取締上下ウシ

テモ制裁ヲスル以上ハ、即チ自分ノ指揮デ

ナイカラ、意思ガナイカラ、犯意ガナイカラ

ラトシテ、普通ノ刑法ニアルガ如キ考ヲ以

テハ取締ガ付カナイノデアリマスカラ、斯

様ナル法律ハ皆行政犯ニ關スル一般ノ通則

イ事ヲシタラ、全部上ノ人ガ責任ヲ御取り

シ之ヲオヤリニナルナラバ、役人ナドガ悪

トシテ、之ヲ掲ゲテ居ルヤウナ次第アリ

マス、出來ルダケハ惡意ガナカッタ、犯意ガナ

リマスルケレドモ、大體ニ於テハ之ヲ制裁スルコトノ必要ヲ認メテ居ルノデアリマス、私ノ御伺ハ是デ止メマス

○古田委員 之ニ關聯シテ一寸——私モ此十六條ニ付テハ、先般本會デ申上ガタノデアリマスガ、例ヘバ此間申上ガタヤウニ、是マデ官吏ノ下ノ人ガ惡イコトヲシタ爲ニ、所ガ民上ノ者ガ責任ヲ負ウテ居リマセヌ、所ガ民間事業——之ニ限ツテコシナ法律ヲ明記サレテ、知ラズニ居ツテモ今御話ノヤウニ、ソレニ罪ヲ著セルト云フコトハ亂暴モ甚シイ、

例ヘバ此規則ハナクテモ、若シ部下ノ使ツアルト云フコトハ假定致シマシテモ、是ハテ居ル者ガ寄附金募集ヲ内證デヤッタリシツノ手續ヲ誤ルコトニ依ツテ生ズルコトデス

スカラ、ヤハリ行政犯罪トシテハ、總テ斯

ウ云フ法律ニハ、斯ウ云フモノヲ附ケテ置

クモノデアリマス、隨テ是ハ取締上下ウシ

テモ制裁ヲスル以上ハ、即チ自分ノ指揮デ

ナイカラ、意思ガナイカラ、犯意ガナイカラ

ラトシテ、普通ノ刑法ニアルガ如キ考ヲ以

テハ取締ガ付カナイノデアリマスカラ、斯

様ナル法律ハ皆行政犯ニ關スル一般ノ通則

イ事ヲシタラ、全部上ノ人ガ責任ヲ御取り

シ之ヲオヤリニナルナラバ、役人ナドガ悪

トシテ、之ヲ掲ゲテ居ルヤウナ次第アリ

マス、出來ルダケハ惡意ガナカッタ、犯意ガナ

カッタト云フ場合ニ於テハ、酌量ノ程度ハア

責任ヲ取ツタカ、知事ハ責任ヲ負ハヌ、内務

大臣モ責任ヲ負ハヌ、神奈川縣ノ土木課ニ於テモ、各縣ノ土木課ニ於テモ、收賄事件、害スル場合ガアルノデ、斯ウ云フ法規ニハ或ハ色々ノ背任ハ隨分起キテ居リマスガ、決シテ幹部ノ者ハ刑罰ヲ受ケテ居リマセヌ、ソ

ノミナラズ辭表マデ出シテ居リマセヌ、ソ

コデ一段此場合政府當局ニ反省ヲ促シタイ

ノハ、知ラズニ居ツテモ此處罰ヲ受ケルト云

フコトダケハ、是非トモ剷除サレネバ相成

ラスト思ヒマスガ、ソレデモマダオヤリニ

ナル積リデアルカドウカ、一寸御伺致シマ

ス

手續ヲ誤ツタ場合ニハ、非常ニ公益、公安ヲ

害スル場合ガアルノデ、斯ウ云フ法規ニハ

總テ斯ウ云フ條項ヲ設ケテ居リマス、デア

リマスカラ、古田委員ハ——ソレハアナタ

ノ常識ヲ私ハ疑フ譯デハナイガ、當リ前ノ

話デス、役人ハドウダ、俺ハドウダト云フ

ノハ、無論ノ話デスケレドモ、先ヅ一般ノ

制裁法規ハ斯ウ云フ工合ニナッテ居リマス

カラ、其通則ニ基イテヤリ、行政犯トシテ

此規定ハ設ケラレテ居ル、デアルカラ此點ニ付テハ、絶對ニ自分ノ指揮デモ、過失デ

モ、惡意デモ、故意デモナイト言ツテモ、是

ハ惡意デハナイ、故意デハナイ、過失デハ

ナイト立證スル方法ガナイモノダカラ、苟

モ其處ニ手落チガアツタ以上ハ、誰カ責任者

ガ一人ナケレバナラヌ、其責任者ハ事業者

ガ當然負フベキデアル、隨テ此監督者タル

地位ニ於テ、法律ノ保護ヲ受ケテ居ル地位

ニ於テ、責任者ガ出テ來ナケレバナラヌト

云フ爲ニ、此法ノ圓滿ナル運用ヲ期スル爲

ニ依ツタ例ハ、立法上澤山アルカト云ヘバ、

澤山アリマスカラ、次會ニ於テデモ又調べ

テ申上ゲマス、併シ外ニモアルカラ、之ニ

是非入レナケレバナラヌト云フコトヲ申ス

ノデハアリマセヌ、先づ大體立法例ニナツテ居ルモノ、デスカラ、之ヲ御諒承願フ爲ニハ、是ト類似シタモノヲ御参考ニ供スルコトガアルカモ知レヌト云フコトヲ申上ゲテ置キマス。

○古田委員 惡意デナクテモ、之ニ依ツテ處罰ヲ免レルコトガ出來ヌト云フコトニナリマスト、ヤハリ裁判ノ點ニ付テハ、是ハ考慮スル點ハアリマスカ

○工藤政府委員 是ハ無論サウデス、惡意デハナイ、故意デモナイ、自分ノ意識ニ出ナイト云フヤウナ場合ニ於テハ、近頃裁判官ハ非常ニ公平ニナツタヤウデスカラ、相當酌量シテ公平ナ判断ヲ下サレルダラウト思ヒマスガ、併シソレアルガ爲ニ全部責任ヲ免除スルト云フコトハ、行政官ニ於テハ出來得ナイモノデアリマスカラ、後ハ事實問題ニ付テ其裁判ノ判決ヲ仰グ、結局ソレデ其途ガ開ケルヤウナ次第ゴザイマス。

○野口委員長代理 モウ宜シウゴザイマスカ——ソレデハ長野高一君

○長野委員 私ハ重複ヲ避ケマシテ、要點ノミニ付キマシテ、逐條的ニ數項目ノ問題ニ付テ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、其前ニ只今清水委員カラモ御話ガアリマシタガ、社會事業ニ對スル根本精神ニ付キマシ

テ、私ノ考ヲ極ク簡單ニ申上ゲマシテ、當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、由來社會事業ノ對象トナルベキ社會ノ落伍者ハ、今日ノ誤レル社會機構ノ缺陷カラ生ズルコトガ多イノデアリマスカラ、之ヲ保護救濟スルコトハ、固ヨリ國家ノ義務デハアリマスガ、又一面此社會機構或ハ經濟組織ノ缺陷ニ乘ジテ生レテ出テ來ル所ノ富豪ガ、當然行フベキ責任デアラウト考ヘテ居リマス、尤モ我國ニ於キマシテハ、古來武士ハ食ハネド高楊枝ト云フヤウナ言葉モアリマスカラ、個人トシテハ富豪ニ頭ヲ下ゲルコトヲ潔シトシナイト云フヤウナ、只今ノ御説モ出ルノデアリマスガ、併シ是ハ其經營ノ形式ナリ、或ハ經營者自身ノ氣持ナリガ誤ツテ居ルカラ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、特ニ我國ノ社會事業ニ付キマシテハ、千數百年ノ昔カラ、所謂上古歷代ノ皇室ガ御親ラ其範ヲ垂レサセラレテ居ル點ニ考ヘマシテモ、私ハ今日何モ彼モ丁度露西亞ノヤウニ、總テノ仕事ヲレテ居ル点ニ考ヘマシテモ、私ハ今日何モ彼モ丁度露西亞ノヤウニ、總テノ仕事ヲレテ居ル点ニ考ヘマシテモ、私ハ今日何モ彼モ丁度露西亞ノヤウニ、總テノ仕事ヲ

スガ、ソコデ本法施行ニ當リマシテ、現存スル社會事業ニシテ届出ヲ爲シタル者ハ、若シ然リト致シマスナラバ、茲ニ最モ御考慮ヲ煩シタイ點ハ、現在此種事業ノ分布狀態ト云フコトデアリマスカドウカ、總テ是ハ認タル方針デアリマスカドウカ、國家ガ取上げテシマッテ、國家自ラ之ヲヤルト云フヤウナコトハ、多少其仕事ノ性質ガ變ツテ居ルノデハナイカト云フ風ニ思フノモ彼モ丁度露西亞ノヤウニ、總テノ仕事ヲ、却テ害スルト云フ趣旨デ出来タ法律デアルナラバ、此社會事業ト云フ立派ナル仕事ヲ助長スルト云フ趣旨デ出来タ法律デアルナラバ、此社會事業ト云フ立派ナル仕事ヲ、却テ害スルト云フヤウナコトガアッテハナラヌカラ、已ムヲ得ズ茲ニ涙ヲ以テ左様ニナツタノデアリマス、ソレカラ分布ノ狀態ニナツタノデアリマス、ソレカラ分布ノ狀態ハ、御覽ノ通リ茲ニ差上ゲテ置キマシタガ、府縣ノ社會事業ノ種別、公私社會事業ノ調査ニ依ルト實ハ非常ニ分布モ適正デナイト

思ハレマセウガ、併シ是ガ社會ニ生レテ來ルニ付テハ、先づ何トシテモ此生レタ事實ガ茲ニ現存シテ居ル、周圍ノ環境ニ依ッテ出來テ居ルト云フコトハ否定出來ナイ、殊ニ今日マデ統制付ケテ居ルモノハ、人類互ニ相愛シ、隣合ヒデオ互ニ相救ハウト云フ、本當ノ美シイ心持ヲ以テヤッテ來テ居ル、殊ニ我國ニ於テハ相當佛教徒ナドガ各地ニアツテ、此宗教家ト云フ者ガスウ云フ方面ニ意ヲ注イデ來タ、光明皇后様ノ御話モ伺ヒマシタガ、其通りアリマス、千二三十年前ニ癩病患者ノ膿ヲ吸ッテ、サウシテ自ラ左様ナ慈善事業ニ非常ナ思召ヲ注ガレタト云フコトハ、今日ニ至ルマデ我國ノ社會事業家ハ、最モ國ノ愛ヲ現シタ方面ニ於テ、何レモ共鳴シテ居ルヤウナ次第アリマス、斯ウ云フ工合ニ土地ノ事情ニ依ッテ出來タモノデアリマスカラ、隨テ地域ノ上カラ見マスト、或所ニハ非常ニ發達シ、或所ニハ非常ニ少イト云フヤウナコトモ要スルニ大體ニ於テ斯様ナ環境ニ支配サレテ出來タモノト考ヘテ居リマス、併シ今度法律ガ出来テ國家デ補助シ、之ヲ統制スルト云フコトニナリマスレバ、自然左様ナコトモ調查ヲ致シマシテ、或ハ更ニ助長シ、擴大サセルリマセウシ、或ハ更ニ助長シ、擴大サセル

來テ居ルト云フコトハ否定出來ナイ、殊ニ今日マデ統制付ケテ居ルモノハ、人類互ニ相愛シ、隣合ヒデオ互ニ相救ハウト云フ、本當ノ美シイ心持ヲ以テヤッテ來テ居ル、殊ニ我國ニ於テハ相當佛教徒ナドガ各地ニアツテ、此宗教家ト云フ者ガスウ云フ方面ニ意ヲ注イデ來タ、光明皇后様ノ御話モ伺ヒマシタガ、其通りアリマス、千二三十年前ニ癩病患者ノ膿ヲ吸ッテ、サウシテ自ラ左様ナ慈善事業ニ非常ナ思召ヲ注ガレタト云フコトハ、今日ニ至ルマデ我國ノ社會事業家ハ、最モ國ノ愛ヲ現シタ方面ニ於テ、何レモ共鳴シテ居ルヤウナ次第アリマス、斯ウ云フ工合ニ土地ノ事情ニ依ッテ出來タモノデアリマスカラ、隨テ地域ノ上カラ見マスト、或所ニハ非常ニ發達シ、或所ニハ非常ニ少イト云フヤウナコトモ要スルニ大體ニ於テ斯様ナ環境ニ支配サレテ出來タモノト考ヘテ居リマス、併シ今度法律ガ出来テ國家デ補助シ、之ヲ統制スルト云フコトニナリマスレバ、自然左様ナコトモ調

查ヲ致シマシテ、或ハ更ニ助長シ、擴大サセルリマセウシ、或ハ更ニ助長シ、擴大サセル

良デナイモノハ、自然ニ良イ方ニ吸收サレルト云フコトニナリマスカラ、御話ノヤウナ事情ガアツテ生レテ居ル社會事業ヲシテ、此法律ノ活用如何ニ依ッテハ、相當自然ニ整理スルコトガ出來ルダラウト、斯様ナ考デ居リマスカラ、隨テ法律ノ實施ニ伴ウテ、左様ナ方面ハ篤ト實情ヲ調査致シマシテ、御希望ニ副フヤウナコトヲ努メテ見タイト

考ヘテ居リマス
○長野委員 法ハ元來冷タイノデアリマスガ、此社會事業ハ溫イ性質ノモノデアリマス、之ヲ取締リ或ハ之ニ臨ム今回ノ此法案ノ内容ガ、一貫シテ冷タイ空氣ノ重壓ヲ感ズルヤウナ氣持ノアリマスコトハ、洵ニ吾吾遺憾ニ存ズル次第アリマスガ、當局ガ之ヲ運用セラル、ニ當リマシテハ、十分愼重ナル態度ヲ以テ臨ンデ戴キタイト思フノ別ノ規定ト、御解釋ヲ願ヒタイト存ジマス

○長野委員 能ク分リマシタ、次ハ第三條ノ要保護者ノ收容ヲ地方長官ガ委託スル場合ノ條項デアリマスガ、此規定ハ現在市町村ニ於テ任意ノ委託契約ヲ以テ收容サレツヅアルモノヲモ、府縣ノ費用ヲ以テ委託セントスルノデアリマスカ、或ハ又市町村ノ委託ニ付テハ、地方長官ハ本法ニ依ル命令ヲ市町村長ニ委任セントスルノデアルカ、乃至ハ市町村トノ從來ノ任意契約ハ其儘認メテ、單ニ府縣費ノミヲ以テ委託スルモノ

○長野委員 重ネテ其點ニ付テ御伺致シマスガ、假ニ或ル地方ニ於テハ、精神病患者ヲ收容スル設備ガ極メテ少イト云フヤウナ場合ニ、現在市町村ニ於テ任意契約ヲ以テ收容ヲ委託シテ居ルモノガアルノデアリマスガ、只今ノ御説明ニ依リマスト、此命令ハ市町村長ニ對シテ委任シナイト云フコトデアリマスト、而モ府縣ノ地方長官ハ其命令權ガアルト云フコトデアリマスレバ、其處ニ自然ニ優先的ノ問題ガ起ルノデハナイデセウカ、重ネテ御答願ヒタイノデアリマ

ス
○山崎政府委員 只今御尋ノ通リノコトモ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、此届出ヲ致シマス場合ニヘ、所在地ノ市町村長ヲ經由シテ、地方長官ニ届出ヲスルト云フヤウナシテ、御希望ニ副フヤウナコトヲ努メテ見タイト取扱ヲシタイト思ヒマス
○長野委員 能ク分リマシタ、次ハ第三條ノ要保護者ノ收容ヲ地方長官ガ委託スル場合ノ條項デアリマスガ、此規定ハ現在市町村ニ於テ任意ノ委託契約ヲ以テ收容サレツヅアルモノヲモ、府縣ノ費用ヲ以テ委託セントスルノデアリマスカ、或ハ又市町村ノ委託ニ付テハ、地方長官ハ本法ニ依ル命令ヲ市町村長ニ委任セントスルノデアルカ、乃至ハ市町村トノ從來ノ任意契約ハ其儘認メテ、單ニ府縣費ノミヲ以テ委託スルモノ

○長野委員 重ネテ其點ニ付テ御伺致シマスガ、假ニ或ル地方ニ於テハ、精神病患者ヲ收容スル設備ガ極メテ少イト云フヤウナ場合ニ、現在市町村ニ於テ任意契約ヲ以テ收容ヲ委託シテ居ルモノガアルノデアリマスガ、只今ノ御説明ニ依リマスト、此命令ハ市町村長ニ對シテ委任シナイト云フコトデアリマスト、而モ府縣ノ地方長官ハ其命令權ガアルト云フコトデアリマスレバ、其處ニ自然ニ優先的ノ問題ガ起ルノデハナイデセウカ、重ネテ御答願ヒタイノデアリマス
○山崎政府委員 第三條ハ、從來市町村長ガ任意的ニ、私設社會事業ニ對シテ委託ヲ致シマス場合ニ付テノコトハ、何等觸レテス
○山崎政府委員 第三條ノ場合ハ、先程申居ナイノデアリマスガ、第三條ハコヽニ法

マス場合ニ、市町村長ヲ經由スルコトニ致シマスナラバ、其目的ガ達セラレルト存ズ特別ニ必要ヲ認メマシテ、保護ノ必要アル者ヲ、私設社會事業其他ニ收容ヲ委託スル場合ノ規定デアリマス、此規定ハ必シモ任意的ノモノニ優先スルトカ、或ハ此方ガ力ガ強イトカ云フモノデハナイノデアリマシテ、而モ是ハ必シモ府縣費ヲ以テ委託契約ヲナスト云フコトモ考ヘテ居ナイノデアリマス、要スルニ地方長官ガ其地方ノ實情ヲ見マシテ、ドウシテモ是ハ保護ヲ要スルモノガアツテ、收容ヲ委託シナケレバ保護ノ萬

文ニ明示シテ居リマスヤウニ、地方長官ガ特別ニ必要ヲ認メマシテ、保護ノ必要アル者ヲ、私設社會事業其他ニ收容ヲ委託スル場合ノ規定デアリマス、此規定ハ必シモ任意的ノモノニ優先スルトカ、或ハ此方ガ力ガ強イトカ云フモノデハナイノデアリマシテ、而モ是ハ必シモ府縣費ヲ以テ委託契約ヲナスト云フコトモ考ヘテ居ナイノデアリマス、要スルニ地方長官ガ其地方ノ實情ヲ見マシテ、ドウシテモ是ハ保護ヲ要スルモノガアツテ、收容ヲ委託シナケレバ保護ノ萬

上ゲマシタヤウナ特殊ノ場合ニ限ルノデアリマシテ、普通ノ市町村長ガ任意ノ委託契約ニ依リマシテ收容ヲ致シマス場合ハ、當然此規定ノ適用ハナイ譯デゴザイマス、隨別段起ラナイヤウニ私共トシテハ考ヘテ居リマス

○灘尾政府委員 只今ノヤウナ御質問ノ場

合ガ、若シ或ル社會事業施設ニ對シテ、市

町村長ガ任意ノ委託ヲ申込ンデ居ル、ソレ

カラ地方長官ノ方カラ、此規定ニ依ッテ他ノ

收容ヲ委託スル、斯ウ云フヤウナコトガア

リマスナラバ、或ハソレハ地方長官ノ方ハ

行政處分デアリマスカラ、此方ガ優先スル

ト云フコトニ相成ラウカト思ヒマスガ、普

通ノ場合ト致シマシテハ、ソコニ優先權ヲ

有シテ居ルトカシナイトカ云フヤウナコト

ハ、考ヘテ居ラナイノデアリマス

○長野委員 今御示シニナツタ例ノ如キコ

トガ多々アルト思ヒマス、現ニ或ル地方ニ

ハ、其府縣或ハ市町村ノ取扱フ所ノ同種ノ

患者ノ收容ト云フヤウナコトニ付テハ、サ

ウ云フ場合ガ多々アルト思ヒマス、サウ云

フ時ノ御措置ヲ何等カノ便法ヲ設ケテ、用

意ヲサレル必要ガアルノデハナイカト思ヒ

マス、ソレカラ第六條ノ場合デアリマスガ、

リマス

○長野政府委員 只今ノヤウナ御質問ノ場

合ガ、若シ或ル社會事業施設ニ對シテ、市

町村長ガ任意ノ委託ヲ申込ンデ居ル、ソレ

カラ地方長官ノ方カラ、此規定ニ依ッテ他ノ

收容ヲ委託スル、斯ウ云フヤウナコトガア

リマスナラバ、或ハソレハ地方長官ノ方ハ

行政處分デアリマスカラ、此方ガ優先スル

ト云フコトニ相成ラウカト思ヒマスガ、普

通ノ場合ト致シマシテハ、ソコニ優先權ヲ

有シテ居ルトカシナイトカ云フヤウナコト

ハ、考ヘテ居ラナイノデアリマス

○長野委員 今御示シニナツタ例ノ如キコ

トガ多々アルト思ヒマス、現ニ或ル地方ニ

ハ、其府縣或ハ市町村ノ取扱フ所ノ同種ノ

患者ノ收容ト云フヤウナコトニ付テハ、サ

ウ云フ場合ガ多々アルト思ヒマス、サウ云

フ時ノ御措置ヲ何等カノ便法ヲ設ケテ、用

意ヲサレル必要ガアルノデハナイカト思ヒ

マス、ソレカラ第六條ノ場合デアリマスガ、

リマス

○長野政府委員 只今御述ニナリマシタヤ

ウナ事柄ハ、本法ノ運用ニ當ッテハ相當注意

セネバナラズ問題デアルト思ヒマス、本法

ガ幸ニ協贊ヲ仰ギマシテ公布セラレマス場

合ニハ、或ハ報告事項等ニ付キマシテハ劃

一的ナモノヲ定メマシテ、報告ノ煩雜ヲ避

ケ、又重複ヲ來スヤウナコトノナイヤウニ、

十分其運用ニ當ッテハ注意ヲ致シタイト考

ヘテ居リマス

○長野委員 只今御答ニ満足ヲ致シマス、

更ニ第七條ニ於テ、中央社會事業委員會ノ

構築ナント云フ聲モ致ス際デアリマスカ

ラ、更ニ一層其點ヲ注意致シマシテ、厚生

省其モノハ、ヤハリ何トシテモ仁愛ノ心ヲ

以テ國民ニ對シテ行カナケレバナラヌ、社

會政策ヲ實行スルニ當ッテ、サウ云フ點ハ厚

生省ノ役人ハ一番注意シナケレバナラヌダ

ラウト思ヒマス、昔話ヲスルヤウデスケレ

ドモ、孟子ノ言葉ノ中ニ、ドンナ乞食ガ今

食フニ困ジテ居テモ、物ヲ投ゲタラ喜ンデ食

トカラ考ヘマスレバ、又一面出來得ル限り

利便ヲ與ヘテ、健全ナル發達ヲ圖ッテヤルト

云フコトモ必要ナノデアリマスガ、斯様ナ

意味カラ致シマシテ、政府ハ本法施行ヲ機

會ニ、何等カ適等ノ措置ヲ講ジ、統一セル

調査項目ノ指定等ニ依ッテ、其弊ヲ除イテヤ

ル意思ガアルカナイカト云フコトヲ伺ヒタ

イ

○山崎政府委員 只今御述ニナリマシタヤ

ウナ事柄ハ、本法ノ運用ニ當ッテハ相當注意

セネバナラズ問題デアルト思ヒマス、本法

ガ幸ニ協贊ヲ仰ギマシテ公布セラレマス場

合ニハ、或ハ報告事項等ニ付キマシテハ劃

一的ナモノヲ定メマシテ、報告ノ煩雜ヲ避

ケ、又重複ヲ來スヤウナコトノナイヤウニ、

十分其運用ニ當ッテハ注意ヲ致シタイト考

ヘテ居リマス

○工藤政府委員 運用上大切ナル機關ノ構

成デアリマスカラ、土屋君竝ニ伊藤君ヨリ

モ、此點ニ付テハ詳細ノ御質問ガアリマシ

タ、無論學識經驗ノアル人ヲ出來ルダケソ

コニ出テ貴ヒマシテ、其蘊蓄ト經驗ヲ傾ケ

テ、而シテ御話ノ通り法ノ運用ヲ圓滑ナラ

シメタイト云フコトニ付テハ、政府モ相當

法ニ基イテ賦課サレル所ノ負擔金ガ相當ア

ルノデアリマスガ、之ニ對スル取扱ハ如何

ヤウニナサルノデアリマスカ、次ニ第十三

條ハ、國ガ道府縣又ハ勅令ヲ以テ指定スル

市ニ對シ社會事業ノ經營ヲ命令スル場合ノ

規定デアリマスガ、政府ハ今日豫メ其事業ヲ考ヘテ居ラル、ノデアルカドウカ、今日ノ事變ニ於キマシテ、或ハ事變後ニ來ルベキ幾多社會事情ノ變動ニ伴ウテ、種々ナ準備ヲ今カラ考ヘナケレバナラヌノデアリマスガ、是等ニ對シテ、今日既ニ此法文ニ關聯ヲ持ツ所ノ成案ヲ得テ居ラル、ノデアリマスカ、若シアリト致シマスナラバ、其内容ヲ承リタイノデアリマス、又其場合ニ於キマシテ、其經費ノ負擔關係ハ如何ニ相成ルノデアリマスカ、此點御説明ヲハ煩シタイト思ヒマス

○山崎政府委員 第一ノ御尋ノ租稅其他ノ公課デアリマスガ、是ハ公共團體ノ場合デゴザイマスレバ、地方稅ハ勿論ノコト、其他公共團體ノ賦課致シマス各種ノ公課ニ付キマシテハ、免除スルコトニ相成ルノデアリマス、第二ノ御尋ノ十三條ノ公共團體ニ對シマスル社會事業ノ經營命令デゴザイマスルガ、是ハ法文ニモ明記致シテ居リマスヤウニ、地方ノ方ノ事情ニ依ッテ特別ノ必要アル場合ニ限ッテ居ルノデゴザイマス、其場合ハドウ云フ場合ヲ豫想シテ居ルカト申シマスト、一つノ例ヲ取テ申上ゲマスナラバ、非常不幸ナコトデアリマスケレドモ、或ル地方ニ大災害デモ起シタト云フ場合ニ

ハ、ドウシテモ其公共團體デ相當ノ社會施設ヲ必要トスル、サウ云フ場合ノコトヲ豫想シテ、特ニ社會事業ノ經營命令ヲ主務大臣ガ爲シ得ル途ヲ開イタノデアリマス、事臣ガ爲シ得ル途ヲ開イタノデアリマス、事業ノ種類ニ付キマシテハ、其個々具體的ノ場合ニ應ジマシテ、自ラ變化ガアルノデアリマス、此點御説明ヲハ煩シタイト思ヒマス

○山崎政府委員 第一ノ御尋ノ租稅其他ノ公課デアリマスガ、是ハ公共團體ノ場合デゴザイマスレバ、地方稅ハ勿論ノコト、其他公共團體ノ賦課致シマス時ニハ、相當ノ補助ヲ考ヘルコトハ當然デアルト考ヘルノデアリマス、別段明ニ其場合ノ補助ノ率等ニ付テハ規定ハゴザイマセヌケレドモ、第十三條ノ精神力カラ申シマシテ、其場合ニ相當ノ補助ト云フコトハ、豫想シテ戴イテ差支ナイト存ジマス

○長野委員 能ク分リマシタ、次ニ第十五條ノ場合デゴザイマスガ、十六ノ點ニ付キマシテハ、ソレドク先程カラ御質疑ガアッタトニナリマスト、遂ニサウ云フ人々ハ事業カラ、是ハ裁判所ニ刑ノ量定ヲ御委セシタルカモ知レナイ、併シヤハリ報告ヲナサナカタリ、虚偽ノ報告ヲシタリスル場合ニ於テ、其及ボス影響及ビ事業全體ノ信用ニ關係行クノデアリマス

〔野口委員長代理退席、古田委員長代理著席〕

然ルニ今回ノ此法案ノ成立ニ依リマシテ、ソレ等ノ人々ガ其都度警察ニ引合ニ出サレル、新聞ニ名前ヲ曝サレルト云フヤウナコトニナリマスト、遂ニサウ云フ人々ハ事業カラ、是ハ裁判所ニ刑ノ量定ヲ御委セシタルカモ、善意ヲ以テ社會事業ニ相當貢獻シタ人ニ對シマシテ、サウ矢鱈ニ警察ヘ引張タリスルコトハ、是ハ社會ガ許サナイ、尤モ色々ナ場合ガアルカモ知レマセヌケレドモ、先

大體此邊デ宜カラウカト考ヘテ居ルヤウ

次第デアリマス、併シ取扱上ハ相當鄭重

致シマス

○長野委員 吾々ハ工藤政務次官ガ厚生省

ヲ御去リニナツテカラノコトヲ心配シテ御尋

シタノデアリマス、最後ニ御尋致シタイコ

トハ、近來地方公共團體ガ經營スル事業ニ

付キマシテ、國庫補助ノ規定アルモノヲ認

可申請スル場合ニ於テ、概ネ事業認可ヲセ

ザル傾向ニアルノハ、ドウ云フ理由ニ基ク

ノデアリマスカ、例ヘバ不良住宅地區ノ改

良事業ノ如キ、殆ド起債ノ認可モヤツテ居ラ

ヌ、殊ニ東京地方ニ於テ痛切ニ感ジテ居ル

朝鮮人住宅、俗ニ云フ朝鮮人部落ノコトデ

アリマスガ、之ヲ改良スルト云フコトニ、

相當補助ノ方針ガアツテ然ルベキト思フノ

デアリマスガ、是ハ一體ドウ云フ風ナ取扱

ヲサレルノデアリマスカ、ソレカラ先刻土

屋委員ノ御意見ニモアリマシタヤウニ、現

今東京市ニ於ケル結核患者ノ公費治療ノ爲

ニ、病院ニ入ルト云フコトハ實際容易ナ事

デハナイノデアリマス、大臣モ此點ニ付キ

マシテハ、先刻御答辯ノ中ニ認メテ居ラレ

タヤウデアリマシタガ、一體ソレハ何處ニ
原因ガアルカ、何處ニ其責任ガアルカト云

フコトヲ私ハ申上ゲタイノデス、ト云フノ

ハ、今日我國ノ大都市ニ於テ、結核療養所ノ施設ヲ擴充スルト云フコトハ、極メテ必

要ナ事デアリマシテ、而モ其經營ハ地方團體ガ之ヲ行フ立前ニナツテ居ルコトハ、御當

申請シタル場合、今迄ノ政府當局ハ、殊ニ

最近ハ此補助金ノ交付ヲ回避セラレルト云

フヤウナ考カラデセウ、容易ニ之ヲ認可シ

ナイ、ソレデ已ムヲ得ズ市町村ニ於キマシ

テハ、補助金ニ依ラズシテ、全ク獨自ノ力

ヲ以テ之ヲ經營シヨウ、已ムヲ得ズサウ云

フコトヲシナケレバナラスト云フノデ、政

府ニ認可申請致シマシテモ、政府ハ此認可

申請ノ書類ヲ何時マデモ保留シテ置イテ、

徒ニ事業ノ遂行ヲ遷延セシメル、斯ウ云フ

コトガ先刻御話ニナリマシタヤウナ事態ニ

立到ツテ居ルノデアリマス、斯ノ如キコトハ

少クトモ今日國民保健ノ向上ヲ國策トセラ

ル、國家ノ方針、政府ノ使命ニ相反スルコ

思フノデアリマス、併シツノ事柄ニ付

由ノナイ限りハ、ソレハ許スベキモノダト

ロ間違ヒデアッタ、他ニヨリ以上ニ重大ノ理

状態デアッタナラバ、ソレハ許サナイノガ寧

トニナツテ居ルノデアリマス、此認可ノ中

デ、國ノ豫算デ相當擴充出來マスモノニ付

キマシテハ、ドンヽ認可致シテ居ルノデ

アリマス、只今御述ニナリマシタ不良住宅

ノ問題デアリマスガ、是ハ新規ノ豫算ガ計

上セヌガ、大體ノ方針トシテハ、已ムニ
新設モ見マシタノデ、之ヲ契機トシテ、當局
ハ速ニ斯ウ云フ點ニ付テハ御解決ニナル御
意思ガアルカドウカト云フコトヲ、寧ロ私
ダケ其途ヲ開イテヤルノガ相當ダラウト考
ヘマス、過去ハ致シ方アリマセヌケレドモ、
モ、今後ハ其點ニ付テハ一層新シイ狀態

時代トハ、自然サウ云フ問題ノ、取扱方

ノデアリマシタ爲ニ、中ニハマダ昔ノ内

務省ノ積リデヤツテ居ルカモ知レマセヌガ、

此地方團體カラサウ云フ適切ナル施設ヲ行

ハンガ爲ニ認可ヲ求メテモ、從來云フト、

内務省ト地方廳ト云フモノハ、多ク此監

督スベキ地方ノ財政ノ方ニ重キヲ置イテ、

動トモスルト之ヲ許サナカツタ例モアルノ

デアリマス、只今御舉ゲニナリマシタノ

デアリマス、只今御舉ゲニナリマシタノ

ハ、ドウ云フ原因カ分リマセヌケレドモ、

本當ニ住宅ノ改良ノ上ニ必要デアッテ、而モ

補助ヲ要セナケレバ出來ナイト云フヤウナ

状態デアッタナラバ、ソレハ許サナイノガ寧

トニナツテ居ルノデアリマス、此認可ノ中

ル質屋ノ如キ、是等ハ總テ認可ヲ要スルコ

トニナツテ居ルノデアリマス、此認可ノ中

デ、國ノ豫算デ相當擴充出來マスモノニ付

キマシテハ、ドンヽ認可致シテ居ルノデ

アリマス、只今御述ニナリマシタ不良住宅

ノ問題デアリマスガ、是ハ新規ノ豫算ガ計

上セヌガ、大體ノ方針トシテハ、已ムニ

新設モ見マシタノデ、之ヲ契機トシテ、當局

ハ速ニ斯ウ云フ點ニ付テハ御解決ニナル御

デ、新興氣分ヲ以テ、ドシヽ處理シテ行

キタイト思ヒマス

○山崎政府委員 只今政務次官カラ御答辯

ガゴザイマシタ通リデゴザイマス、尙ホ只

今ノ御質問ニ、私カラ一應補足シテ申上ゲ

スル公共團體ノ認可申請ノ問題ニ付テノ御

尋デゴザイマスガ、是ハ主トシテ補助ヲ要

スル施設ガ、大體ニ於キマシテ認可ヲ要

ルコトニナツテ居ルノデアリマス、例ヘテ申

シマスト、救護法ニ依リマスル救護施設ノ

如キ、母子保護法ニ依リマスル母子保護施

設ノ如キ、或ハ少年教護法ニ依リマスル少

年教護院ノ如キ、又公益質屋法ニ依リマス

ル質屋ノ如キ、是等ハ總テ認可ヲ要スルコ

トニナツテ居ルノデアリマス、此認可ノ中

ル質屋ノ如キ、是等ハ總テ認可ヲ要スルコ

トニナツテ居ルノデアリマス、此認可ノ中

デ、國ノ豫算デ相當擴充出來マスモノニ付

キマシテハ、ドンヽ認可致シテ居ルノデ

アリマス、只今御述ニナリマシタ不良住宅

ノ問題デアリマスガ、是ハ新規ノ豫算ガ計

上セヌガ、大體ノ方針トシテハ、已ムニ

新設モ見マシタノデ、之ヲ契機トシテ、當局

ハ速ニ斯ウ云フ點ニ付テハ御解決ニナル御

意思ガアルカドウカト云フコトヲ、寧ロ私

ダケ其途ヲ開イテヤルノガ相當ダラウト考

ヘマス、過去ハ致シ方アリマセヌケレドモ、

モ、今後ハ其點ニ付テハ一層新シイ狀態

イヤウナコトニ相成シテ居ルノデアリマス、法律上ハ認可ト豫算ト云フノハ、別ニ考ヘテ宜イ譯デハゴザイマスルケレドモ、認可ヲシテ而モソレニ補助ヲ與ヘヌト云フコトニナリマスルト、結果ニ於テハ公共團體ノ負擔ヲ増加スルト云フコトニ相成リマスノデ、認可ヲ差控ヘテ居リマスヤウナ狀況アリマス、併ナガラ是等ノ重要ナ社會施設ニ付キマシテハ、將來豫算ノ増額モ圖リマシテ、是等ノ事業ガドン／＼伸ビテ參リマスヤウニ、一段ト厚生省ト致シマシテハ努メテ行キタイト考ヘ居リマス、第二ノ御尋ノ朝鮮人部落ノ住宅改善ノ問題デゴザイマスガ、是亦極メテ重要ナ問題ダト考ヘマス、今日内地ニ既ニ在住シマスル朝鮮人ノ數ハ、約七十万ニ上ッテ居リマシテ、殊ニ是等ノ人々ノ住宅問題ト云フモノハ、中々大キナ問題ダト考ヘマス、大都市、殊ニ東京、大阪等ニ於テ、此問題ハ更ニ他ノ地方ニ比ベマスルト、一層重要性ガアルヤウニ考ヘマス、今日ノ所是等ニ付テノ國家施設又ハ公共團體ノ施設ヲ補助スルト云フ途ハ開イテ居ラヌノデアリマスガ、將來此問題ノ重要性ニ鑑ミマシテ、厚生省ト致シマシテモ、此問題ノ解決ニ十分ノ努力ヲ與ヘタイト考ヘテ居リマス

○高野政府委員 結核ノコトニ付テ私カラ御説明ヲ致シマス、東京ノ如キ大都市ニ於キマシテ、無資力階級ノ結核患者ガ、公立ノ療養所ニ折角入所ヲ申出デマシテモ、中々入所出來マセヌ、入所セザル中ニ不幸病歿スルト云フコトハ事實デアリマス、洵ニ遺憾トスル所デアリマス、此根本ノ理由ハ、サウ云フ階級ノ患者ヲ收容致シマスル公設ノ結核療養所ノ不足ニ歸スル次第デゴザイマシテ、結核豫防法ニ依リマシテ、スヤウニ、一段ト厚生省ト致シマシテハ努メテ行キタイト考ヘテ居リマス、第二ノ御尋ノ朝鮮人部落ノ住宅改善ノ問題デゴザイマスカラ、此療養所ノ建設モ逐次各地方トモ增加スルニ從ヒマシテ、只今御話ニゴザス、尙ほ此公設ノ療養所ノ實施致シマス迄

ハ四千餘ノ病床ノ認可ヲ致シタ次第デアルト心得テ居リマス、斯ノ如キ次第デゴザイマスカラ、此療養所ノ建設モ逐次各地方トモ增加スルニ從ヒマシテ、只今御話ニゴザス、尙ほ此公設ノ療養所ノ實施致シマス迄

デアリマシテ、此年度ニ於キマシテハ、實第デアリマス、隨ヒマシテ本年度ノ豫算ニハ三千床ヲ建設スペク補助費ノ御協贊ヲ願シテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシテ東京ヲ初メ各地方公共團體デハ、折角豫算等ヲ組ミマシテ準備致シマシタ結果、結核豫事業ノ認可ガ遲レルコトハ殆ドナイ次第

○野口委員 三四御質問ヲ申上ゲタイト存ジマス、厚生省ノ事務権限内デアリマスル保健衛生ト救貧事業トノ關係ニ付キマシテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、比較的下層政ノ都合上、其結核療養所建設ノ補助金ガ極メテ居ルノデアリマス、所ガ國庫財政ニナツテ居ルノデアリマス、企テマシテモ、事業ノ認可ガ中々受ケラレガ極メテ貧弱デアリマシタノデ、其結果折角公共團體ガ結核療養所ヲ建設シヨウトナイト云フ事情ガ、數年續キマシタ次第デナリマス、然ルニ結核豫防ノ極メテ重要ナル事業デアリマスコトハ、段々ト政府ニ於キマシテモ、モ諒解シ、又社會ニ於テモ非常ニ執望ヲ現ハシテ來マシタ結果、此年度カ

○長野委員 只今結核療養所ノ問題ニ付キマシテ、政府委員ノ極メテ誠意アル御理解アル御答辯ヲ承リマシテ、恐ラク全國ノ此點ニ付テ特ニ工場地帶ノ貧困者ノ多イ所

第デアリマス、隨ヒマシテ本年度ノ豫算ニ人々ニ、一道ノ光明ヲ與ヘ得タモノト存ジマシテ、私謹ンデ謝意ヲ表スル次第デアリマス、ドウカ此點ニ付キマシテハ、厚生省ノ新設ト共ニ一層ノ力ヲ入レテ、斯様ナ不幸ナ人々ノ救濟ニ努力セラレンコトヲ、切ニ御願スル次第デアリマス

○野口委員 三四御質問ヲ申上ゲタイト存ジマス、厚生省ノ事務権限内デアリマスル保健衛生ト救貧事業トノ關係ニ付キマシテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、比較的下層國民ガ密集、集團ヲシテ生活シテ居リマス工場地帶ノ國民衛生ハ、都會生活以外ノ國民生活ト比較致シマスト、衛生ノ上カラ見マシテ、非常ニ惡キ「コンデショニ」ダト考ヘルノデアリマス、益、文化工業ハ發達致シマシテ、彌ガ上ニモ密集都會生活者、下境遇生活者ニ病魔ヲ撒キツ、アリマス、ソレハ工場地帶ニ於キマスル煤煙デアリマス、ダマダ非常ニ不足ナノデアリマス、今後療養所ヲ増設スルニ付キマシテハ十分努力ス

○長野委員 只今結核療養所ノ問題ニ付キマシテ、政府委員ノ極メテ誠意アル御理解アル御答辯ヲ承リマシテ、恐ラク全國ノ此點ニ付テ特ニ工場地帶ノ貧困者ノ多イ所

ニハ病氣ノ人達ガ多イ、此一つノ大キナ社會現象ニ對シマシテ、厚生省ニ於キマシテハ、何カ煤煙防止ト云フヤウナ方面カラ御考ニナツタコトガアリマスカドウカ、一寸御伺シタインデアリマス

○高野政府委員 厚生省ト致シマシテハ、マダ格別決シタ方針ハナイカト存ジテ居リマス、此問題ハ都市ノ住民ニ向ヒマシテハ、保健上極メテ重大ナ事デアリマスカラ、大イニ調査研究スル項目ノ中ニ入ッテ居ルト存ジテ居リマス

○野口委員 厚生省ト致シマシテ調査研究ノ項目ノ中ニ入ッテ居ルコトヲ一面嬉シク

思ヒマスガ、具體的ニ進捗アランコトヲ御願致シ

キタイト云フコトヲ要望致シマス、亞米利加、英吉利、佛蘭西、獨逸、各國ノ例ヲ見マ

シテモ、例ノ「リングルマン」濃度法ニ依ッテ、既ニ此取締規則ガ地方的ニ出テ居ルト記憶シテ居リ

マス、我國ニ於キマシテハ、大阪、兵庫ニハ

所謂取締規則ガ地方的ニ出テ居リマシテ、

東京府、神奈川縣ハ今調査中ト考ヘテ居リ

マス、是ハ色々ナ表ヲ持ッテ居リマスガ、今日

ハ突然質問致スヤウニナリマシタノデ、資料ヲ持參致シマセヌカラ、單ナル記憶ノ範圍デ申上ダタイト思フノデアリマスガ、非常ニ被害ガ多イノデス、主トシテ川崎、神奈

川、鶴見、或ハ大阪、尼ヶ崎等ノ工業地帯ハ、都市計畫ノ立場カラ内務省デモ考ヘテ居ルコトデアルガ、併シ既設ノ工場カラハ濛々タル煙ヲ吐イテ、今日「リングルマン」三等以上ノ濃度ノ煤煙ヲ吐キツ、アリマス、一日モ速ニ此點ヲ御調査ノ上、特ニ貧民ノ多イ工場地帶ノ國民ノ生活ヲ、モット明朗化スベク、具體的ニ進捗アランコトヲ御願致シマス、第一條ノ一ヨリハノ各號ヲ拜見致シマスルニ、是ハ精神解釋ニ依ッテ、或ハ範圍ノ中ニ入ッテ居ルト存ジテ居リマス

○野口委員 厚生省ト致シマシテ調査研究ノ項目ノ中ニ入ッテ居ルコトヲ一面嬉シク

思ヒマスガ、具體的ニ進捗アランコトヲ御願致シ

キタイト云フコトヲ要望致シマス、亞米利加、英吉利、佛蘭西、獨逸、各國ノ例ヲ見マ

シテモ、例ノ「リングルマン」濃度法ニ依ッテ、既ニ此取締規則ガ地方的ニ出テ居ルト記憶シテ居リ

マス、我國ニ於キマシテハ、大阪、兵庫ニハ

所謂取締規則ガ地方的ニ出テ居リマシテ、

東京府、神奈川縣ハ今調査中ト考ヘテ居リ

マス、是ハ色々ナ表ヲ持ッテ居リマスガ、今日

ハ突然質問致スヤウニナリマシタノデ、資料ヲ持參致シマセヌカラ、單ナル記憶ノ範圍デ申上ダタイト思フノデアリマスガ、非常ニ被害ガ多イノデス、主トシテ川崎、神奈

川、鶴見、或ハ大阪、尼ヶ崎等ノ工業地帯ハ、

○野口委員 厚生省ト致シマシテ調査研究ノ項目ノ中ニ入ッテ居ルコトヲ一ヨリハノ各號ヲ拜見致シマスルニ、是ハ精神解釋ニ依ッテ、或ハ範圍ノ中ニ入ッテ居ルト存ジテ居リマス

○野口委員 厚生省ト致シマシテ調査研究ノ項目ノ中ニ入ッテ居ルコトヲ一面嬉シク

思ヒマスガ、具體的ニ進捗アランコトヲ御願致シ

キタイト云フコトヲ要望致シマス、亞米利加、英吉利、佛蘭西、獨逸、各國ノ例ヲ見マ

シテモ、例ノ「リングルマン」濃度法ニ依ッテ、既ニ此取締規則ガ地方的ニ出テ居ルト記憶シテ居リ

マス、我國ニ於キマシテハ、大阪、兵庫ニハ

所謂取締規則ガ地方的ニ出テ居リマシテ、

東京府、神奈川縣ハ今調査中ト考ヘテ居リ

マス、是ハ色々ナ表ヲ持ッテ居リマスガ、今日

ハ突然質問致スヤウニナリマシタノデ、資料ヲ持參致シマセヌカラ、單ナル記憶ノ範圍デ申上ダタイト思フノデアリマスガ、非常ニ被害ガ多イノデス、主トシテ川崎、神奈

川、鶴見、或ハ大阪、尼ヶ崎等ノ工業地帯ハ、

○野口委員 厚生省ト致シマシテ調査研究ノ項目ノ中ニ入ッテ居ルコトヲ一ヨリハノ各號ヲ拜見致シマスルニ、是ハ精神解釋ニ依ッテ、或ハ範圍ノ中ニ入ッテ居ルト存ジテ居リマス

○野口委員 厚生省ト致シマシテ調査研究ノ項目ノ中ニ入ッテ居ルコトヲ一面嬉シク

思ヒマスガ、具體的ニ進捗アランコトヲ御願致シ

キタイト云フコトヲ要望致シマス、亞米利加、英吉利、佛蘭西、獨逸、各國ノ例ヲ見マ

シテモ、例ノ「リングルマン」濃度法ニ依ッテ、既ニ此取締規則ガ地方的ニ出テ居ルト記憶シテ居リ

マス、我國ニ於キマシテハ、大阪、兵庫ニハ

所謂取締規則ガ地方的ニ出テ居リマシテ、

東京府、神奈川縣ハ今調査中ト考ヘテ居リ

マス、是ハ色々ナ表ヲ持ッテ居リマスガ、今日

ハ突然質問致スヤウニナリマシタノデ、資料ヲ持參致シマセヌカラ、單ナル記憶ノ範圍デ申上ダタイト思フノデアリマスガ、非常ニ被害ガ多イノデス、主トシテ川崎、神奈

川、鶴見、或ハ大阪、尼ヶ崎等ノ工業地帯ハ、

○野口委員 厚生省ト致シマシテ調査研究ノ項目ノ中ニ入ッテ居ルコトヲ一ヨリハノ各號ヲ拜見致シマスルニ、是ハ精神解釋ニ依ッテ、或ハ範圍ノ中ニ入ッテ居ルト存ジテ居リマス

○野口委員 厚生省ト致シマシテ調査研究ノ項目ノ中ニ入ッテ居ルコトヲ一面嬉シク

思ヒマスガ、具體的ニ進捗アランコトヲ御願致シ

キタイト云フコトヲ要望致シマス、亞米利加、英吉利、佛蘭西、獨逸、各國ノ例ヲ見マ

シテモ、例ノ「リングルマン」濃度法ニ依ッテ、既ニ此取締規則ガ地方的ニ出テ居ルト記憶シテ居リ

マス、我國ニ於キマシテハ、大阪、兵庫ニハ

所謂取締規則ガ地方的ニ出テ居リマシテ、

東京府、神奈川縣ハ今調査中ト考ヘテ居リ

マス、是ハ色々ナ表ヲ持ッテ居リマスガ、今日

ハ突然質問致スヤウニナリマシタノデ、資料ヲ持參致シマセヌカラ、單ナル記憶ノ範圍デ申上ダタイト思フノデアリマスガ、非常ニ被害ガ多イノデス、主トシテ川崎、神奈

川、鶴見、或ハ大阪、尼ヶ崎等ノ工業地帯ハ、

○野口委員 厚生省ト致シマシテ調査研究ノ項目ノ中ニ入ッテ居ルコトヲ一ヨリハノ各號ヲ拜見致シマスルニ、是ハ精神解釋ニ依ッテ、或ハ範圍ノ中ニ入ッテ居ルト存ジテ居リマス

○野口委員 厚生省ト致シマシテ調査研究ノ項目ノ中ニ入ッテ居ルコトヲ一面嬉シク

思ヒマスガ、具體的ニ進捗アランコトヲ御願致シ

キタイト云フコトヲ要望致シマス、亞米利加、英吉利、佛蘭西、獨逸、各國ノ例ヲ見マ

シテモ、例ノ「リングルマン」濃度法ニ依ッテ、既ニ此取締規則ガ地方的ニ出テ居ルト記憶シテ居リ

マス、我國ニ於キマシテハ、大阪、兵庫ニハ

所謂取締規則ガ地方的ニ出テ居リマシテ、

東京府、神奈川縣ハ今調査中ト考ヘテ居リ

マス、是ハ色々ナ表ヲ持ッテ居リマスガ、今日

ハ突然質問致スヤウニナリマシタノデ、資料ヲ持參致シマセヌカラ、單ナル記憶ノ範圍デ申上ダタイト思フノデアリマスガ、非常ニ被害ガ多イノデス、主トシテ川崎、神奈

川、鶴見、或ハ大阪、尼ヶ崎等ノ工業地帯ハ、

○野口委員 厚生省ト致シマシテ調査研究ノ項目ノ中ニ入ッテ居ルコトヲ一ヨリハノ各號ヲ拜見致シマスルニ、是ハ精神解釋ニ依ッテ、或ハ範圍ノ中ニ入ッテ居ルト存ジテ居リマス

○野口委員 厚生省ト致シマシテ調査研究ノ項目ノ中ニ入ッテ居ルコトヲ一面嬉シク

思ヒマスガ、具體的ニ進捗アランコトヲ御願致シ

キタイト云フコトヲ要望致シマス、亞米利加、英吉利、佛蘭西、獨逸、各國ノ例ヲ見マ

シテモ、例ノ「リングルマン」濃度法ニ依ッテ、既ニ此取締規則ガ地方的ニ出テ居ルト記憶シテ居リ

マス、我國ニ於キマシテハ、大阪、兵庫ニハ

所謂取締規則ガ地方的ニ出テ居リマシテ、

東京府、神奈川縣ハ今調査中ト考ヘテ居リ

マス、是ハ色々ナ表ヲ持ッテ居リマスガ、今日

ハ突然質問致スヤウニナリマシタノデ、資料ヲ持參致シマセヌカラ、單ナル記憶ノ範圍デ申上ダタイト思フノデアリマスガ、非常ニ被害ガ多イノデス、主トシテ川崎、神奈

川、鶴見、或ハ大阪、尼ヶ崎等ノ工業地帯ハ、

○野口委員 厚生省ト致シマシテ調査研究ノ項目ノ中ニ入ッテ居ルコトヲ一ヨリハノ各號ヲ拜見致シマスルニ、是ハ精神解釋ニ依ッテ、或ハ範圍ノ中ニ入ッテ居ルト存ジテ居リマス

○野口委員 厚生省ト致シマシテ調査研究ノ項目ノ中ニ入ッテ居ルコトヲ一面嬉シク

思ヒマスガ、具體的ニ進捗アランコトヲ御願致シ

キタイト云フコトヲ要望致シマス、亞米利加、英吉利、佛蘭西、獨逸、各國ノ例ヲ見マ

シテモ、例ノ「リングルマン」濃度法ニ依ッテ、既ニ此取締規則ガ地方的ニ出テ居ルト記憶シテ居リ

マス、我國ニ於キマシテハ、大阪、兵庫ニハ

所謂取締規則ガ地方的ニ出テ居リマシテ、

東京府、神奈川縣ハ今調査中ト考ヘテ居リ

マス、是ハ色々ナ表ヲ持ッテ居リマスガ、今日

ハ突然質問致スヤウニナリマシタノデ、資料ヲ持參致シマセヌカラ、單ナル記憶ノ範圍デ申上ダタイト思フノデアリマスガ、非常ニ被害ガ多イノデス、主トシテ川崎、神奈

川、鶴見、或ハ大阪、尼ヶ崎等ノ工業地帯ハ、

○野口委員 厚生省ト致シマシテ調査研究ノ項目ノ中ニ入ッテ居ルコトヲ一ヨリハノ各號ヲ拜見致シマスルニ、是ハ精神解釋ニ依ッテ、或ハ範圍ノ中ニ入ッテ居ルト存ジテ居リマス

○野口委員 厚生省ト致シマシテ調査研究ノ項目ノ中ニ入ッテ居ルコトヲ一面嬉シク

思ヒマスガ、具體的ニ進捗アランコトヲ御願致シ

キタイト云フコトヲ要望致シマス、亞米利加、英吉利、佛蘭西、獨逸、各國ノ例ヲ見マ

シテモ、例ノ「リングルマン」濃度法ニ依ッテ、既ニ此取締規則ガ地方的ニ出テ居ルト記憶シテ居リ

マス、我國ニ於キマシテハ、大阪、兵庫ニハ

所謂取締規則ガ地方的ニ出テ居リマシテ、

東京府、神奈川縣ハ今調査中ト考ヘテ居リ

マス、是ハ色々ナ表ヲ持ッテ居リマスガ、今日

ハ突然質問致スヤウニナリマシタノデ、資料ヲ持參致シマセヌカラ、單ナル記憶ノ範圍デ申上ダタイト思フノデアリマスガ、非常ニ被害ガ多イノデス、主トシテ川崎、神奈

川、鶴見、或ハ大阪、尼ヶ崎等ノ工業地帯ハ、

○野口委員 救護法ニ該當スルカ該當シナ

イカ、勿論ソレハ調査ニ俟ツ所デアリマス

ガ、此調査ガ案外粗漏ナノデアリマス、甲ハ社會常識カラ見マシテ、救護法ニ該當セザル位ノ者デアルニ拘ラズ、救護法ニ該當セラル、者トシテノ待遇ガアリ、乙ハ救護法ニ當然該當スル者デアルニ拘ラズ、而モ其適用ヲ受ケナイト云フ實例ガ實際アルモノデアリマスカラ、サウ云フ點ニ付キマシテノ嚴重ナル監督調査ト云フコトヲ、特ニ此際御願シテ置キタイト思フノデアリマス、引續キマシテ、社會事業ノ法律ノ施行ト云フコトニ付キマシテハ、吾々國民ハ双手ヲ擧ゲテ大賛成ヲ致シ、モットヨリ以上ノ種種ナル積極行政ニ出デテ戴キタイコトハ、言ヲ俟タザル所デアリマス、唯茲ニ「カード」階級、或ハ救濟法ノ適用ニナル貧困者、

此人達ノ中ニ、精神教育ヲ或ル程度マデシナケレバナラヌ人達ガ居ルノデハナイカト思ヒマス、例ヘバ救濟ノオ金ヲ貰ヒ、現品ヲ給與セラレ、社會事業ノ發達ノ最初ニ於テハ、非常ナル感謝ト感激ノ涙ニ暮レテ居タノデアリマスガ、現在施サレル中デ、寧ロ吾々貧乏人ハ當然デアル、施サレルノガラズデアリマス、サウ云フ「イデオロギー」ヲ持ッテ居ル者ガナキニアリマス、是等ハ却テ國民精神總動員ノ今日デケレバナラヌ日本ノ現狀カラ見マシテ、勿論教濟精神其モノハ必要デアリマスガ、救濟セラレル者ニ、サウ云フ精神ヲ持ッテ居ル者ガアルノデアリマスカラ、斯ウ云フ點ハ十分當局ニ於カレテモ、貧困ノ事實ト云フ、唯經濟的ノ缺損カラ救濟スル者ガアリマスガ、精神的ニ腐敗シテ居ル貧困者ガアルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ當局ハ調査ヲ爲サレマシタカ、ソレトモ斯ウ云フ點ニ付テ十分ナル研究カ何カ結論ガオ有リニナリマスカ、一應伺ヒタイト存ズルノデアリマス。

○山崎政府委員 法律ニ依ルト依ラザルトヲ問ハズ、救護ヲ受ケマスル人ガ、其救護権利デアルト云フ思想ニ陥リマスコトハ、ソレハ非常ニ憂慮スベキ問題デアルト考ヘルノデゴザイマス、只今御述ニナリマシタ通り、救護ヲ受ケル者ガ、其救護ガ權利デタルト云フヤウナ思想ヲ持チマスコトハ、シテ、能ク精神指導ノ上ニモ注意ヲセラレシコトヲ望ミタイト思ヒマス、最後ニ一言ナリマスガ、本年ハ五十万圓ノヤウニ記載サレテ居リマスルガ、社會事業ト云フ大キナ

サウ云フコトヲニスル例ガアルノデアリマス、是等ハ却テ國民精神總動員ノ今日デケレバナラヌ日本ノ現狀カラ見マシテ、勿論教濟精神其モノハ必要デアリマスガ、救濟セラレル者ニ、サウ云フ精神ヲ持ッテ居ル者ガアルノデアリマスカラ、斯ウ云フ點ハ十分當局ニ於カレテモ、貧困ノ事實ト云フ、唯經濟的ノ缺損カラ救濟スル者ガアリマスガ、精神的ニ腐敗シテ居ル貧困者ガアルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ當局ハ調査ヲ爲サレマシタカ、ソレトモ斯ウ云フ點ニ付テ十分ナル研究カ何カ結論ガオ有リニナリマスカ、一應伺ヒタイト存ズルノデアリマス。

○野口委員 細心御注意ナサレマシタル御答辯ニ接シテ満足ニ思ヒマスガ、唯單ニ注意ト云フ精神的ノ注意ニ止ラズシテ、救濟意ト云フ精神的ノ注意ニ止ラズシテ、救濟居リマス

○工藤政府委員 先刻御同様ナ質問ニ對シテ答へマシタ關係上、私カラ申上ゲマス、ドノ程度マデ金ヲ以テ保護シ、補助ヲシタドウカ、一應承リタイト存ジマス

○野口委員 先刻御同様ナ質問ニ對シテ答へマシタ關係上、私カラ申上ゲマス、ドノ程度マデ金ヲ以テ保護シ、補助ヲシタド宜イカト云フコトハ、無論程度ガアラウト思ヒマスガ、出來得ルナラバ大藏省ト交渉シテ、更ニ補助シナケレバナラヌ事業ヲ調査致シマシテ、ソレニ伴フ経費ハ無論要求スル考デゴザイマスガ、御覽ノ通リノ財政狀態デアリマスカラ、果シテドウ行クカ知リマセヌケレドモ、厚生省ノ責任上、出來ルダケハ是ハ要求スル積リデアリマスカラ御答ガアリマシタノデ、一寸重複ノ嫌

ガアリマスガ、モウ一步明確ニスル爲ニ
言御質問申上ゲタイノハ、十四條以下ノ所
謂制裁規定デアリマス、申ス迄モナク社會
事業ヲ爲スニ當リマシテ、私設ノ事業家ハ
大義名分ノ發スル所、正義ノ赴ク所、破邪
顯正ノ實ヲ舉ゲテ、立派ヤカナル社會事業
家トシテ立ツテ居ル方々ガ全部ダト信賴致
シマス、勿論正義ト大義ヲ賣物ニシテ不正
ラスル者、ソレハ人間社會ニ於テ絶無トハ
言ヒ得ナイノデアリマス、唯恐ラクスウ云
フ立派ナ社會正義ヲ中心トスル、救貧フ目的
トスル立派ナ法律ニ對シマシテ制裁規定、
即チ刑罰規定、刑法ノ刑罰ノ觀念ガ多ク織
込マレテ居ルト云フコトハ、我ガ國民性ノ
上カラ見マシテ非常ニ殘念ニ思ヒマス、五
百圓以下、三百圓以下ノ罰金、是ハ裁判長
ノ裁量範圍デアルト政務次官ハ仰シヤラレ
マシタガ、勿論規定スル以上ハ裁量範圍デ
ハアリマスガ、最高限度ノ五百圓ト云フノ
ハ、決シテ國民ノ諸君ニハ好イ感ジヲ與ヘ
ルモノデハナイト私ハ思フノデス、斯ウ云
フ五百圓ト云フヤウナ巨額ナ罰金規定ヲ社
會事業ト云フ正義救貧ノ美シイ法律ノ中ニ
織込マナケレバナラヌトスルナラバ、國民
性ノ上カラ見テ、日本國民ヲ全ク私ハ殘念
ニ思フ、是ハ寧ロモット低額ニシタ方ガ宜

○工藤政府委員 此法案ソレ自體カラ見マ
スルト、御説ノ點モ考ヘラレナインデハナイ
ノデアリマスガ、凡ソ斯様ナル制裁ノ伴フ
法ヲ設ケマスル場合ニ於テハ、略、立法例ガ
アリマシテ、大體斯ウ云フ種類ノモノハ此
程度デ宜イノデハナイカト云フモノハ、必
シモ此法ニ限ッタ譯デハアリマセヌ、併シ此
法ニ限ッテソレハイカスト云フノハ、一ツノ
見方デアリマスケレドモ、ヤハリ法ノ建前
カラ行キマスルト、似通ッタ制裁ヲ成ベクハ
餘リ不權衡デナイヤウニスルト云フコトモ
亦、是ハ立法家ノ苦心スル點デアルダラウ
ト思ヒマス、併シ實際ニ於テノ其アナタノ
リマスルガ、尙ホ之ニ伴フ立法例ヲ、何レ
ト云フ名前ヲ取ツテ來ルコトニナリマシタ、
是ハ別段非常ニ深イ意味ガアル譯デモ何デ
モアリマセヌ、而シテ厚生省ト云フ名前ト
共ニ、或ハイツソ衛生省トシタラ宜イデハ
ナイカト云フヤウナ論モアリマシタ、併ナ
ガラ衛生省ト云フヨリモ厚生省ト云フ方ガ、
シテ、厚生省ガ宜イノデハナイカ、ドノ名

クハナイカト云フ私一人ノ希望デアリマス
ガ、ヤハリ當局ニ於カレテハ、裁量範圍ト
シテ飽クマデモ之ヲ徹底ナサル御考デアル
カ、唯一言ダケ御伺シテ置キタイト思ヒマ
スルト、御説ノ點モ考ヘラレナインデハナイ
ノデアリマスガ、凡ソ斯様ナル制裁ノ伴フ
法ヲ設ケマスル場合ニ於テハ、略、立法例ガ
アリマシテ、大體斯ウ云フ種類ノモノハ此
程度デ宜イノデハナイカト云フモノハ、必
シモ此法ニ限ッタ譯デハアリマセヌ、併シ此
法ニ限ッテソレハイカスト云フノハ、一ツノ
見方デアリマスケレドモ、ヤハリ法ノ建前
カラ行キマスルト、似通ッタ制裁ヲ成ベクハ
餘リ不權衡デナイヤウニスルト云フコトモ
亦、是ハ立法家ノ苦心スル點デアルダラウ
ト思ヒマス、併シ實際ニ於テノ其アナタノ
リマスルガ、尙ホ之ニ伴フ立法例ヲ、何レ
ト云フ名前ヲ取ツテ來ルコトニナリマシタ、
是ハ別段非常ニ深イ意味ガアル譯デモ何デ
モアリマセヌ、而シテ厚生省ト云フ名前ト
共ニ、或ハイツソ衛生省トシタラ宜イデハ
ナイカト云フヤウナ論モアリマシタ、併ナ
ガラ衛生省ト云フヨリモ厚生省ト云フ方ガ、
シテ、厚生省ガ宜イノデハナイカ、ドノ名

○木戸國務大臣 厚生省ノ名前ニ付キマシ
テハ、新聞紙上等デ既ニ御承知デアラウト
思ヒマスガ、政府ハ當初保健社會省ト云フ
カ、即チ各國ノ例カラ見マスナラバ、獨逸
ドウ云フ譯デ厚生省ト云フ文字ヲ選バレタ
デモ、英吉利デモ、佛蘭西デモ、亞米利加
デモ、多クハ勞働省若クハ保健省、或ハ社
會政策省ト云フ風ナ省ノ名前ヲ選ンデ居ル
ニ拘ラズ、又新聞紙上ニ於テ厚生省ト云フ
省ガ出來ル時ニ於テ、保健省デアルトカ、
社会保健省デアルトカ、保健社會省ト云フ
ト思ヒマス、併シ實際ニ於テノ其アナタノ
ト云フ名前ヲ取ツテ來ルコトニナリマシタ、
是ハ別段非常ニ深イ意味ガアル譯デモ何デ
モアリマセヌ、而シテ厚生省ト云フ名前ト
共ニ、或ハイツソ衛生省トシタラ宜イデハ
ナイカト云フヤウナ論モアリマシタ、併ナ
ガラ衛生省ト云フヨリモ厚生省ト云フ方ガ、
シテ、厚生省ガ宜イノデハナイカ、ドノ名

前ヲ比べテ見マシテモ、實ハ全貌ヲ直グ現
ハス名前ト云フモノハ、中々ナインデアリ
マシテ、結局厚生省ガ出來テ參リマシタ、最
モ根本ノ大キナ點ハ、要スルニ國民ノ體位
ガ徵兵検査其他カラ見マシテ、非常ニ低下
シテ居ルト云フ點カラ見マシテ、ドウシテ
モ積極的ニ體位ノ向上ヲ圖ラナケレバナラ
ヌト云フノガ一ツ、モウ一ツハ社會政策其
他ノ點ガ、內務省ノ社會局ニ於テ從來トモ
行ハレテ居リマシタガ、之ヲ一ツノ省ニ纏
メテ、所謂國民生活ノ安定ト云フヤウナコ
トニ向ッテモ、集中シタ力ヲ以テ當ラナケレ
バナラヌ、此一ツ合セマシタノガ主タル仕
事デアリマス、ソレヲ現ハス意味ニ於キマシ
テ、厚生ト云フノガ比較的宜イ、衛生デ
ハ今ノ前段ノ部分ニ付テハ相當當リマス
ガ、後ノ方ニハ當ラナイ、又御話ノヤウ
ナ労働省ト致シマスト、労働問題、社會
政策等ニハ比較的縁ガアリマスルガ、一
面國民ノ體位向上ト云フヤウナ問題ニ付
キマシテハ、緣ガ薄クナル、ソコデ保健社
會省ト云フ名前ガ一應ハ考ヘラレタ譯デア
リマス、結局ソレガ厚生省、斯ウナッタ次第
デアリマス、何處マデ申上ゲテモ實ハハッキ
リシタ所ハナインデアリマス

ト云フモノハ、私ハ今ノ政界ニ於テ最モ大
キイ仕事デアルト思フ、國民ノ體位向上ト
云フヤウナ御話ガゴザイマシタガ、只今戰
モ根本ノ大キナ點ハ、要スルニ國民ノ體位
ガ徵兵検査其他カラ見マシテ、非常ニ低下
シテ居ルト云フ點カラ見マシテ、ドウシテ
モ積極的ニ體位ノ向上ヲ圖ラナケレバナラ
ヌト云フノガ一ツ、モウ一ツハ社會政策其
他ノ點ガ、內務省ノ社會局ニ於テ從來トモ
行ハレテ居リマシタガ、之ヲ一ツノ省ニ纏
メテ、所謂國民生活ノ安定ト云フヤウナコ
トニ向ッテモ、集中シタ力ヲ以テ當ラナケレ
バナラヌ、此一ツ合セマシタノガ主タル仕
事デアリマス、ソレヲ現ハス意味ニ於キマシ
テ、厚生ト云フノガ比較的宜イ、衛生デ
ハ今ノ前段ノ部分ニ付テハ相當當リマス
ガ、後ノ方ニハ當ラナイ、又御話ノヤウ
ナ労働省ト致シマスト、労働問題、社會
政策等ニハ比較的縁ガアリマスルガ、一
面國民ノ體位向上ト云フヤウナ問題ニ付
キマシテハ、緣ガ薄クナル、ソコデ保健社
會省ト云フ名前ガ一應ハ考ヘラレタ譯デア
リマス、結局ソレガ厚生省、斯ウナッタ次第
デアリマス、何處マデ申上ゲテモ實ハハッキ
リシタ所ハナインデアリマス

ト云フモノハ、私ハ今ノ政界ニ於テ最モ大
キイ仕事デアルト思フ、國民ノ體位向上ト
云フヤウナ御話ガゴザイマシタガ、只今戰
モ根本ノ法規ニ依ッテ審議ヲ致スト致シマ
争ニ行ッテ居ル所ノ兵隊ノ有様ヲ見マシテ
ノ肺患者ガアル、二万カラノ肺患者ハ兵隊
ニ行ク前マデハ肺患者デハナカッタガ、即チ
肺結核ノ狀態デアッタノガ隱レテ居ッテ、ソ
レガ兵隊ニ行キマシテ、或ハ色々ナ苦勞艱
難、困苦缺乏ヲ重ネ、或ハ心勞ヲシタリ苦
勞ヲシタリシマシタ結果、茲ニ現ハレタモ
ノデアルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリ
マスガ、只今モ結核ノ御話ヲ聞キマスト、
サウ云フコトハ伺ハナクテモ大體分ッテ居
ルノデアリマスガ、結核病ト云フモノハ、
今ノ日本ニ於テハ非常ニ多イ、此結核病ニ付
テノ正確ナ統計ノ數字モアリマスルガ、百
万、或ハ百五十萬ト言ハレテ居リマスガ、或
ハ實際ハ二百万位ニナルダラウト云フノデ
アリマス、二百万ニナルダラウト云フ勢デ
ケレドモ、恐ラク二百万人ニモ達シテ居ル
デアラウ、此二百万人ニモ達シテ居ル是ダ
ケノ人間ヲ、經濟上或ハ思想上、或ハ社會
ナ効キヲスルヤウナ人間ニ轉向セシメルト
云フダケニ於テモ、大變ナ仕事デアル、而
シテ國民ノ體位ヲ下ゲマイトシテ、一生懸
命盡力致スノデアリマスカラ、私ハ厚生省
ノ仕事コソ、實ハ非常ニ重大ナ仕事デアル
ト思ヒマス、然ルニ此重大ナ厚生省ノ問
題デアル社會事業法案ノ審議ノ有様ヲ見

マス、此第四階級ト云フモノハ、大體御存
ジデアリマセウケレドモ、食事ナドハ殆ド
普通ニハ致シマセヌ、普通ノ白イ御飯ヲ炊
イテ食べル者ハ殆ドアリマセヌ、殘飯ヲ
モ、私ノ聞ク所ニ依ルナラバ、約二万カラ
ニ行ク前マデハ肺患者デハナカッタガ、即チ
肺結核ノ狀態デアッタノガ隱レテ居ッテ、ソ
レガ兵隊ニ行キマシテ、或ハ色々ナ苦勞艱
難、困苦缺乏ヲ重ネ、或ハ心勞ヲシタリ苦
勞ヲシタリシマシタ結果、茲ニ現ハレタモ
ノデアルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリ
マス、此ヤウナ狀態デアリマス、而モ斯様
ノ状態ノ下ニアル人間ノ數ダケデモ、約四
十万人カラアルト云フコトデアリマス、是
ハ東京市ダケデ四十万人デアリマスカラ、
日本全國ニ於テハ、正確ナ數ハ分リマセヌ
ケレドモ、恐ラク二百万人ニモ達シテ居ル
デアラウ、此二百万人ニモ達シテ居ル是ダ
ケノ人間ヲ、經濟上或ハ思想上、或ハ社會
ナ効キヲスルヤウナ人間ニ轉向セシメルト
云フダケニ於テモ、大變ナ仕事デアル、而
シテ國民ノ體位ヲ下ゲマイトシテ、一生懸
命盡力致スノデアリマスカラ、私ハ厚生省
ノ仕事コソ、實ハ非常ニ重大ナ仕事デアル
ト思ヒマス、然ルニ此重大ナ厚生省ノ問
題デアル社會事業法案ノ審議ノ有様ヲ見

マス、此第四階級ト云フモノハ、大體御存
ジデアリマセウケレドモ、食事ナドハ殆ド
普通ニハ致シマセヌ、普通ノ白イ御飯ヲ炊
イテ食べル者ハ殆ドアリマセヌ、殘飯ヲ
モ、私ノ聞ク所ニ依ルナラバ、約二万カラ
ニ行ク前マデハ肺患者デハナカッタガ、即チ
肺結核ノ狀態デアッタノガ隱レテ居ッテ、ソ
レガ兵隊ニ行キマシテ、或ハ色々ナ苦勞艱
難、困苦缺乏ヲ重ネ、或ハ心勞ヲシタリ苦
勞ヲシタリシマシタ結果、茲ニ現ハレタモ
ノデアルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリ
マス、此ヤウナ狀態デアリマス、而モ斯様
ノ状態ノ下ニアル人間ノ數ダケデモ、約四
十万人カラアルト云フコトデアリマス、是
ハ東京市ダケデ四十万人デアリマスカラ、
日本全國ニ於テハ、正確ナ數ハ分リマセヌ
ケレドモ、恐ラク二百万人ニモ達シテ居ル
デアラウ、此二百万人ニモ達シテ居ル是ダ
ケノ人間ヲ、經濟上或ハ思想上、或ハ社會
ナ効キヲスルヤウナ人間ニ轉向セシメルト
云フダケニ於テモ、大變ナ仕事デアル、而
シテ國民ノ體位ヲ下ゲマイトシテ、一生懸
命盡力致スノデアリマスカラ、私ハ厚生省
ノ仕事コソ、實ハ非常ニ重大ナ仕事デアル
ト思ヒマス、然ルニ此重大ナ厚生省ノ問
題デアル社會事業法案ノ審議ノ有様ヲ見

マス、此第四階級ト云フモノハ、大體御存
ジデアリマセウケレドモ、食事ナドハ殆ド
普通ニハ致シマセヌ、普通ノ白イ御飯ヲ炊
イテ食べル者ハ殆ドアリマセヌ、殘飯ヲ
モ、私ノ聞ク所ニ依ルナラバ、約二万カラ
ニ行ク前マデハ肺患者デハナカッタガ、即チ
肺結核ノ狀態デアッタノガ隱レテ居ッテ、ソ
レガ兵隊ニ行キマシテ、或ハ色々ナ苦勞艱
難、困苦缺乏ヲ重ネ、或ハ心勞ヲシタリ苦
勞ヲシタリシマシタ結果、茲ニ現ハレタモ
ノデアルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリ
マス、此ヤウナ狀態デアリマス、而モ斯様
ノ状態ノ下ニアル人間ノ數ダケデモ、約四
十万人カラアルト云フコトデアリマス、是
ハ東京市ダケデ四十万人デアリマスカラ、
日本全國ニ於テハ、正確ナ數ハ分リマセヌ
ケレドモ、恐ラク二百万人ニモ達シテ居ル
デアラウ、此二百万人ニモ達シテ居ル是ダ
ケノ人間ヲ、經濟上或ハ思想上、或ハ社會
ナ効キヲスルヤウナ人間ニ轉向セシメルト
云フダケニ於テモ、大變ナ仕事デアル、而
シテ國民ノ體位ヲ下ゲマイトシテ、一生懸
命盡力致スノデアリマスカラ、私ハ厚生省
ノ仕事コソ、實ハ非常ニ重大ナ仕事デアル
ト思ヒマス、然ルニ此重大ナ厚生省ノ問
題デアル社會事業法案ノ審議ノ有様ヲ見

マス、此第四階級ト云フモノハ、大體御存
ジデアリマセウケレドモ、食事ナドハ殆ド
普通ニハ致シマセヌ、普通ノ白イ御飯ヲ炊
イテ食べル者ハ殆ドアリマセヌ、殘飯ヲ
モ、私ノ聞ク所ニ依ルナラバ、約二万カラ
ニ行ク前マデハ肺患者デハナカッタガ、即チ
肺結核ノ狀態デアッタノガ隱レテ居ッテ、ソ
レガ兵隊ニ行キマシテ、或ハ色々ナ苦勞艱
難、困苦缺乏ヲ重ネ、或ハ心勞ヲシタリ苦
勞ヲシタリシマシタ結果、茲ニ現ハレタモ
ノデアルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリ
マス、此ヤウナ狀態デアリマス、而モ斯様
ノ状態ノ下ニアル人間ノ數ダケデモ、約四
十万人カラアルト云フコトデアリマス、是
ハ東京市ダケデ四十万人デアリマスカラ、
日本全國ニ於テハ、正確ナ數ハ分リマセヌ
ケレドモ、恐ラク二百万人ニモ達シテ居ル
デアラウ、此二百万人ニモ達シテ居ル是ダ
ケノ人間ヲ、經濟上或ハ思想上、或ハ社會
ナ効キヲスルヤウナ人間ニ轉向セシメルト
云フダケニ於テモ、大變ナ仕事デアル、而
シテ國民ノ體位ヲ下ゲマイトシテ、一生懸
命盡力致スノデアリマスカラ、私ハ厚生省
ノ仕事コソ、實ハ非常ニ重大ナ仕事デアル
ト思ヒマス、然ルニ此重大ナ厚生省ノ問
題デアル社會事業法案ノ審議ノ有様ヲ見

マス、此第四階級ト云フモノハ、大體御存
ジデアリマセウケレドモ、食事ナドハ殆ド
普通ニハ致シマセヌ、普通ノ白イ御飯ヲ炊
イテ食べル者ハ殆ドアリマセヌ、殘飯ヲ
モ、私ノ聞ク所ニ依ルナラバ、約二万カラ
ニ行ク前マデハ肺患者デハナカッタガ、即チ
肺結核ノ狀態デアッタノガ隱レテ居ッテ、ソ
レガ兵隊ニ行キマシテ、或ハ色々ナ苦勞艱
難、困苦缺乏ヲ重ネ、或ハ心勞ヲシタリ苦
勞ヲシタリシマシタ結果、茲ニ現ハレタモ
ノデアルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリ
マス、此ヤウナ狀態デアリマス、而モ斯様
ノ状態ノ下ニアル人間ノ數ダケデモ、約四
十万人カラアルト云フコトデアリマス、是
ハ東京市ダケデ四十万人デアリマスカラ、
日本全國ニ於テハ、正確ナ數ハ分リマセヌ
ケレドモ、恐ラク二百万人ニモ達シテ居ル
デアラウ、此二百万人ニモ達シテ居ル是ダ
ケノ人間ヲ、經濟上或ハ思想上、或ハ社會
ナ効キヲスルヤウナ人間ニ轉向セシメルト
云フダケニ於テモ、大變ナ仕事デアル、而
シテ國民ノ體位ヲ下ゲマイトシテ、一生懸
命盡力致スノデアリマスカラ、私ハ厚生省
ノ仕事コソ、實ハ非常ニ重大ナ仕事デアル
ト思ヒマス、然ルニ此重大ナ厚生省ノ問
題デアル社會事業法案ノ審議ノ有様ヲ見

ケレバ、厚生省ノ仕事ハ到底能率ガ擧ルモノデハナイト思フノデアリマス、此點ニ關シテ大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○木戸國務大臣 只今御話ノ點ハ全然私モ御同感デアリマス、役人ガ兎角其位地ガ昇進致シマスニ伴ツテ、頻々變ルト云フコトニ付テハ、或ル仕事ニ付テハ差支ナイ場合モアリマスガ、殊ニ厚生省ノ如キ點ニ付キマシテ、疾病等ニ當リマスル技術方面ノ方々ニ付テハ、相當長イ間此仕事ニ習熟シ、又御話ノヤウナ民間ノ諸團體、民間ノ人々トモ連絡ガ取レルコトガ、是非必要デアルノデアリマス、其點ハ全然同感デアリマス

○鈴木委員 厚生大臣ハ只今兼官デオ居ニナシテ居リマスガ、兼官デ是ダケノ大キイ仕事ヲヤッテ行クニ付テハ、御本官デアル所ノ文部省ノ關係ダケデモ非常ナ大役デアルニ拘ラズ、此方面マデ引受ケテオヤリニナルト云フコトニ付テハ、俗ニ謂フ重荷ニ小附ト云フ感ジガ致シマス、尙ホ此點ニ付キマシテ厚生大臣ハ、ドウ云フ積リデ只今御適當ノ時機ニ專任ノ厚生大臣ヲ御設ケニナル所ノ意思ガアルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○木戸國務大臣 只今御尋ノ點ハ御話ノ通クト云フコトハ、議會ニ於テモ言明シテ居ラレル、私モ一日モ早ク專任大臣ガ出來マシテ、私ハ文部ノ仕事ニ專心出來ルコトヲ希望致シテ居ル次第デアリマス

○鈴木委員 ソレカラ是ハ過日本會議ノ席上デゴザイマシタガ、大臣ノ質問ニ對スル御答辯ノ中ニ於テ、厚生省ノ仕事ノ如キハ、益、發達スルコトガ本來デアルト云フ風ナシテ、厚生大臣ハ、ドウ云フ積リデ只今御適當ノ時機ニ專任ノ厚生大臣ヲ御設ケニナル所ノ意思ガアルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○木戸國務大臣 其問題ハ、曾テモ委員會

ノデアリマスケレドモ、私ハ大藏省ノ役人ナドニ、厚生省ノ仕事ノ性質ハ能ク分ラナイト思フノデス、分ル筈ガナイト思フ、私ハ厚生省ヲ存置スル限りハ、厚生省ハ厚生省自體ノ立場ヲ執ヅテ、此問題ニ對シテ一分ノ補助金デハ到底足ラナイカラ、セメテハアルト私ハ思フノデアリマス、ドウ云フ譯デ五十万圓、即チ一割位ニスルダケノ必要ガアルト私ハ思フノデアリマス、ドウ云フ譯ナ根據、竝ニ増額シ得ナカッタ所ノ事情ヲ御話願ヒタイト思ヒマス

○木戸國務大臣 本會議ニ於テ御答辯申上ゲマシタノハ、只今御話ノ通リデアリマス、是ハ社會事業ヲ何割マデ助成スルト云フヤウナ問題デナクテ、社會事業ト云フモノハ、申ス迄モナク個人ノ熱心ナル畫策ト、創造リマシテ、唯餘リニ政府ノ補助費ニ頼ツテ、其創造力等ヲ無クナスヤウナコトニナッテモ面白クナイト思ヒマスカラ、必シモ多々益、辨ズルト云フ風ニハ、今日私ハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、併ナガラ五十万圓ト云フモノガ可ナリ少額デアルコトハ、私モ認メルノデアリマス、認メマスガ、ソレヲ如何ナル根據デ樹テカト云フコトニナリマスト、本會議デモ御説明申上ゲマシタヤウニ、

優良ナルモノ約三千位ノ中カラ千位ヲ選ンデ、之ヲ査定シテ補助スル、斯ウ申上ゲマシタ、是ハ一應ノ標準ニ過ギナインデアリマス、私トシハテ將來ハ此實績ニ見マシテ、之ヲ増額シテ行クコトニ努力スルコトハ考ヘテ居リマス、唯現在ノ社會事業ノ總經費ハ是ダケデアルカラ、其何割マデ持ツテ行クト云フヤウナ意味ニ於テ、此補助費ヲ運用スペキデハナイト考ヘテ居リマス

○鈴木委員 今日社會事業ガ日本ノ現在ニ相應スル意味ニ於テ、如何ニ貧弱デアルカト云フコトハ、御承知ノ通リデゴザイマス、此貧弱ナル社會事業デアリマスカラ、之ヲ有效ニ勵カシムル爲ニハ、ドウシテモ政府ノ責任トシテ政府ガ相當ノ金ヲ出シテ、社會事業ヲ自ラヤルカ、或ハヤラシムルトカ

賜ニナラレルト思ヒマスガ、厚生省ナドニ於テハ動トモスレバ此御内帑金ニ頼ツテ——賴ツテ私ハ申上ゲル、御内帑金ガアルカラ、是ハ少クテモ宜イト云フヤウナ御考ガ、ヒヨットシタラ知ラズ識ラズノ間ニ、ソコニモタマラナイ、其意味ニ於テ私ハ一分デハ到底足ラナイト思フ、セメテハ一割——割程度ノ五百万圓ハ必要ナモノデアラウト思ヒマスガ、之ヲ増額ナサル御積リハゴザルナラバ、是ハ由々シイコトデアルト思ノデゴザイマスガ、此點ハ皇室カラノ補助金如何ニ拘ラズ、而モ御内帑金ト申シマスレバ、數十年來殆ド變リハナイ、如何ニ株金ノ利子ガ下リマシテモ、低金利時代デアリマシテモ、物價ガ騰リマシテモ、御内帑金ト云フモノニ付テハ殆ド變ル所ハナイノ

○木戸國務大臣 只今申上ゲマシタヤウニ、例ヲ擧ゲテゴザイマスガ、此社會事業ニ於ケル各分野ノ何レノ事業ヲ主タル對象トシテ、此度ノ法案ヲ提出シ、又豫算ノ計上ヲナサレタカト云フコトヲ御伺致シタイ

○鈴木委員 政府ハ此社會事業ヲ幾ツモノ考ヘマシタコトハ、先程モ段々申上ゲマスルヤウニ、從來特別ノ法律デアリマシテ、其事業ノ監督指導ノ途ノ拓ケテ居リマスモ

ノニ付キマシテハ、相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス、然ルニ他ノ、法律ノ分野ニ入ラザル事業ノ種類ニ於キマシテハ、國家ノ助成指導ノ途ガ、不十分ノ點ガ多々アルヤウニ考ヘタノデアリマス、隨ヒマシテ本法ニ於キマシテハ、他ノ法令ニ依リマスル指導監督ノ途ガナイ分野ニ於キマスル公私社會事業全體ニ對シマシテ、或ル一面ニ於テ統制ノ途ヲ開キ、又他面ニ於キマシテハ、殊ニ私設社會事業——財政難ニ喘イデ居リマスル私設社會事業ノ、助成發達ヲ圖提出致シマシタ次第デアリマス

○鈴木委員 ソレカラモウ一ツ御伺致シマスガ、農村ノ社會事業デゴザイマス、農村ハ最モ社會事業ニ飢エ渴エテ居ルト思フ、農村ホド酷イ狀態ハナイト思フノデゴザイマシテ、是ハ私ハ例ヲ申上ゲルコトヲ略スノデゴザイマスガ、農村ノ社會事業ニ觸レテ居ル點ガ、ドウモ甚ダ少イヤウニ思フノデゴ

ザイマス、農村ハドノヤウナ風ニ御考ニナッテ居リマスカ、其點ヲツ御伺致シマス。○山崎政府委員 鈴木サンノ只今ノ御話ノヤウニ、我國ノ社會事業全般ヲ通ジテ考ヘマスルト、農村ニ於キマスル社會施設ノ發

ニ考ヘタノデアリマス、隨ヒマシテ本法ニ於キマシテハ、他ノ法令ニ依リマスル指導監督ノ途ガナイ分野ニ於キマシテハ、私社會事業全體ニ對シマシテ、或ル一面ニ於テ統制ノ途ヲ開キ、又他面ニ於キマシテハ、殊ニ私設社會事業——財政難ニ喘イデ居リマスル私設社會事業ノ、助成發達ヲ圖提出致シマシタ次第デアリマス

○鈴木委員 農村ノ社會事業ドコロデハナマスルガ、昨年内務省時代ニ於キマスル社會事業調査會ニ於キマシテハ、農村社會事業ノ振興發達ヲ圖リマスル方策ニ付キマシテ、内務大臣ヨリ諮詢ヲ致シマシテ、其答申モ得テ居ルヤウナ次第デアリマス、本法ノ立案ニ當リマシテハ、固ヨリ社會施設ノトヲ問ヒマセズ、總テ既存ノ社會施設ノ助長發達ヲ圖ルコトハ固ヨリ、今後新興致シマスル社會施設ニ付キマシテモ、都鄙ヲ問ハズ其助長發達ヲ圖ル考デアルノデアリマス、現在農村ノ實情ヲ考ヘテ見マスルト、其施設トシマシテハ、極メテ貧弱デハゴザイマシテレドモ、或ハ產業組合ナリ、或ハ農家實行組合等ニ於キマシテ、託兒所或ハ隣居リマスカ、其點ヲツ御伺致シマス。

○山崎政府委員 鈴木サンノ只今ノ御話ノヤウニ、我國ノ社會事業全般ヲ通ジテ考ヘマスルト、農村ニ於キマスル社會施設ノ發達ハ、非常ニ遅レテ居ルヤウニ考ヘルノデ

アリマス、此點ニ付キマシテハ厚生省ノ出來マスル以前、内務省時代ニ於キマシテモ、農村社會事業ノ發達ヲ圖ルコトノ極メテ重要ナルニ鑑ミマシテ、種々調查考究ヲ進メテ居ツタノデアリマス、御承知トモ思ヒマスルガ、昨年内務省時代ニ於キマスル社會事業調査會ニ於キマシテハ、農村社會事業ノ振興發達ヲ圖リマスル方策ニ付キマシテ、内務大臣ヨリ諮詢ヲ致シマシテ、其答申モ得テ居ルヤウナ次第デアリマス、本法ノ立案ニ當リマシテハ、固ヨリ社會施設ノトヲ問ヒマセズ、總テ既存ノ社會施設ノ助長發達ヲ圖ルコトハ固ヨリ、今後新興致シマスル社會施設ニ付キマシテモ、都鄙ヲ問ハズ其助長發達ヲ圖ル考デアルノデアリマス、現在農村ノ實情ヲ考ヘテ見マスルト、其施設トシマシテハ、極メテ貧弱デハゴザイマシテ、是等ノ點ニ付キマシテモ、或ハ農家實行組合等ニ於キマシテ、託兒所或ハ隣居リマスカ、其點ヲツ御伺致シマス。

○山崎政府委員 鈴木サンノ只今ノ御話ノヤウニ、我國ノ社會事業全般ヲ通ジテ考ヘマスルト、農村ニ於キマスル社會施設ノ發

造」ノ二月號ニ出マシタ所ノ、林房雄ト云フ人ノ書イタ小説デアリマスルガ、ソレヲ見テ馬スト、東北ノ牧場ニ於ケル人間ガ、三人出征カラ歸ツテ來タ、偶、生キテ歸ツテ來タモ厚生省ト致シマシテ、十分ノ努力ヲ拂ヒタイト思ツテ居リマス

○鈴木委員 農村ノ社會事業ドコロデハナマスルガ、昨年内務省時代ニ於キマシテ相當時、農村ノ社會事業ノ實情ヲ考ヘテ見マスルト、是ハ農村ノ社會事業ニ付キマシテ、其答申モ得テ居ルヤウナ次第デアリマス、本法ノ立案ニ當リマシテハ、固ヨリ社會施設ノトヲ問ヒマセズ、總テ既存ノ社會施設ノ助長發達ヲ圖ルコトハ固ヨリ、今後新興致シマスル社會施設ニ付キマシテモ、都鄙ヲ問ハズ其助長發達ヲ圖ル考デアルノデアリマス、現在農村ノ實情ヲ考ヘテ見マスルト、其施設トシマシテハ、極メテ貧弱デハゴザイマシテ、是等ノ點ニ付キマシテモ、或ハ農家實行組合等ニ於キマシテ、託兒所或ハ隣居リマスカ、其點ヲツ御伺致シマス。

○山崎政府委員 鈴木サンノ只今ノ御話ノヤウニ、我國ノ社會事業全般ヲ通ジテ考ヘマスルト、農村ニ於キマスル社會施設ノ發達ハ、非常ニ遅レテ居ルヤウニ考ヘルノデ

長期抗戰ト云フヤウナ様子ニナツテ居ルノデゴ

ザイマスルガ、長期抗戰ト云フ風ナ態様ヲ整ヘ
タ時ニ、農村ニ於テ戰地カラ歸ツテ來ル兵隊ノ
中ニ、謂ハ、思想的ニ言フナラバ、幾分カ赤イ
ト思フ所ノ思想ヲ含シダ人間ガ復員フシテ、
サウ云フコトヲ農村ニバラ撒イテ、農村ノ青年
ノ間ニサウ云フ聲ガ聞エタツスルナラバ、
日本ト云フモノハ果シテ維持出來ルカト云
フコトヲ、私ハ非常ニ恐レテ居ルノデアリ
マス、農村ノ社會事業等ニ於テハ急フ要ス
ルモノガ澤山アル、農村ニ於テハ、眼病ナ
ドガ非常ニ多イノデアリマシテ、眼病ニ罹ッ
テ居ル者ガ何「ペーセント」アルカ、私ハ詳
シクハ分リマセヌケレドモ、殆ド自ラ知ラ
ズ識ラズサウ云フヤウナ狀態ニ陥テ居ル
ノガ、甚ダ多イノデアリマス、私ハ農村ノ
社會事業ハ、一日モ早ク急フ要スルモノガ
アルト思フノデアリマス、ソレデ此點ニ付
テハ御答辯ハ伺ヒマセヌケレドモ、十分ナ
ル所ノ御注意ヲ爲サッテ、一日モ早ク此點ヲ
御急ギ願ヒタイト云フコトヲ、御願申上ゲ
ザルヲ得ナイノデアリマス、ソレカラ政府
ハ本案ニ於テ指導、助長、監督、聯絡ト云
フヤウナコトヲ言ツテ居ラレマスケレドモ、
私ハ寧ロ此際標準社會事業ト云フモノヲ、
政府自ラ經營シテ、範ヲ民間ニ垂レタラド
ウカ、寧ロ此標準社會事業ト云フモノヲ起

シテ、政府ガヤルナラバ是ダケノ金デ、是
ト云フ範ヲ示シテ民間ガ之ニ倣フ、斯ウ云
フコトヲヤラズシテ指導、監督、取締、聯
絡ト云フヤウナコトヲ喧マシク言ッタダケ
デハ、詰リ民間ノ當業者ト云フ人々ハ、動
モスレバ官吏ガ威張ル、アノ人間ガ威張ル
カラト云フ風デ、官吏ヲ忌避スルヤウナ事
情ニナルノデハナイカト思フ、私ハ標準社
會事業、名前ハ適當デアルカナイカハ知リ
マセヌガ、標準トナルベキ社會事業ヲ、政
府自ラ起ス意思ハナイカト云フコトヲ、御
伺致シタインデアリマス

○木戸國務大臣 只今ノ御話ハ、標準社會
事業ヲ政府ガヤルカト云フ御話デアリマス
ルガ、實ハ政府デハマダサウ云フコトハ考
ヘテ居リマセヌ、一ツノ御考デアルトハ思
ヒマスルガ、併シ一方カラ申シマスト、社
會事業ノ歴史カラ見マシテモ、官製ノ社會
事業ト云フモノガ、果シテ標準ニナリ得ル
カドウカト云フコトニ付テハ、相當考究ヲ
要スル問題デヤナイカト思ヒマス、或ルモ
ノニ付テ斯ウ云フ風ナヤリ方ラシタラ宜イ
デヤナイカト云フ、模型ヲ出スコトハ宜イ
カト思ヒマスガ、只今ノ御話ハ、可ナリ考
究ヲ要スベキ問題グラウト思ヒマス、政府
ヤツテ居ルニ拘ラズ、選ニ漏レルヤウナ實例

ト致シマシテハ只今ノ所ハ、マダサウ云フ
コトヲ考ヘテ居リマセヌ、而シテ指導、監
督、助長ト云フヤウナコトデ、役人ガ威張
ルト云フヤウナ御氣持ガアルコトハ、甚ダ
遺憾デアリマシテ、厚生省ト致シマシテハ、
最モ民間ト、接觸ノ多イ役所デアリマスノ
デ、絶對ニサウ云フ氣持ヲ排除シテ行キタ
イト、考ヘテ居ルノデアリマス

○鈴木委員 私ノ申上ゲタ意味ノ事業ト云
フモノヲ、マダ考ヘテ居ラレヌト云フコト
デアリマスガ、是非是ハ一ツノ方法トシテ、
御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、出來ルモノモ
アリマセウシ、出來ナイモノモアリマセウ
ガ、出來ルカ出來ナイカト云フコトニ付テ、
其業別等ヲモ工夫サレマシテ、是非是ハ御研
究ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレカ
ラ金ヲ貰ヒマシテ獎勵保護ヲ受ケマス團體
等ニ付キマシテ、團體ノ差別ヲスル、私ハ即
ニ考ヘルノデアリマス、只今御述ベニナリ
マシタヤウナコトガ、事實アルトシマスナ
ラバ、是ハ極メテ不幸ナコトデゴザイマス
ノデ、本法ノ運用ニ當リマシテハ、左様ナ
コトノ絶對ニナイヤウニ、十分ノ注意ヲ拂
デアリマスカラ、其經驗ヲチヤント持ツテ居
ヒタイト存ジマス

○鈴木委員 ソレカラモウ少シ伺ヒマス
ガ、次ニハ労働者ノ「リクリエーション」ノ
問題デゴザイマス、労働者ノ福祉事業ニ關
シテ、政府ハ如何ナル所ノ指導監督ノ權利
ヲ、御持チニナツテ居リマスカ、是ダケデハ
御分リニナラナイト思フノデアリマスガ、

即チ之ヲ傭主ノ任意事業ニ一任シタリ、或ハ民間團體ノ、早ク申シマスト、謂ハバ氣紛レナ行動ノ儘ニ放任スルノ現狀ニ對シテ、此非常時局ニ重要ナル地位ヲ占ムル所ノ、労働者ノ體位ノ向上、保健衛生教養慰安其他ニ關シ、如何ナル方針ヲ持ッテオ居ニナリマスカ、又労働者ノ福祉事業ト云フモノガ、本法ノ適用ヲ受ケマスカドウカ、早ク言ヘバ國際労働關係デ申シマスト、労働者ノ餘暇利用ニ關係アル所ノ労働者ノ福祉事業ト云フモノハ、本法ノ適用ヲ受ケルカ受ケナイカ、受ケルトスルナラバ如何ナル點ニ於テ、又如何ナル方法ニ於テ受ケルカト云フコトヲ、伺ヒタイト思ヒマス

○山崎政府委員 労働者ノ福祉事業ガ、本法ノ適用アリヤ否ヤト云フ問題デアリマスガ、是ハ具體的ノ事實ニ付テ十分内容ヲ検討スルコトニ依ッテ、其問題ガ自ラ解決ガ出来ルカト考ヘルノデアリマス、尤モ本法ノ豫想致シテ居リマスル所ハ、工場内ノ共濟的ノ施設等ニ付キマシテハ、本法ヨリ除外スル考デアルノデアリマス、隨ヒマシテ労働者ノ福祉事業ガ、左様ナ意味ニ於キマスル性質デゴザイマスレバ、本法ノ適用ヲ受ケナイコトニ相成ル譯デアリマス

○鈴木委員

ソレカラ是ハ本問題ト多少連

絡ガアルノデアリマスガ、過日二月三日ニ

私ノ同僚ノ米窪君ガ、労働代表ガ「ジユネーブ」ニ今年參ルコトニ付キマシテ御尋ラ

致シマシタ時ニ、今年ハ行カナイケレドモ、今年ハ支那事變ガアルガ爲ニヤラナインノデ

アツテ、來年ノコトニ付テハマダ何トモ考ヘ

テ居ラナイト云フヤウナ、御答辯ガアッタヤ

ウニ伺ヅテ居ルノデアリマスガ、此點ニ付テ

序デナガラ御伺ラ致シテ置キタイト思ヒマス

午後四時五十四分散會

○古田委員長代理 今日ハマダ椎尾君、松本君ノ發言ノ申出ガアルノデアリマスガ、本日ハ是デ散會シテ、次會ハ追テ公報ニ依ツテ御通知致シマス

ノデアリマスガ……

○木戸國務大臣 私ハハッキリ、アノ當時ノ答辯ノ言葉ハ覺エテ居リマセヌガ、趣旨ハ

支那事變等ガアリマシテ、内外ノ情勢ヲ考

ヘテ、内地ヨリ代表ヲ派遣スルコトハ今年

ハ見合セタ、サウシテ來年ニ付テハ、其情勢ニ依ヅテ判断スル、斯ウ云フ氣持テ答辯ヲシタ積リデアリマス

○鈴木委員 私ハソレニ付テモ、色々私自身ノ體驗ニ基ク一種ノ意見ガアルノデアリマス、私ハ今年モ向フガ反對トカ何トカ云フヤウナ空氣如何ニ拘ラズ、ヤツカ方ガ宜イト思フ一人デアリマス、是ハ意見ノ相違デゴザイマスカラ、後デ寛クリト御話申上げソレダケデゴザイマスガ、尙ホ逐條ノ質問ハルコトニ致シテ置キマス、私大體ノ質問ハ

ガアルノデアリマス、ソレモ一時間位掛ル

昭和十三年三月一日印刷

昭和十三年三月三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局